

令和2年度  
高山市まちづくりアンケート調査  
—報告書—

令和2年12月  
高山市



# 目次

## 第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の期間	1
3 調査の項目	1
4 調査の方法	1
5 回収結果	1
6 標本の構成	2
7 その他	2

## 第2章 調査結果の分析

### 1 高山市への想いや生活環境について

1 高山市への「誇り」や「愛着」	3
2 高山市への定住意向	9
3 高山市の暮らしやすさ	18
4 日常生活での不安	26
5 働く場としての高山市の魅力	34

### 2 高山市の市政運営について

1 市政運営への関心	42
2 今後の重要課題	45
3 高山市の取り組みに対する満足度	53

### 3 協働のまちづくりについて

1 町内会への加入状況	62
2 まちづくり協議会への参加状況	70
3 市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況	76
4 まちづくり活動に参加しやすくするための条件	87
5 重点的に協働で取り組むべき分野	94
6 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの	98

### 4 高山市のまちづくりに関するご意見など

自由記述	102
------	-----



# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

## 2 調査の期間

令和2年6月19日～7月10日

## 3 調査の項目

○高山市への想いや生活環境について

- ・高山市への「誇り」や「愛着」
- ・高山市への定住意向
- ・高山市の暮らしやすさ
- ・日常生活での不安
- ・働く場としての高山市の魅力

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する満足度

○協働のまちづくりについて

- ・町内会への加入状況
- ・まちづくり協議会への参加状況
- ・市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況
- ・まちづくり活動に参加しやすくするための条件
- ・重点的に協働で取り組むべき分野
- ・協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

○高山市のまちづくりに関するご意見など（自由記述）

## 4 調査の方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式
調査対象	18歳以上の市民、3,000人
抽出方法	令和2年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

## 5 回収結果

発送数	3,000人
回収数	1,426人
回収率	47.5%

## 6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)			件数 (件)	構成比 (%)	
性別	男性	591	41.4	家族構成	単身世帯	143	10.0	
	女性	776	54.4		夫婦のみ	344	24.1	
	無回答	59	4.1		二世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	574 (181)	40.3 (12.7)	
年齢	10・20代	77	5.4		三世帯世帯 (うち中学生以下の子と同居)	298 (177)	20.9 (12.4)	
	30代	136	9.5		その他(※1)	22	1.5	
	40代	185	13.0		無回答	45	3.2	
	50代	216	15.1		職業	農林畜産業	73	5.1
	60代	296	20.8			自営業	156	10.9
	70代以上	494	34.6			会社員・公務員・団体職員	415	29.1
	無回答	22	1.5			パート・アルバイト・内職	252	17.7
居住地域	高山地域	889	62.3	家事従事者		95	6.7	
	東地区	61	4.3	学生		16	1.1	
	西地区	98	6.9	無職		338	23.7	
	南地区	112	7.9	その他(※2)	42	2.9		
	北地区	148	10.4	無回答	39	2.7		
	山王地区	127	8.9	定住年数	1年未満	17	1.2	
	江名子地区	42	2.9		1年以上～5年未満	38	2.7	
	新宮地区	96	6.7		5年以上～10年未満	41	2.9	
	三枝地区	52	3.6		10年以上～20年未満	96	6.7	
	大八地区	90	6.3		20年以上	1,211	84.9	
	岩滝地区	8	0.6		無回答	23	1.6	
	花里地区	55	3.9	居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,252	87.8	
	丹生川地域	65	4.6		借家(アパート含む)	127	8.9	
	清見地域	48	3.4		間借	2	0.1	
	荘川地域	23	1.6		社宅・寮	24	1.7	
	一之宮地域	47	3.3		その他(※3)	4	0.3	
	久々野地域	63	4.4		無回答	17	1.2	
	朝日地域	33	2.3		「その他」の内容			
	高根地域	14	1.0	※1 兄弟と同居、四世代世帯 など				
	国府地域	127	8.9	※2 会社役員 など				
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	4.3	※3 施設入所 など				
	無回答	56	3.9					

## 7 その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

## 第2章 調査結果の分析

### 1 高山市への想いや生活環境について

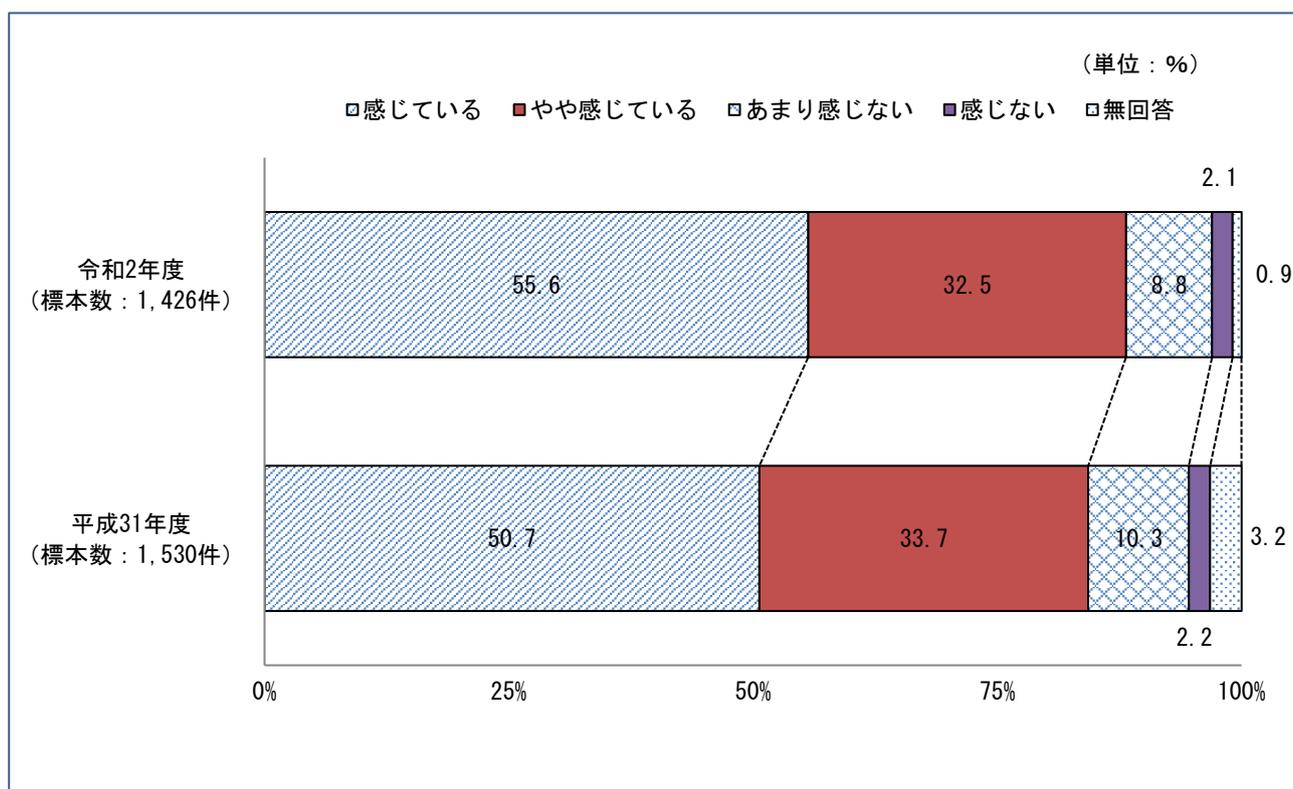
#### 1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高いが、前回（H31）の調査結果に比べ4.9ポイント上昇している。一方、「やや感じている」の割合が1.2ポイント低下している。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると88.1%を占めており、前回（H31）の調査結果（84.4%）に比べ3.7ポイント上昇している。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じている	793	55.6
やや感じている	464	32.5
あまり感じない	126	8.8
感じない	30	2.1
無回答	13	0.9
計	1,426	

（標本数：1,426件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
年齢	10代・20代	77	40.3	45.5	7.8	5.2	1.3
	30代	136	44.9	44.9	6.6	3.7	0.0
	40代	185	47.0	36.8	13.5	2.2	0.5
	50代	216	52.3	35.6	9.3	2.3	0.5
	60代	296	60.8	29.4	8.4	0.3	1.0
	70代以上	494	61.9	26.7	7.9	2.2	1.2
居住地域	高山地域	889	56.7	34.0	6.9	1.8	0.7
	東地区	61	49.2	36.1	13.1	1.6	0.0
	西地区	98	65.3	31.6	3.1	0.0	0.0
	南地区	112	56.3	28.6	7.1	6.3	1.8
	北地区	148	45.9	45.3	6.8	2.0	0.0
	山王地区	127	59.8	32.3	5.5	2.4	0.0
	江名子地区	42	66.7	23.8	9.5	0.0	0.0
	新宮地区	96	59.4	35.4	4.2	0.0	1.0
	三枝地区	52	44.2	42.3	7.7	1.9	3.8
	大八地区	90	57.8	32.2	8.9	1.1	0.0
	岩滝地区	8	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0
	花里地区	55	69.1	21.8	7.3	0.0	1.8
	丹生川地域	65	61.5	24.6	12.3	1.5	0.0
	清見地域	48	60.4	27.1	12.5	0.0	0.0
	荘川地域	23	39.1	34.8	21.7	4.3	0.0
	一之宮地域	47	46.8	34.0	10.6	6.4	2.1
	久々野地域	63	55.6	38.1	4.8	0.0	1.6
	朝日地域	33	69.7	18.2	12.1	0.0	0.0
	高根地域	14	64.3	21.4	7.1	7.1	0.0
	国府地域	127	51.2	27.6	15.0	3.9	2.4
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	50.8	34.4	11.5	1.6	1.6	

【年齢別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、60代（90.2%）が最も高く、40代（83.8%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、西地区（96.9%）が最も高く、次いで新宮地区（94.8%）、久々野地域（93.7%）が高い。一方、荘川地域（73.9%）が最も低く、次いで国府地域（78.8%）、一之宮地域（80.8%）が低い。

属性別集計（定住年数別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
定住年数	1年未満	17	23.5	35.3	29.4	11.8	0.0
	1年以上～5年未満	38	26.3	47.4	23.7	2.6	0.0
	5年以上～10年未満	41	36.6	36.6	17.1	9.8	0.0
	10年以上～20年未満	96	42.7	40.6	11.5	4.2	1.0
	20年以上	1,211	58.6	31.5	7.6	1.5	0.7

【定住年数別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、20年以上（90.1%）が最も高く、1年未満（58.8%）が最も低い。

## 1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるどころ

- ・上位からの順位は、前回（H31）の調査結果とすべて同じである。
- ・「自然環境」の割合が最も高く、前回（H31）の調査結果と比べ4.4ポイント上昇している。

問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（3つまで○印）

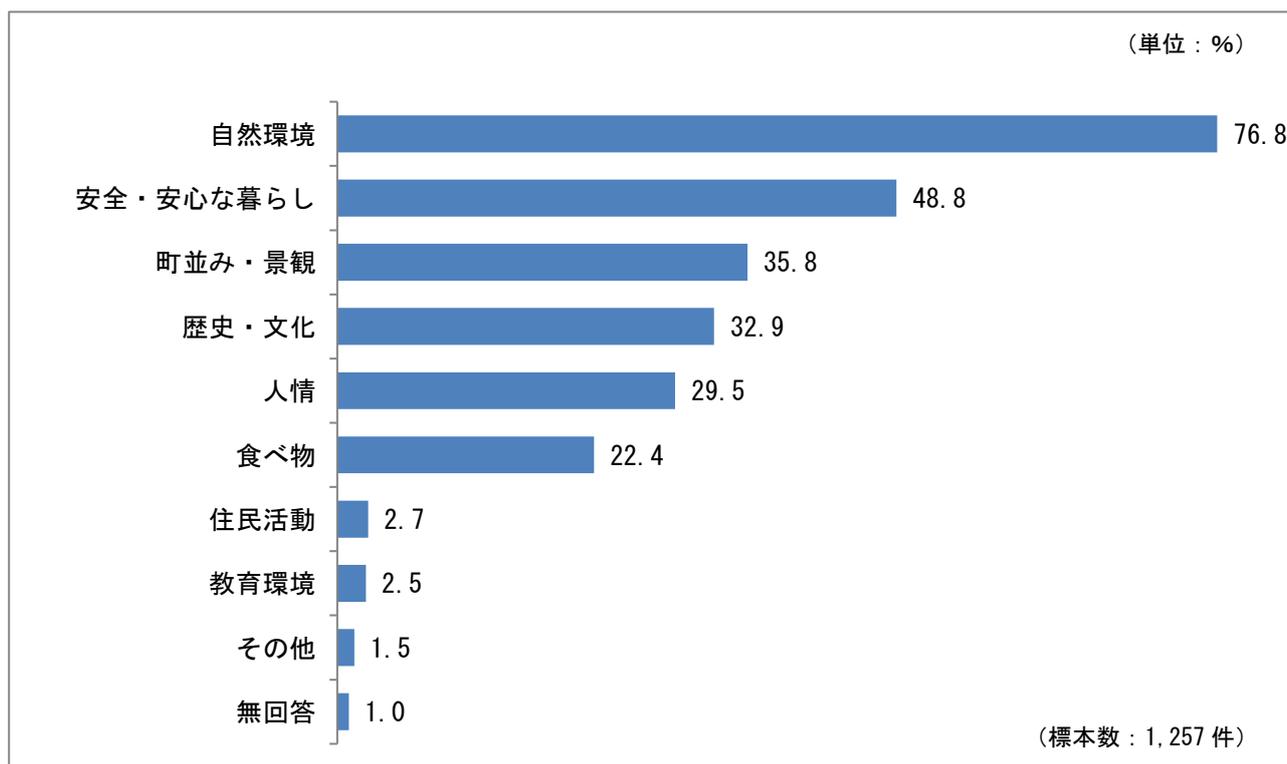
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率 (%)
1	自然環境	965	76.8	1	72.4
2	安全・安心な暮らし	614	48.8	2	45.5
3	町並み・景観	450	35.8	3	34.8
4	歴史・文化	414	32.9	3	34.8
5	人情	371	29.5	5	33.8
6	食べ物	281	22.4	6	22.8
7	住民活動	34	2.7	7	4.0
8	教育環境	32	2.5	8	3.0
	その他	19	1.5		2.9
	無回答	13	1.0		0.9
計		3,193			

(標本数：1,257件)

(標本数：1,290件)

※「その他」の内容

- ・「生まれ育った場所だから」、「知名度が高い」 など



属性別集計(年齢別、居住地域別、定住年数別)

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	町並み・景観	歴史・文化	人情	食べ物	住民活動	教育環境	その他	無回答
年齢	10代・20代	66	71.2	34.8	56.1	18.2	25.8	19.7	1.5	0.0	0.0	3.0
	30代	122	72.1	43.4	47.5	30.3	23.8	29.5	1.6	7.4	3.3	1.6
	40代	155	78.7	40.0	49.7	38.1	21.3	24.5	3.9	1.9	1.9	0.6
	50代	190	70.0	47.9	41.1	37.4	23.7	23.2	1.1	2.1	1.6	0.5
	60代	267	82.4	50.9	35.6	36.0	28.8	21.3	1.9	1.1	1.5	1.1
	70代以上	438	77.6	55.3	23.5	30.8	36.3	20.8	4.1	2.7	1.1	0.9
居住地域	高山地域	806	71.6	48.3	43.4	34.2	25.6	23.1	1.7	2.2	1.5	1.1
	東地区	52	69.2	44.2	59.6	50.0	19.2	21.2	1.9	1.9	0.0	0.0
	西地区	95	68.4	44.2	44.2	35.8	31.6	21.1	1.1	1.1	2.1	1.1
	南地区	95	72.6	41.1	49.5	33.7	24.2	29.5	0.0	6.3	1.1	3.2
	北地区	135	68.1	50.4	40.7	30.4	24.4	25.9	3.0	1.5	1.5	0.0
	山王地区	117	67.5	53.0	45.3	41.9	22.2	19.7	2.6	1.7	1.7	2.6
	江名子地区	38	71.1	36.8	50.0	44.7	26.3	28.9	0.0	2.6	2.6	0.0
	新宮地区	91	74.7	51.6	40.7	27.5	20.9	14.3	2.2	1.1	2.2	0.0
	三枝地区	45	80.0	57.8	31.1	15.6	26.7	24.4	2.2	4.4	0.0	0.0
	大八地区	81	70.4	49.4	35.8	28.4	28.4	33.3	2.5	1.2	1.2	2.5
	岩滝地区	7	100.0	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	花里地区	50	82.0	50.0	42.0	42.0	34.0	12.0	0.0	2.0	2.0	0.0
	丹生川地域	56	94.6	53.6	12.5	28.6	41.1	35.7	1.8	1.8	0.0	1.8
	清見地域	42	76.2	45.2	14.3	33.3	47.6	23.8	7.1	2.4	0.0	0.0
	荘川地域	17	76.5	41.2	17.6	29.4	52.9	5.9	17.6	5.9	5.9	0.0
	一之宮地域	38	89.5	47.4	26.3	36.8	36.8	18.4	0.0	5.3	2.6	0.0
	久々野地域	59	86.4	55.9	20.3	6.8	32.2	30.5	3.4	1.7	1.7	0.0
	朝日地域	29	89.7	48.3	17.2	24.1	37.9	10.3	6.9	3.4	0.0	6.9
	高根地域	12	58.3	41.7	25.0	25.0	50.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	国府地域	100	92.0	54.0	17.0	41.0	28.0	18.0	5.0	4.0	1.0	0.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	52	86.5	57.7	26.9	19.2	40.4	13.5	5.8	3.8	1.9	0.0	

【年齢別】

- ・全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・2番目に割合が高いのは、40代以下は「町並み・景観」で、50代以上は「安全・安心な暮らし」である。

【居住地域別】

- ・全ての地域で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・高山地域よりも、支所地域の方が「自然環境」の割合が高い傾向にある。

属性別集計(年齢別、居住地域別、定住年数別)

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	町並み・景観	歴史・文化	人情	食べ物	住民活動	教育環境	その他	無回答
定住年数	1年未満	10	40.0	20.0	60.0	70.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	1年以上～5年未満	28	60.7	35.7	53.6	28.6	10.7	17.9	3.6	7.1	0.0	3.6
	5年以上～10年未満	30	83.3	43.3	50.0	36.7	16.7	23.3	6.7	10.0	6.7	0.0
	10年以上～20年未満	80	81.3	43.8	40.0	35.0	20.0	28.8	0.0	3.8	3.8	1.0
	20年以上	1,092	76.8	50.2	34.9	32.3	31.0	22.3	2.7	2.2	1.2	0.0

【定住年数別】

- ・ 1年未満のみ「歴史・文化」の割合が最も高く、その他の年数は「自然環境」の割合が最も高い。
- ・ 2番目に割合が高いのは、10年未満は「町並み・景観」で、10年以上では「安全・安心な暮らし」である。

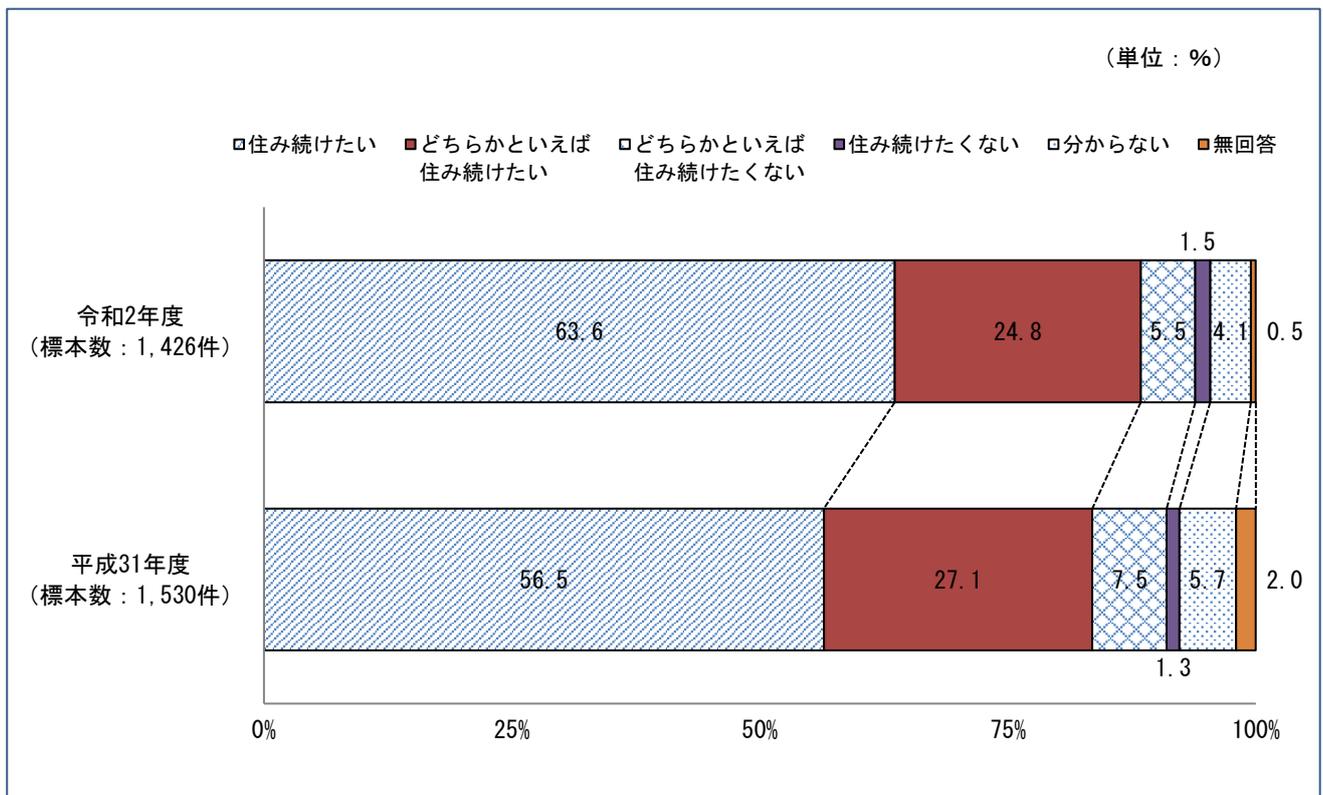
## 2 高山市への定住意向

- ・「住み続けたい」の割合が最も高い。
- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 88.4%を占めており、前回（H31）の調査結果（83.6%）に比べ4.8ポイント上昇している。

問2 あなたは、これからも高山市に住み続けたいと思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
住み続けたい	907	63.6
どちらかといえば住み続けたい	353	24.8
どちらかといえば住み続けたくない	79	5.5
住み続けたくない	21	1.5
分からない	59	4.1
無回答	7	0.5
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	住み続けたい どちらかといえば	住み続けたくない どちらかといえば	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	77	39.0	32.5	14.3	2.6	11.7	0.0
	30代	136	58.1	25.0	7.4	4.4	4.4	0.7
	40代	185	48.1	39.5	7.0	1.1	4.3	0.0
	50代	216	54.6	32.4	6.5	1.4	5.1	0.0
	60代	296	67.2	22.0	5.7	0.3	3.7	1.0
	70代以上	494	75.5	17.0	2.8	1.4	2.8	0.4
居住地域	高山地域	889	63.1	26.1	5.6	1.0	3.9	0.2
	東地区	61	55.7	27.9	6.6	0.0	9.8	0.0
	西地区	98	67.3	22.4	4.1	1.0	5.1	0.0
	南地区	112	68.8	19.6	6.3	2.7	2.7	0.0
	北地区	148	59.5	26.4	8.1	0.7	5.4	0.0
	山王地区	127	63.8	28.3	3.9	0.8	2.4	0.8
	江名子地区	42	61.9	21.4	11.9	0.0	4.8	0.0
	新宮地区	96	60.4	32.3	4.2	0.0	2.1	1.0
	三枝地区	52	59.6	36.5	1.9	0.0	1.9	0.0
	大八地区	90	57.8	30.0	5.6	2.2	4.4	0.0
	岩滝地区	8	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	花里地区	55	78.2	14.5	3.6	1.8	1.8	0.0
	丹生川地域	65	75.4	15.4	6.2	0.0	3.1	0.0
	清見地域	48	66.7	25.0	2.1	2.1	2.1	2.1
	荘川地域	23	47.8	30.4	8.7	0.0	8.7	4.3
	一之宮地域	47	61.7	19.1	10.6	2.1	4.3	2.1
	久々野地域	63	69.8	23.8	3.2	0.0	1.6	1.6
	朝日地域	33	84.8	3.0	6.1	3.0	3.0	0.0
	高根地域	14	64.3	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0
	国府地域	127	63.0	25.2	6.3	0.8	4.7	0.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	55.7	26.2	6.6	4.9	6.6	0.0	

【年齢別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、10代・20代（71.5%）が最も低く、70代以上（92.5%）が最も高い。

【居住地域別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、三枝地区（96.1%）が最も高く、次いで久々野地域（93.6%）、花里地区（92.7%）が高い。一方、荘川地域（78.2%）が最も低く、次いで一之宮地域（80.8%）、上宝・奥飛騨温泉郷（81.9%）が低い。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	17	23.5	35.3	11.8	11.8	17.6	0.0
	1年以上～5年未満	38	34.2	26.3	15.8	10.5	13.2	0.0
	5年以上～10年未満	41	36.6	36.6	12.2	0.0	14.6	0.0
	10年以上～20年未満	96	40.6	36.5	9.4	5.2	7.3	1.0
	20年以上	1,211	67.8	23.4	4.5	0.8	3.1	0.4
居住形態	持ち家（分譲マンション含む）	1,252	65.1	24.1	5.5	1.2	3.6	0.5
	借家（アパート含む）	127	53.5	32.3	5.5	3.1	5.5	0.0
	間借	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社宅・寮	24	37.5	20.8	12.5	8.3	20.8	0.0
	その他	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

【定住年数別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、1年未満（58.8%）が最も低く、20年以上（91.2%）が最も高い。

【居住形態別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、間借（100.0%）が最も高く、次いで持ち家（89.2%）となっており、社宅・寮（58.3%）が最も低い。

## 2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が、前回（H31）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H31）の調査結果に比べ割合が特に変動したのは、「地域行事や近所付き合いが面倒」が 7.9 ポイント上昇し、「市内に雇用の場が少ない」が 11.1 ポイント、「医療福祉等のサービスや施設が少ない」が 9.4 ポイントそれぞれ低下している。

問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由は何ですか。（3つまで○印）

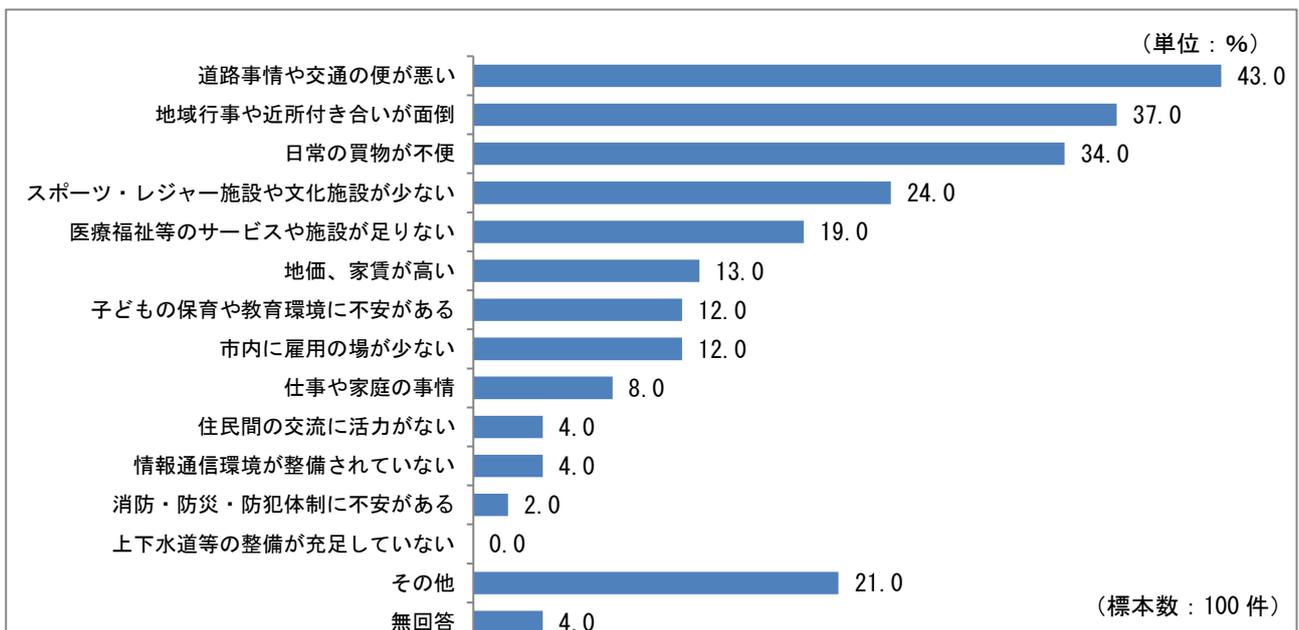
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H31)	
				順位	回答率
1	道路事情や交通の便が悪い	43	43.0	1	52.2
2	地域行事や近所付き合いが面倒	37	37.0	4	29.1
3	日常の買物が不便	34	34.0	2	38.8
4	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	24	24.0	3	29.9
5	医療福祉等のサービスや施設が足りない	19	19.0	5	28.4
6	地価、家賃が高い	13	13.0	9	6.0
7	子どもの保育や教育環境に不安がある	12	12.0	8	7.5
	市内に雇用の場が少ない	12	12.0	6	23.1
9	仕事や家庭の事情	8	8.0	7	11.9
10	住民間の交流に活力がない	4	4.0	12	2.2
	情報通信環境が整備されていない	4	4.0	10	3.7
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	2	2.0	11	3.0
13	上下水道等の整備が充足していない	0	0.0	13	1.5
	その他	21	21.0		30.6
	無回答	4	4.0		1.5
計		237			

(標本数：100件)

(標本数：134件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦勞など）」、「やりたい仕事がない」など



属性別集計(年齢別)

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		13	16	15	17	18	21
高山市に住み続けたくない理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	38.5	37.5	20.0	41.2	50.0	61.9
	地域行事や近所付き合いが面倒	0.0	50.0	53.3	41.2	50.0	23.8
	日常の買物が不便	30.8	31.3	20.0	17.6	33.3	61.9
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	38.5	18.8	40.0	29.4	22.2	4.8
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	7.7	12.5	13.3	5.9	27.8	38.1
	地価、家賃が高い	30.8	18.8	13.3	0.0	22.2	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	0.0	12.5	26.7	17.6	11.1	4.8
	市内に雇用の場が少ない	15.4	12.5	20.0	11.8	11.1	4.8
	仕事や家庭の事情	0.0	18.8	0.0	11.8	5.6	9.5
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	5.9	5.6	9.5
	情報通信環境が整備されていない	7.7	0.0	6.7	0.0	5.6	4.8
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	5.9	5.6	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	38.5	12.5	13.3	17.6	16.7	28.6
無回答	0.0	6.3	0.0	11.8	0.0	4.8	

【年齢別】

- ・ 10代・20代と70代以上では、「道路事情や交通の便が悪い」の割合が高い。
- ・ 30代と40代は「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が高い。
- ・ 50代と60代は「道路事情や交通の便が悪い」又は「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が高い。
- ・ 10代・20代と40代は、他の年代に比べ「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が特に高い。
- ・ 70代以上は、他の年代に比べ「日常の買物が不便」の割合が特に高い。
- ・ 60代と70代以上は、他の年代に比べ「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が特に高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		59	4	5	10	13	6	5	4	1	7	1	3
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	44.1	25.0	40.0	40.0	38.5	33.3	40.0	75.0	0.0	57.1	100.0	66.7
	地域行事や近所付き合いが面倒	39.0	25.0	60.0	20.0	30.8	33.3	40.0	50.0	100.0	57.1	0.0	66.7
	日常の買物が不便	25.4	50.0	40.0	10.0	15.4	16.7	40.0	25.0	0.0	28.6	100.0	33.3
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	30.5	25.0	60.0	40.0	46.2	0.0	20.0	25.0	100.0	14.3	0.0	0.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	16.9	25.0	40.0	10.0	15.4	33.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0
	地価、家賃が高い	13.6	50.0	0.0	0.0	15.4	33.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	33.3
	子どもの保育や教育環境に不安がある	15.3	0.0	0.0	20.0	30.8	16.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	33.3
	市内に雇用の場が少ない	11.9	0.0	0.0	30.0	15.4	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	仕事や家庭の事情	6.8	0.0	0.0	20.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	3.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	3.4	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	22.0	0.0	20.0	30.0	23.1	16.7	40.0	50.0	0.0	14.3	0.0	0.0
無回答	1.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		4	2	2	6	2	3	2	9	7
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	100.0	0.0	0.0	16.7	100.0	0.0	50.0	22.2	71.4
	地域行事や近所付き合いが面倒	75.0	0.0	0.0	50.0	50.0	33.3	0.0	33.3	28.6
	日常の買物が不便	75.0	0.0	50.0	33.3	100.0	66.7	100.0	33.3	42.9
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	25.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	25.0	0.0	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	57.1
	地価、家賃が高い	25.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	25.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	市内に雇用の場が少ない	25.0	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	仕事や家庭の事情	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	22.2	28.6
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0

【居住地域別】

※居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		4	10	5	14	65
高山市に住み続けたくない理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	25.0	30.0	20.0	28.6	50.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	0.0	50.0	80.0	35.7	35.4
	日常の買物が不便	0.0	60.0	20.0	35.7	33.8
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	0.0	50.0	20.0	35.7	20.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	10.0	20.0	7.1	23.1
	地価、家賃が高い	50.0	30.0	20.0	0.0	10.8
	子どもの保育や教育環境に不安がある	0.0	10.0	20.0	14.3	12.3
	市内に雇用の場が少ない	0.0	20.0	20.0	7.1	12.3
	仕事や家庭の事情	25.0	0.0	0.0	0.0	10.8
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	25.0	10.0	0.0	21.4	24.6
無回答	0.0	0.0	0.0	7.1	3.1	

【定住年数別】

- ・ 20年以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 10年以上～20年未満は「地域行事や近所付き合いが面倒」「日常の買物が不便」又は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 1年未満は「地価、家賃が高い」が、1年以上～5年未満は「日常の買物が不便」が、5年以上～10年未満は「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		84	11	0	5	0
高山市に住み続けたくない理由（%）	道路事情や交通の便が悪い	45.2	36.4	—	20.0	—
	地域行事や近所付き合いが面倒	39.3	27.3	—	20.0	—
	日常の買物が不便	36.9	18.2	—	20.0	—
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	23.8	18.2	—	40.0	—
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	22.6	0.0	—	0.0	—
	地価、家賃が高い	8.3	45.5	—	20.0	—
	子どもの保育や教育環境に不安がある	13.1	0.0	—	20.0	—
	市内に雇用の場が少ない	11.9	9.1	—	20.0	—
	仕事や家庭の事情	7.1	18.2	—	0.0	—
	住民間の交流に活力がない	3.6	9.1	—	0.0	—
	情報通信環境が整備されていない	4.8	0.0	—	0.0	—
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.4	0.0	—	0.0	—
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	—	0.0	—
その他	19.0	27.3	—	40.0	—	
無回答	3.6	9.1	—	0.0	—	

【居住形態別】

- ・ 持ち家は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 借家は「地価・家賃が高い」の割合が最も高い。

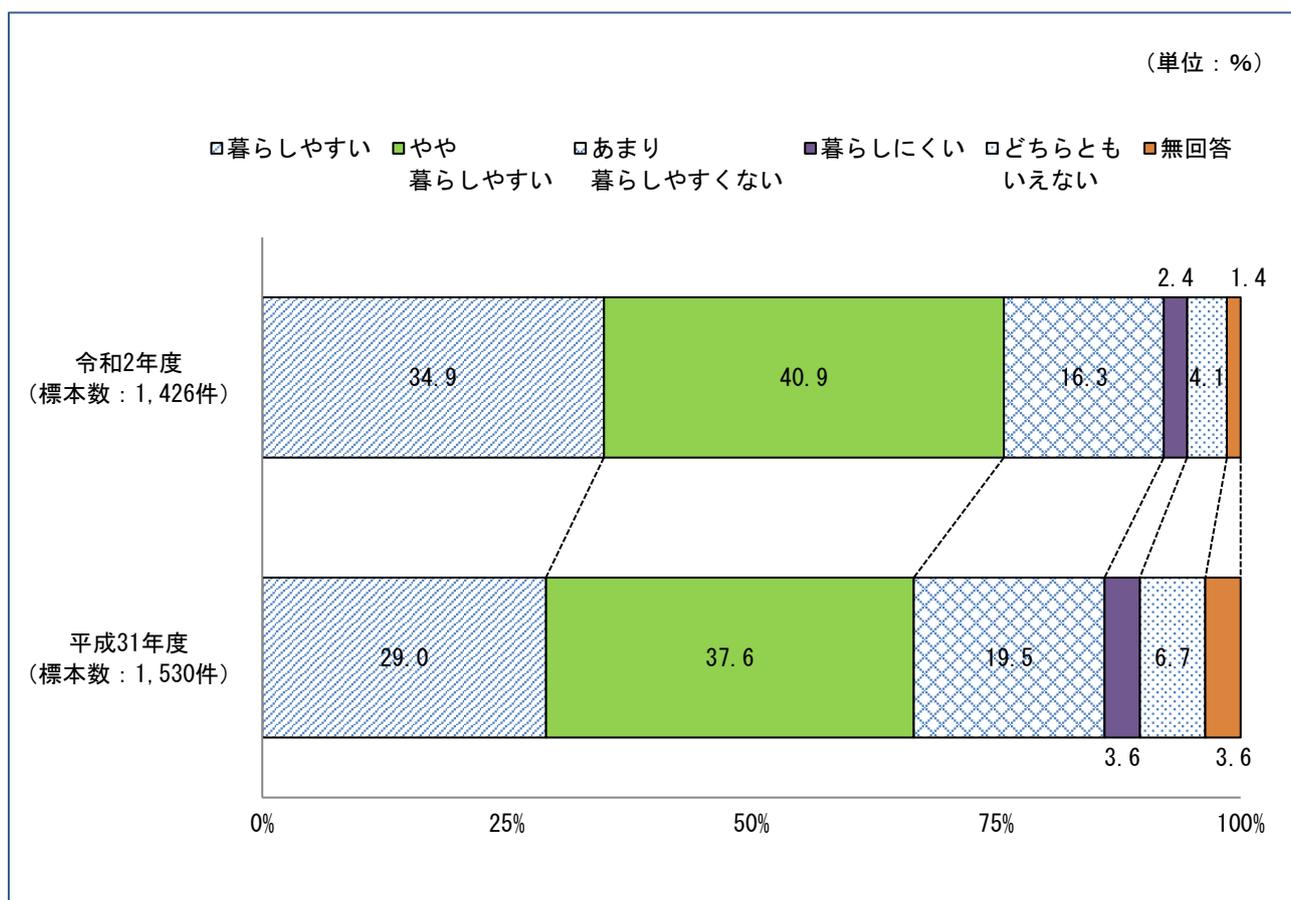
### 3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると75.8%を占めており、前回（H31）の調査結果（66.6%）に比べ9.2ポイント上昇している。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	498	34.9
やや暮らしやすい	583	40.9
あまり暮らしやすいくない	233	16.3
暮らしにくい	34	2.4
どちらともいえない	58	4.1
無回答	20	1.4
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	高山市の暮らしやすさ (%)						
			暮らしやすい	やすい	やや暮らしやすい	やすすくない	あまり暮らしやすい	暮らしにくい	ない
年齢	10代・20代	77	28.6	40.3	22.1	5.2	3.9	0.0	
	30代	136	33.1	41.2	17.6	2.9	5.1	0.0	
	40代	185	23.2	51.9	20.5	3.2	0.5	0.5	
	50代	216	25.0	44.9	21.8	3.2	3.2	1.9	
	60代	296	35.8	42.6	17.6	1.0	2.0	1.0	
	70代以上	494	43.3	34.6	11.1	1.8	6.9	2.2	
居住地域	高山地域	889	36.3	42.2	15.7	1.6	3.0	1.1	
	東地区	61	31.1	37.7	26.2	1.6	1.6	1.6	
	西地区	98	36.7	42.9	16.3	0.0	3.1	1.0	
	南地区	112	33.9	41.1	18.8	0.9	5.4	0.0	
	北地区	148	34.5	44.6	13.5	3.4	2.7	1.4	
	山王地区	127	34.6	50.4	11.0	0.8	2.4	0.8	
	江名子地区	42	35.7	35.7	23.8	2.4	2.4	0.0	
	新宮地区	96	37.5	38.5	17.7	2.1	1.0	3.1	
	三枝地区	52	40.4	34.6	15.4	1.9	3.8	3.8	
	大八地区	90	36.7	46.7	13.3	2.2	1.1	0.0	
	岩滝地区	8	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	
	花里地区	55	50.9	34.5	5.5	0.0	9.1	0.0	
	丹生川地区	65	36.9	41.5	16.9	1.5	3.1	0.0	
	清見地区	48	33.3	47.9	10.4	4.2	0.0	4.2	
	荘川地区	23	13.0	47.8	17.4	4.3	13.0	4.3	
	一之宮地区	47	29.8	29.8	23.4	4.3	8.5	4.3	
	久々野地区	63	28.6	49.2	15.9	0.0	1.6	4.8	
	朝日地区	33	39.4	30.3	21.2	6.1	3.0	0.0	
	高根地区	14	50.0	14.3	21.4	0.0	14.3	0.0	
国府地区	127	39.4	33.1	16.5	2.4	7.1	1.6		
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	21.3	36.1	26.2	6.6	9.8	0.0		

【年齢別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、60代（78.4%）が最も高く、10代・20代（68.9%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、花里地区（85.4%）が最も高く、次いで山王地区（85.0%）、大八地区（83.4%）が高い。一方、上宝・奥飛騨温泉郷地域（57.4%）が最も低く、次いで一之宮地域（59.6%）、荘川地域（60.8%）が低い。

属性別集計（家族構成別）

		標本数 (件)	高山市の暮らしやすさ (%)					無回答
			暮らしやすい	やや暮らしやすい	あまり暮らしやすい くない	暮らしにくい	どちらともいえない	
家族構成	単身世帯	143	35.7	37.8	12.6	2.8	8.4	2.8
	夫婦のみ	344	37.2	39.5	16.9	2.3	2.0	2.0
	二世帯世帯（親と子）	574	30.8	44.1	17.8	2.4	4.4	0.5
	（うち中学生以下の子と同居）	(181)	(28.2)	(41.4)	(21.5)	(4.4)	(4.4)	(0.0)
	三世帯世帯（親と子と孫）	298	39.3	40.6	13.8	2.0	2.7	1.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(177)	(37.9)	(42.9)	(13.0)	(2.3)	(2.3)	(1.7)
その他	22	40.9	27.3	18.2	4.5	9.1	0.0	

【家族構成別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、三世帯世帯（79.9%）が最も高く、次いで夫婦のみ（76.7%）となっている。

### 3-2 暮らしにくさを感じる場所

- ・1位から3位までの順位は、前回（H31）の調査結果と同じである。
- ・前回（H31）の調査結果に比べ、「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が大きく増加し、「日常の買物が不便」の割合が低下している。

問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやしくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。（3つまで○印）

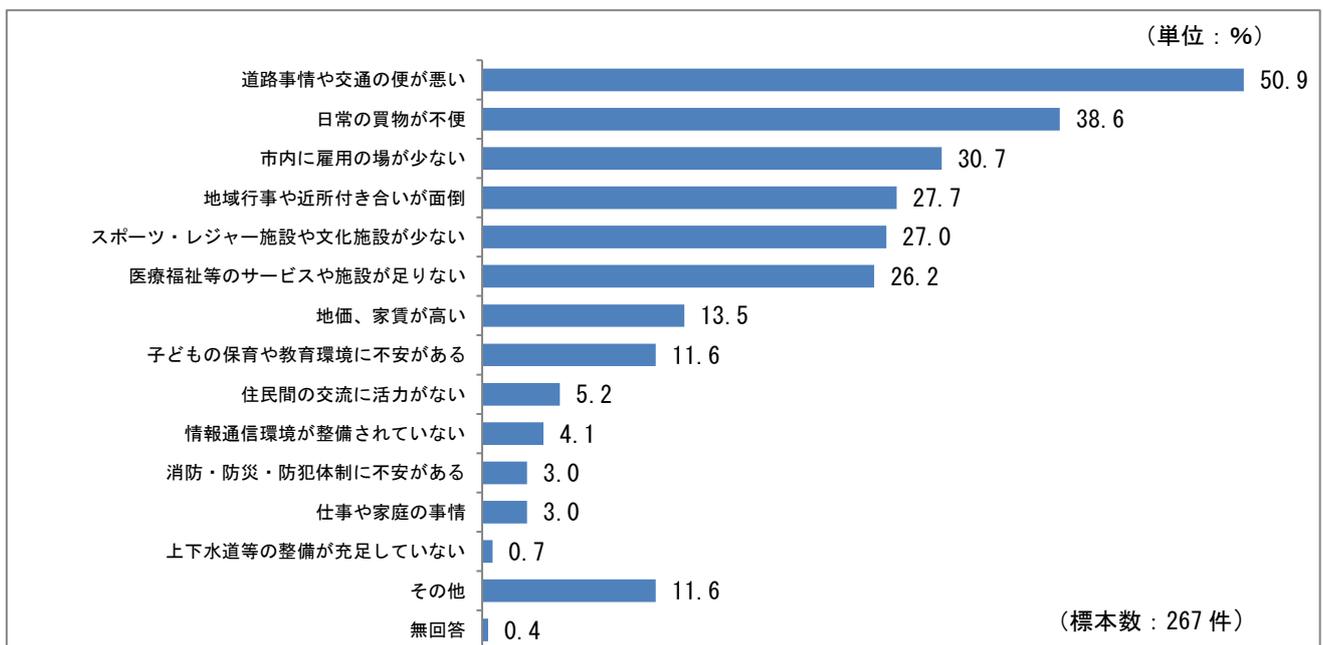
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H31)	
				順位	回答率 (%)
1	道路事情や交通の便が悪い	136	50.9	1	53.7
2	日常の買物が不便	103	38.6	2	42.9
3	市内に雇用の場が少ない	82	30.7	3	29.9
4	地域行事や近所付き合いが面倒	74	27.7	6	21.8
5	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	72	27.0	4	26.0
6	医療福祉等のサービスや施設が足りない	70	26.2	5	25.1
7	地価、家賃が高い	36	13.5	7	12.1
8	子どもの保育や教育環境に不安がある	31	11.6	8	11.0
9	住民間の交流に活力がない	14	5.2	12	3.4
10	情報通信環境が整備されていない	11	4.1	10	4.2
11	消防・防災・防犯体制に不安がある	8	3.0	11	4.0
	仕事や家庭の事情	8	3.0	9	5.4
13	上下水道等の整備が充足していない	2	0.7	13	2.3
	その他	31	11.6		16.1
	無回答	1	0.4		1.1
計		679			

(標本数：267件)

(標本数：354件)

※「その他」の内容

- ・「公共共通が不便」、「冬の生活が不便」、「公園が充実していない」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢別					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		21	28	44	54	55	64
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	28.6	57.1	38.6	57.4	47.3	60.9
	日常の買物が不便	47.6	32.1	29.5	40.7	36.4	45.3
	市内に雇用の場が少ない	23.8	28.6	27.3	44.4	29.1	25.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	38.1	28.6	31.8	29.6	32.7	15.6
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	47.6	39.3	34.1	18.5	29.1	14.1
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	21.4	27.3	27.8	32.7	29.7
	地価、家賃が高い	28.6	17.6	22.7	9.3	9.1	7.8
	子どもの保育や教育環境に不安がある	9.5	14.3	29.5	5.6	9.1	6.3
	住民間の交流に活力がない	0.0	3.6	2.3	1.9	3.6	14.1
	情報通信環境が整備されていない	9.5	3.6	4.5	3.7	3.6	3.1
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	2.3	3.7	7.3	1.6
	仕事や家庭の事情	4.8	3.6	2.3	1.9	1.8	4.7
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	2.3	0.0	1.8	0.0
	その他	4.8	14.3	4.5	16.7	14.5	9.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	

【年齢別】

- ・ 30代以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 10代・20代は「日常の買物が不便」又は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合は、特に40代以下で高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		154	17	16	22	25	15	11	19	9	14	3	3
暮らしにくさを感じる理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	48.1	47.1	50.0	50.0	56.0	53.3	27.3	63.2	22.2	42.9	33.3	33.3
	日常の買物が不便	29.9	35.3	43.8	22.7	16.0	20.0	45.5	26.3	33.3	35.7	66.7	33.3
	市内に雇用の場が少ない	35.7	17.6	25.0	36.4	44.0	60.0	9.1	42.1	22.2	42.9	33.3	66.7
	地域行事や近所付き合いが面倒	30.5	35.3	43.8	22.7	28.0	26.7	36.4	21.1	44.4	35.7	0.0	33.3
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	32.5	23.5	31.3	45.5	28.0	20.0	36.4	21.1	44.4	42.9	33.3	66.7
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	29.9	35.3	25.0	31.8	40.0	33.3	27.3	31.6	22.2	14.3	0.0	33.3
	地価、家賃が高い	18.8	29.4	0.0	31.8	32.0	20.0	0.0	21.1	11.1	7.1	0.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	11.0	0.0	6.3	18.2	12.0	13.3	0.0	5.3	11.1	28.6	33.3	0.0
	住民間の交流に活力がない	5.2	5.9	0.0	9.1	0.0	6.7	9.1	5.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	情報通信環境が整備されていない	1.9	5.9	6.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	5.3	11.1	7.1	33.3	0.0
	仕事や家庭の事情	3.9	5.9	0.0	4.5	0.0	6.7	9.1	0.0	0.0	7.1	33.3	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	11.7	17.6	12.5	4.5	12.0	13.3	36.4	10.5	11.1	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		12	7	5	13	10	9	3	24	20
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	58.3	57.1	20.0	53.8	60.0	55.6	33.3	50.0	80.0
	日常の買物が不便	66.7	71.4	80.0	38.5	40.0	55.6	100.0	20.8	80.0
	市内に雇用の場が少ない	25.0	42.9	20.0	15.4	30.0	44.4	0.0	12.5	20.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	25.0	0.0	20.0	38.5	30.0	22.2	0.0	25.0	20.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	41.7	42.9	0.0	15.4	0.0	11.1	0.0	33.3	5.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	16.7	14.3	20.0	15.4	20.0	11.1	33.3	25.0	25.0
	地価、家賃が高い	0.0	0.0	0.0	15.4	10.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	16.7	0.0	40.0	15.4	0.0	11.1	0.0	16.7	10.0
	住民間の交流に活力がない	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	8.3	5.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	14.3	0.0	15.4	0.0	22.2	0.0	4.2	5.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	11.1	0.0	0.0	5.0
	仕事や家庭の事情	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	16.7	14.3	0.0	7.7	20.0	11.1	0.0	8.3	15.0
無回答	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

【居住地域別】

- ・高山地域では、多くの地区で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・支所地域では、「道路事情や交通の便が悪い」と「日常の買物が不便」の割合が高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		22	66	116	(47)	47	(27)	5
暮らしにくさを感じる場所(%)	道路事情や交通の便が悪い	59.1	57.6	47.4	(42.6)	46.8	(40.7)	40.0
	日常の買物が不便	31.8	42.4	37.1	(23.4)	34.0	(22.2)	80.0
	市内に雇用の場が少ない	27.3	30.3	28.4	(29.8)	36.2	(40.7)	40.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	22.7	19.7	34.5	(34.0)	21.3	(22.2)	80.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	13.6	16.7	35.3	(48.9)	31.9	(33.3)	20.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	18.2	39.4	22.4	(23.4)	23.4	(22.2)	0.0
	地価、家賃が高い	27.3	9.1	15.5	(19.1)	10.6	(14.8)	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	0.0	4.5	15.5	(23.4)	21.3	(33.3)	0.0
	住民間の交流に活力がない	9.1	6.1	4.3	(0.0)	6.4	(7.4)	0.0
	情報通信環境が整備されていない	4.5	4.5	3.4	(4.3)	6.4	(3.7)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	4.5	6.1	2.6	(2.1)	0.0	(0.0)	0.0
	仕事や家庭の事情	9.1	3.0	2.6	(0.0)	2.1	(0.0)	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	4.5	0.0	0.9	(0.0)	0.0	(0.0)	0.0
	その他	13.6	18.2	6.9	(10.6)	12.8	(18.5)	20.0
無回答	0.0	1.5	0.0	(0.0)	0.0	(0.0)	0.0	

【家族構成別】

- ・ その他以外は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

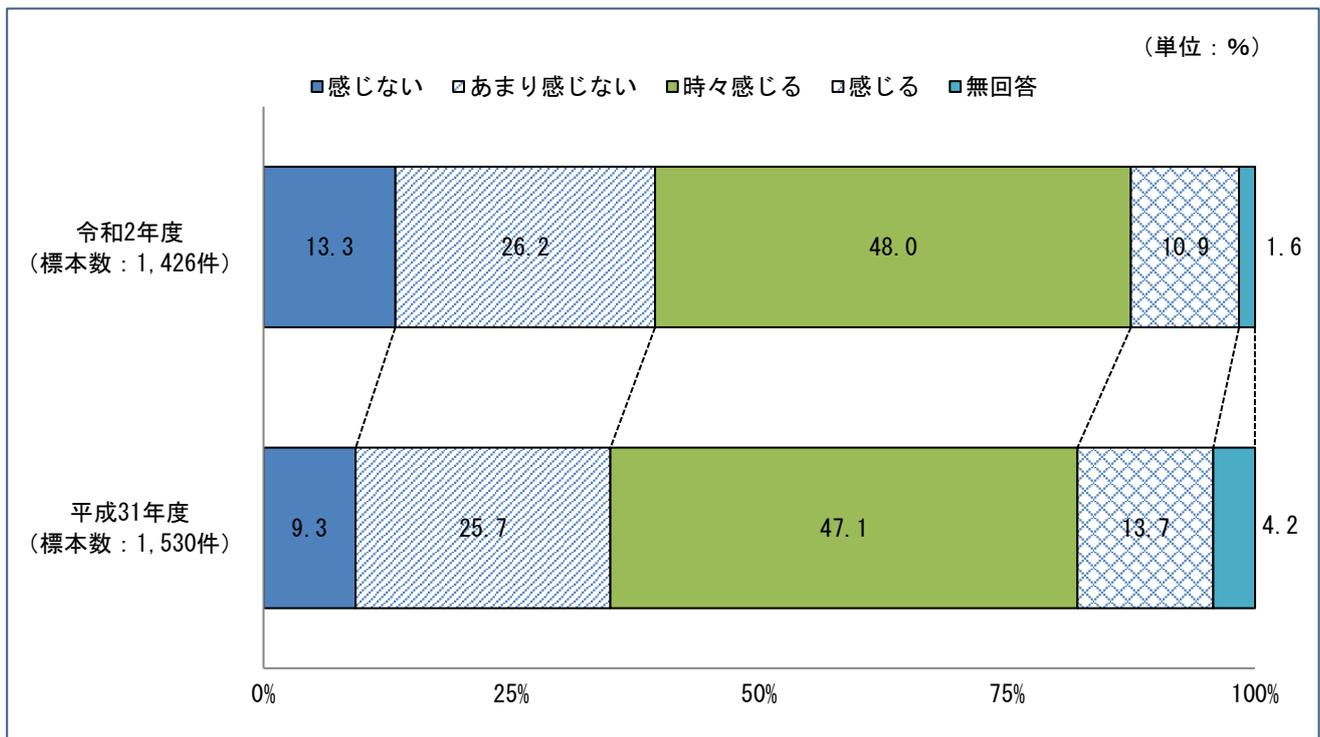
#### 4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると58.9%を占め、前回（H31）の調査結果（60.8%）に比べ、1.9ポイント改善している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	189	13.3
あまり感じない	374	26.2
時々感じる	684	48.0
感じる	156	10.9
無回答	23	1.6
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	暮らしの中での不安 (%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	77	20.8	32.5	39.0	7.8	0.0
	30代	136	11.8	29.4	47.8	11.0	0.0
	40代	185	14.1	28.6	47.6	9.2	0.5
	50代	216	9.3	27.8	49.5	12.5	0.9
	60代	296	9.8	23.3	55.7	10.5	0.7
	70代以上	494	16.0	24.3	45.1	11.3	3.2
居住地域	高山地域	889	14.3	25.1	48.5	10.7	1.5
	東地区	61	18.0	24.6	44.3	13.1	0.0
	西地区	98	10.2	22.4	51.0	12.2	4.1
	南地区	112	17.0	17.9	55.4	9.8	0.0
	北地区	148	14.9	25.7	40.5	17.6	1.4
	山王地区	127	11.8	26.8	53.5	7.9	0.0
	江名子地区	42	16.7	19.0	54.8	9.5	0.0
	新宮地区	96	13.5	21.9	53.1	10.4	1.0
	三枝地区	52	17.3	21.2	51.9	7.7	1.9
	大八地区	90	12.2	45.6	33.3	7.8	1.1
	岩滝地区	8	0.0	12.5	62.5	12.5	12.5
	花里地区	55	18.2	21.8	50.9	3.6	5.5
	丹生川地域	65	12.3	33.8	47.7	6.2	0.0
	清見地域	48	14.6	27.1	52.1	6.3	0.0
	荘川地域	23	4.3	21.7	60.9	4.3	8.7
	一之宮地域	47	12.8	23.4	48.9	12.8	2.1
	久々野地域	63	6.3	23.8	57.1	9.5	3.2
	朝日地域	33	18.2	27.3	30.3	21.2	3.0
	高根地域	14	14.3	21.4	42.9	21.4	0.0
	国府地域	127	11.0	33.9	43.3	10.2	1.6
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	11.5	18.0	50.8	16.4	3.3	

【年齢別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、60代（66.2%）が最も高く、10代・20代（46.8%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、岩滝地区（75.0%）が最も高く、次いで上宝・温泉郷（67.2%）、久々野地域（66.6%）が高い。一方、大八地区（41.1%）が最も低く、次いで朝日地域（51.5%）、国府地域（53.5%）が低い。

属性別集計（家族構成別）

		標本数 (件)	暮らしの中での不安 (%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
家族構成	単身世帯	143	14.0	22.4	43.4	18.9	1.4
	夫婦のみ	344	12.8	23.0	50.6	11.3	2.3
	二世帯世帯	574	11.5	27.9	49.0	10.6	1.0
	（うち中学生以下の子と同居）	(181)	(13.8)	(24.9)	(48.1)	(12.7)	(0.6)
	三世帯世帯	298	15.1	28.5	47.7	8.1	0.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(177)	(14.1)	(24.9)	(53.1)	(7.3)	(0.6)
その他	22	18.2	31.8	31.8	13.6	4.5	

【家族構成別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、単身世帯（62.3%）が最も高く、三世帯世帯（55.8%）が最も低い。

## 4-2 不安を感じるどころ

- ・ 1位・2位は、前回（H31）の調査結果と同じである。
- ・ 前回（H31）の調査結果に比べ、「伝染病・感染症に対する不安」「地震、豪雨災害に対する不安」の割合が大きく上昇している。

問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。（3つまで○印）

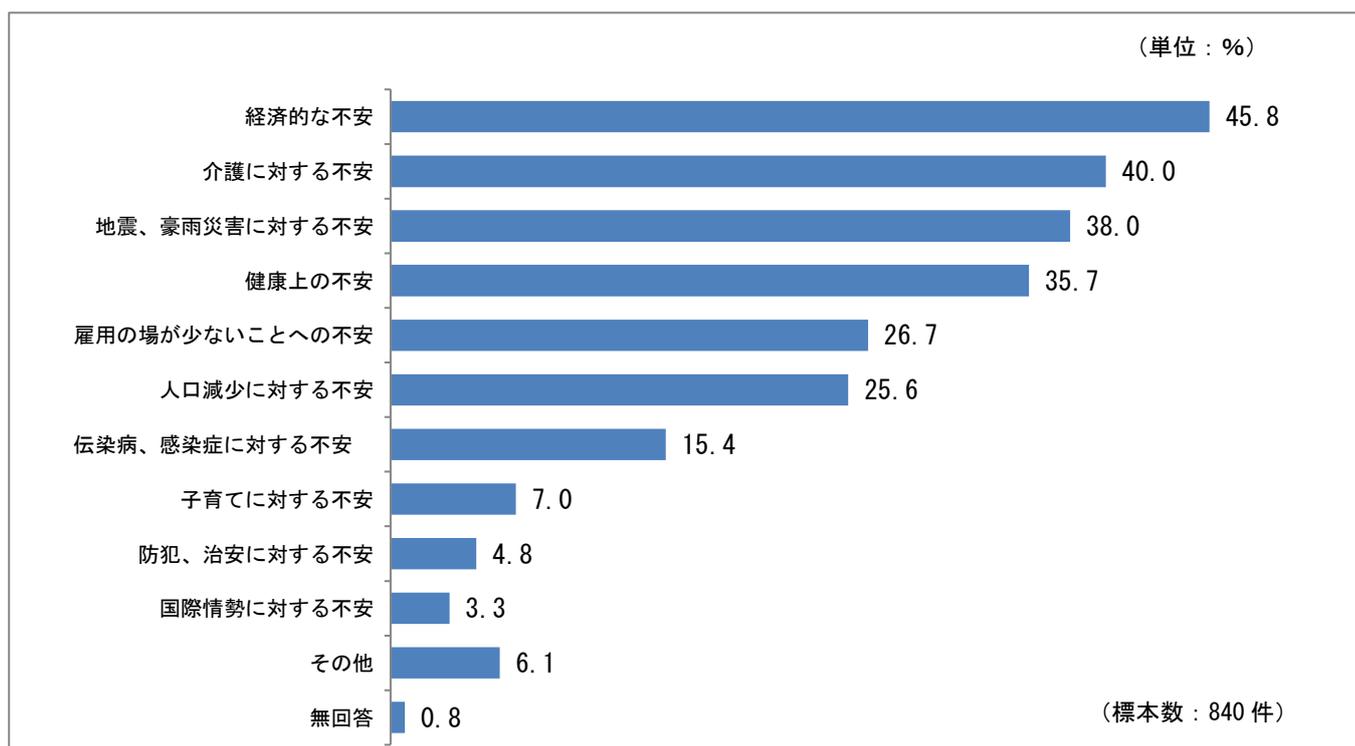
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H31)	
				順位	回答率(%)
1	経済的な不安	385	45.8	1	54.5
2	介護に対する不安	336	40.0	2	47.7
3	地震、豪雨災害に対する不安	319	38.0	5	28.2
4	健康上の不安	300	35.7	3	41.3
5	雇用の場が少ないことへの不安	224	26.7	6	23.7
6	人口減少に対する不安	215	25.6	4	31.1
7	伝染病、感染症に対する不安	129	15.4	10	0.4
8	子育てに対する不安	59	7.0	7	8.4
9	防犯、治安に対する不安	40	4.8	8	4.6
10	国際情勢に対する不安	28	3.3	9	2.8
	その他	51	6.1		5.7
	無回答	7	0.8		1.1
計		2,093			

(標本数：840件)

(標本数：930件)

※「その他」の内容

- ・ 「自分の老後」、「日常における移動手段」、「病院・医師不足」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		36	80	105	134	196	279
不安を感じるとする(%)	経済的な不安	52.8	48.8	56.2	53.7	49.0	35.5
	介護に対する不安	13.9	16.3	23.8	36.6	46.9	53.4
	地震、豪雨災害に対する不安	38.9	33.8	31.4	38.1	44.9	37.3
	健康上の不安	5.6	11.3	15.2	17.2	43.4	58.1
	雇用の場が少ないことへの不安	25.0	32.5	40.0	41.8	26.5	13.6
	人口減少に対する不安	19.4	35.0	26.7	22.4	28.1	22.9
	伝染病、感染症に対する不安	5.6	21.3	18.1	12.7	11.7	17.6
	子育てに対する不安	13.9	21.3	23.8	3.0	1.5	1.4
	防犯、治安に対する不安	2.8	10.0	2.9	4.5	4.1	4.3
	国際情勢に対する不安	0.0	6.3	3.8	3.0	3.6	2.5
	その他	11.1	10.0	8.6	7.5	4.1	4.3
無回答	5.6	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	

【年齢別】

- ・ 60代以下は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「健康上の不安」の割合が最も高い。
- ・ 40代と50代は「雇用の場が少ないことへの不安」の割合が特に高い。
- ・ 30代と40代は、他の年代に比べ「子育てに対する不安」の割合が特に高い。
- ・ 「介護に対する不安」と「健康上の不安」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩瀧地区	花里地区
標本数（件）		526	35	62	73	86	78	27	61	31	37	6	30
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	46.8	57.1	50.0	43.8	50.0	43.6	25.9	49.2	38.7	56.8	50.0	43.3
	介護に対する不安	39.2	48.6	35.5	39.7	44.2	33.3	40.7	34.4	45.2	35.1	0.0	50.0
	地震、豪雨災害に対する不安	37.6	40.0	30.6	30.1	33.7	38.5	51.9	36.1	41.9	43.2	66.7	50.0
	健康上の不安	34.2	28.6	46.8	35.6	29.1	28.2	51.9	27.9	38.7	37.8	33.3	30.0
	雇用の場が少ないことへの不安	26.8	14.3	22.6	28.8	24.4	33.3	25.9	32.8	22.6	32.4	33.3	20.0
	人口減少に対する不安	19.4	14.3	27.4	19.2	20.9	26.9	7.4	11.5	6.5	18.9	33.3	23.3
	伝染病、感染症に対する不安	17.7	14.3	14.5	16.4	15.1	16.7	25.9	19.7	16.1	21.6	0.0	30.0
	子育てに対する不安	8.2	11.4	4.8	8.2	10.5	7.7	3.7	11.5	9.7	2.7	0.0	10.0
	防犯、治安に対する不安	5.1	11.4	8.1	6.8	4.7	5.1	7.4	1.6	0.0	2.7	16.7	0.0
	国際情勢に対する不安	3.8	5.7	3.2	5.5	4.7	1.3	3.7	1.6	6.5	5.4	0.0	3.3
	その他	6.3	5.7	4.8	11.0	3.5	6.4	11.1	6.6	6.5	2.7	16.7	3.3
無回答	0.2	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		35	28	15	29	42	17	9	68	41
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	51.4	53.6	6.7	48.3	45.2	35.3	0.0	48.5	36.6
	介護に対する不安	40.0	35.7	46.7	58.6	47.6	52.9	33.3	35.3	36.6
	地震、豪雨災害に対する不安	40.0	28.6	20.0	41.4	42.9	29.4	22.2	48.5	46.3
	健康上の不安	57.1	46.4	40.0	41.4	40.5	23.5	22.2	38.2	29.3
	雇用の場が少ないことへの不安	20.0	28.6	33.3	24.1	31.0	29.4	22.2	17.6	36.6
	人口減少に対する不安	17.1	35.7	73.3	31.0	33.3	64.7	88.9	20.6	56.1
	伝染病、感染症に対する不安	20.0	3.6	6.7	10.3	4.8	5.9	11.1	17.6	9.8
	子育てに対する不安	0.0	7.1	0.0	3.4	2.4	5.9	0.0	10.3	2.4
	防犯、治安に対する不安	5.7	3.6	6.7	0.0	2.4	5.9	0.0	4.4	2.4
	国際情勢に対する不安	0.0	3.6	0.0	3.4	4.8	0.0	0.0	2.9	0.0
	その他	11.4	3.6	13.3	3.4	2.4	0.0	11.1	5.9	2.4
無回答	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	2.9	2.4	

【居住地域別】

- ・「経済的な不安」の割合は多くの地域で最も高い。
- ・「人口減少に対する不安」の割合は、高山地域と支所地域で傾向が異なり、高山地域で30%以上は11地区中2地区、支所地域で30%以上は9地域中7地域（40%以上は4地域）となっている。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		89	213	342	(110)	166	(107)	10
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	47.2	39.0	49.4	(46.4)	47.6	(45.8)	50.0
	介護に対する不安	34.8	50.2	36.8	(27.3)	37.3	(29.9)	30.0
	地震、豪雨災害に対する不安	39.3	41.3	36.5	(36.4)	35.5	(35.5)	60.0
	健康上の不安	51.7	48.4	24.9	(15.5)	32.5	(29.0)	20.0
	雇用の場が少ないことへの不安	18.0	16.9	33.6	(35.5)	30.7	(35.5)	20.0
	人口減少に対する不安	16.9	23.5	26.6	(24.5)	31.3	(30.8)	20.0
	伝染病、感染症に対する不安	14.6	15.0	15.5	(20.9)	14.5	(14.0)	30.0
	子育てに対する不安	1.1	2.3	10.8	(29.1)	9.0	(12.1)	10.0
	防犯、治安に対する不安	6.7	5.2	4.7	(7.3)	3.0	(2.8)	10.0
	国際情勢に対する不安	2.2	3.3	3.8	(5.5)	3.0	(3.7)	10.0
	その他	6.7	6.1	7.0	(10.0)	4.2	(6.5)	0.0
無回答	0.0	0.5	1.5	(0.0)	0.6	(0.0)	0.0	

【家族構成別】

- ・二世代世帯、三世代世帯は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・単身世帯は「健康上の不安」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみの世帯は「介護に対する不安」の割合が最も高い。

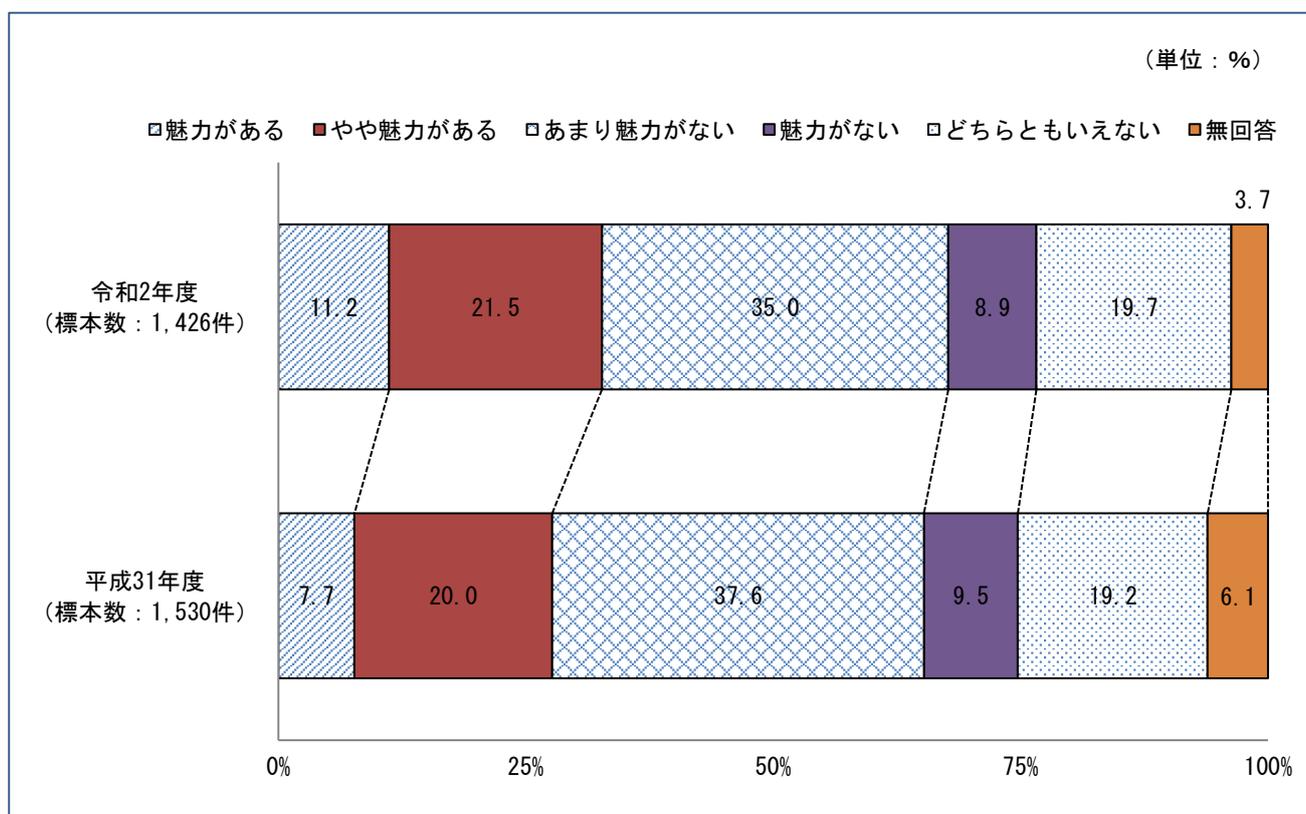
## 5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせると43.9%を占めるが、前回（H31）の調査結果（47.1%）に比べ3.2ポイント改善している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	160	11.2
やや魅力がある	306	21.5
あまり魅力がない	499	35.0
魅力がない	127	8.9
どちらともいえない	281	19.7
無回答	53	3.7
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
性別	男	591	12.0	24.4	37.2	9.0	15.2	2.2
	女	776	10.3	19.7	33.8	9.3	22.7	4.3
年齢	10代・20代	77	14.3	23.4	35.1	19.5	7.8	0.0
	30代	136	16.9	23.5	36.8	12.5	10.3	0.0
	40代	185	9.7	27.0	41.1	9.7	11.4	1.1
	50代	216	7.4	17.6	49.1	12.0	13.0	0.9
	60代	296	10.8	19.9	40.9	7.8	19.6	1.0
	70代以上	494	11.5	20.9	23.7	5.5	29.8	8.7

【性別】

- ・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、30代(40.4%)が最も高く、50代(25.0%)が最も低い。

属性別集計（居住地域別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
居住地域	高山地域	889	11.2	20.6	37.5	9.6	18.1	3.0
	東地区	61	4.9	23.0	49.2	8.2	13.1	1.6
	西地区	98	12.2	20.4	35.7	8.2	19.4	4.1
	南地区	112	11.6	16.1	44.6	8.9	16.1	2.7
	北地区	148	8.8	20.3	31.8	14.9	21.6	2.7
	山王地区	127	13.4	16.5	36.2	11.0	18.9	3.9
	江名子地区	42	9.5	14.3	40.5	14.3	19.0	2.4
	新宮地区	96	8.3	24.0	41.7	5.2	19.8	1.0
	三枝地区	52	11.5	17.3	46.2	0.0	19.2	5.8
	大八地区	90	15.6	25.6	28.9	15.6	12.2	2.2
	岩滝地区	8	25.0	0.0	37.5	0.0	12.5	25.0
	花里地区	55	14.5	34.5	27.3	1.8	20.0	1.8
	丹生川地域	65	16.9	18.5	30.8	6.2	26.2	1.5
	清見地域	48	12.5	25.0	29.2	6.3	20.8	6.3
	荘川地域	23	4.3	13.0	47.8	0.0	26.1	8.7
	一之宮地域	47	17.0	17.0	34.0	17.0	12.8	2.1
	久々野地域	63	4.8	31.7	39.7	4.8	12.7	6.3
	朝日地域	33	9.1	18.2	27.3	6.1	30.3	9.1
	高根地域	14	7.1	21.4	7.1	14.3	35.7	14.3
	国府地域	127	11.8	21.3	33.1	6.3	22.8	4.7
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	11.5	27.9	16.4	8.2	31.1	4.9	

【居住地域別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、花里地区（49.0%）が最も高く、次いで大八地区（41.2%）、上宝・奥飛騨温泉郷地域（39.4%）が高い。一方、荘川地域（17.3%）が最も低く、次いで江名子地区（23.8%）、岩滝地区（25.0%）が低い。

属性別集計（職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					無回答
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	
職業	農林畜産業	73	17.8	23.3	27.4	5.5	21.9	4.1
	自営業	156	16.0	30.1	27.6	9.6	16.7	0.0
	会社員・公務員・団体職員	415	12.0	20.7	46.3	10.4	10.1	0.5
	パート・アルバイト・内職	252	7.5	25.4	37.3	9.5	17.1	3.2
	家事従事者	95	8.4	14.7	31.6	7.4	33.7	4.2
	学生	16	6.3	18.8	31.3	25.0	12.5	6.3
	無職	338	8.9	17.5	26.9	6.8	31.1	8.9
	その他	42	9.5	26.2	35.7	14.3	14.3	0.0

【職業別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、自営業（46.1%）が最も高く、家事従事者（23.1%）が最も低い。

## 5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・上位からの順位は、前回（H31）の調査結果と全て同じである。
- ・前回（H31）の調査結果に比べ、特に「雇用の場が少ない」と「職種が少ない」の割合が上昇している。

問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（2つまで○印）

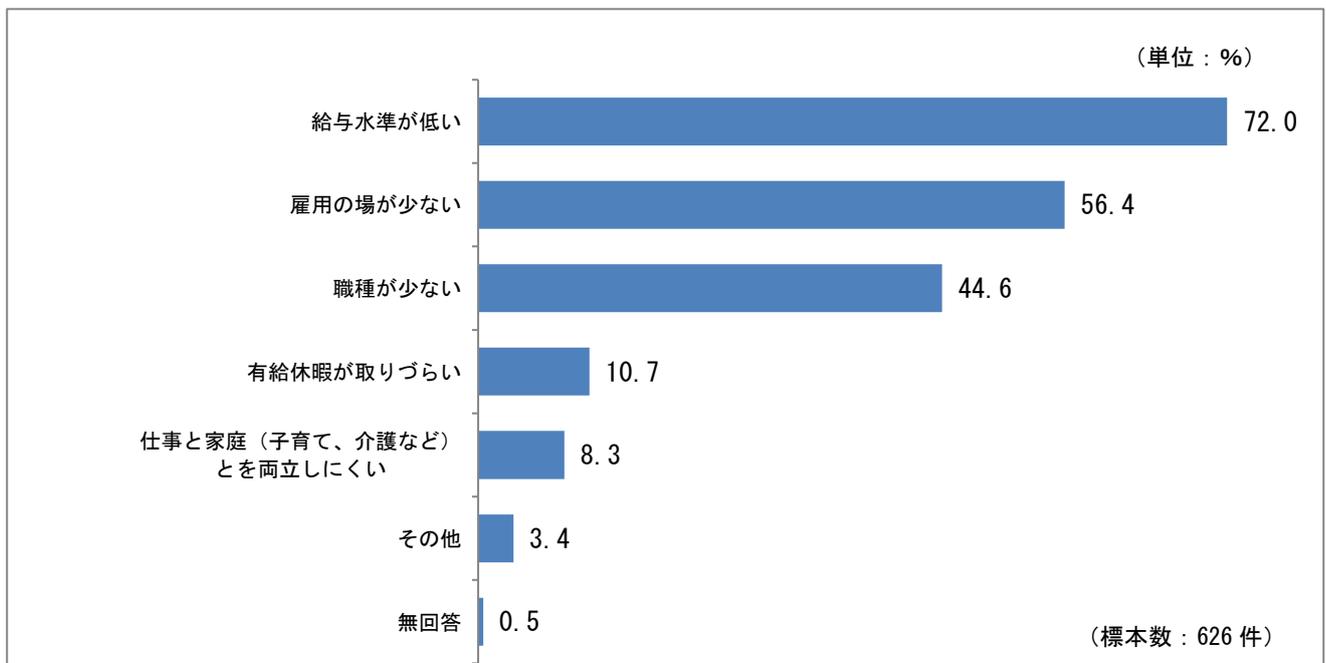
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率(%)
1	給与水準が低い	451	72.0	1	70.7
2	雇用の場が少ない	353	56.4	2	50.0
3	職種が少ない	279	44.6	3	39.7
4	有給休暇が取りづらい	67	10.7	4	11.7
5	仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しにくい	52	8.3	5	10.4
	その他	21	3.4		5.6
	無回答	3	0.5		0.3
計		1,226			

（標本数：626件）

（標本数：720件）

※「その他」内容

- ・「若者が働きたくなる環境づくり（産業、生活環境など）」、「労働環境が悪い（パワハラ、人間関係、福利厚生など）」など



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
性別	男	273	71.8	58.6	44.3	9.2	7.0	3.7	1.1
	女	334	72.8	53.9	44.9	12.0	9.6	3.0	0.0
年齢	10代・20代	42	61.9	40.5	45.2	26.2	4.8	0.0	0.0
	30代	67	70.1	38.8	44.8	20.9	14.9	7.5	0.0
	40代	94	80.9	55.3	44.7	12.8	10.6	4.3	0.0
	50代	132	76.5	62.1	43.9	9.8	5.3	5.3	0.0
	60代	144	77.1	57.6	49.3	8.3	7.6	0.0	0.0
	70代以上	144	60.4	63.9	40.3	3.5	8.3	3.5	2.1

【性別】

- ・男性、女性ともに「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・女性は男性に比べ「有給休暇が取りづらい」と「仕事と家庭とを両立しにくい」の割合が特に高い。

【年齢別】

- ・70代以上は「雇用の場が少ない」の割合が最も高く、その他の年齢は「給与水準が低い」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		標本数（件）	働く場としての魅力がない理由（％）						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
居住地域	高山地域	418	74.4	56.2	42.1	10.3	6.0	4.1	0.2
	東地区	35	68.6	51.4	40.0	11.4	8.6	5.7	0.0
	西地区	43	79.1	55.8	46.5	9.3	2.3	4.7	0.0
	南地区	60	76.7	53.3	43.3	15.0	6.7	1.7	0.0
	北地区	69	72.5	52.2	42.0	5.8	8.7	7.2	1.4
	山王地区	60	80.0	58.3	43.3	11.7	3.3	3.3	0.0
	江名子地区	23	56.5	52.2	39.1	21.7	4.3	4.3	0.0
	新宮地区	45	77.8	55.6	44.4	11.1	6.7	2.2	0.0
	三枝地区	24	66.7	58.3	29.2	0.0	12.5	4.2	0.0
	大八地区	40	70.0	65.0	45.0	10.0	0.0	5.0	0.0
	岩滝地区	3	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	花里地区	16	93.8	68.8	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0
	丹生川地域	24	75.0	70.8	37.5	8.3	4.2	4.2	0.0
	清見地域	17	88.2	47.1	41.2	11.8	5.9	5.9	0.0
	荘川地域	11	36.4	63.6	72.7	27.3	9.1	9.1	0.0
	一之宮地域	24	83.3	66.7	37.5	12.5	16.7	0.0	0.0
	久々野地域	28	60.7	60.7	42.9	14.3	3.6	0.0	0.0
	朝日地域	11	63.6	90.9	45.5	0.0	9.1	0.0	0.0
	高根地域	3	0.0	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	国府地域	50	72.0	40.0	52.0	10.0	24.0	0.0	0.0
上宝・奥飛騨温泉郷地域	15	60.0	53.3	60.0	13.3	13.3	6.7	0.0	

【居住地域別】

- ・「給与水準が低い」の割合が多く、多くの地域で最も高い。

属性別集計（職業別）

		標本数 (件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
職業	農林畜産業	24	70.8	66.7	29.2	12.5	8.3	0.0	0.0
	自営業	58	56.9	44.8	58.6	8.6	3.4	12.1	0.0
	会社員・公務員・団体職員	235	80.0	56.6	42.1	17.9	9.8	2.6	0.4
	パート・アルバイト・内職	118	76.3	55.9	44.1	5.1	7.6	1.7	0.8
	家事従事者	37	78.4	59.5	48.6	2.7	2.7	2.7	0.0
	学生	9	44.4	44.4	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	114	62.3	62.3	45.6	4.4	7.0	1.8	0.9
	その他	21	61.9	47.6	38.1	23.8	9.5	14.3	0.0

【職業別】

- ・農林畜産業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職、家事従事者及び無職は「給与水準が低い」の割合が最も高い（無職は「雇用の場が少ない」と同率）。
- ・自営業及び学生は「職種が少ない」の割合が最も高い。

## 2 高山市の市政運営について

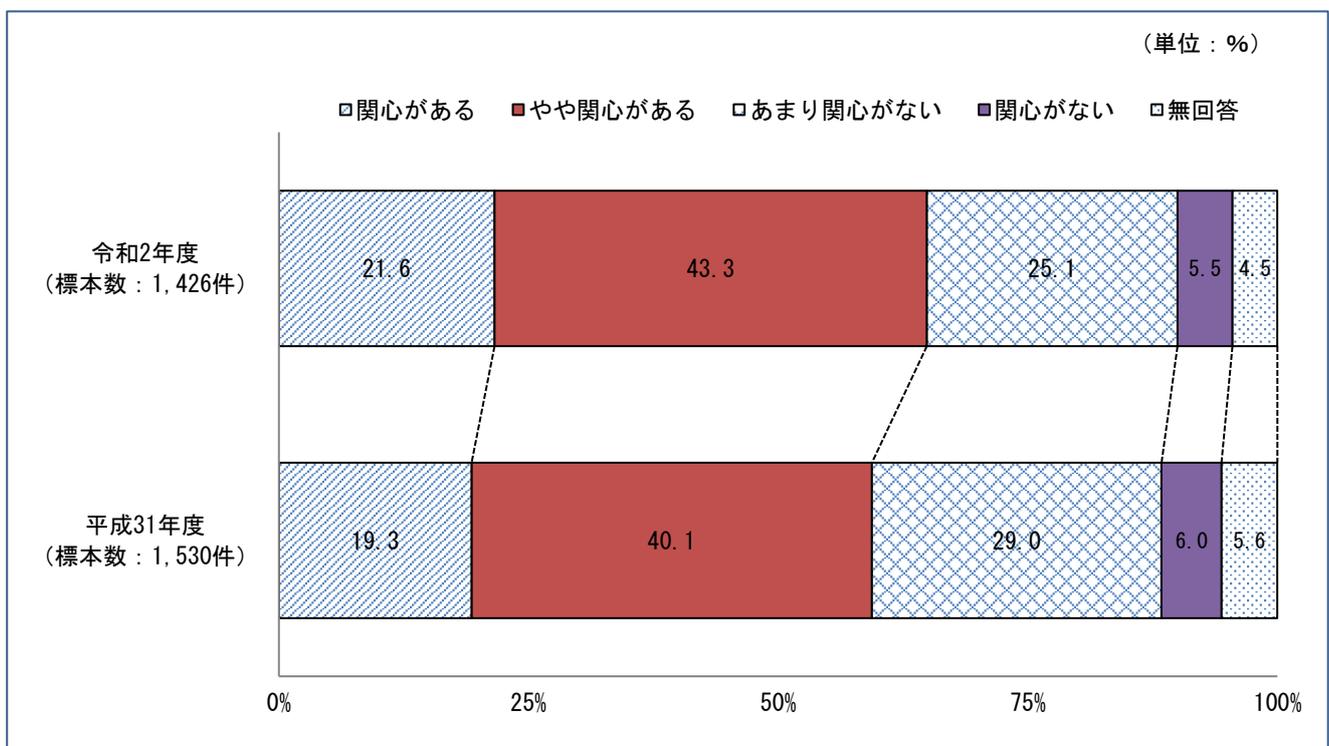
### 1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 64.9%を占め、前回（H31）の調査結果（59.4%）に比べ5.5ポイント上昇している。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	308	21.6
やや関心がある	618	43.3
あまり関心がない	358	25.1
関心がない	78	5.5
無回答	64	4.5
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	10代・20代	77	14.3	27.3	37.7	18.2	2.6
	30代	136	22.1	33.8	30.1	11.8	2.2
	40代	185	20.5	49.7	22.2	5.9	1.6
	50代	216	17.6	46.3	27.8	6.0	2.3
	60代	296	23.3	44.9	28.0	2.0	1.7
	70代以上	494	24.1	42.9	20.4	3.4	9.1

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、40代以上では60%以上なのに対し、30代では55.9%、10代・20代では41.6%と低くなっている。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	889	20.8	45.1	24.1	5.4	4.6
	東地区	61	26.2	41.0	24.6	6.6	1.6
	西地区	98	19.4	50.0	21.4	5.1	4.1
	南地区	112	25.0	39.3	24.1	6.3	5.4
	北地区	148	21.6	39.2	26.4	6.8	6.1
	山王地区	127	23.6	44.1	20.5	8.7	3.1
	江名子地区	42	19.0	50.0	28.6	0.0	2.4
	新宮地区	96	15.6	53.1	22.9	5.2	3.1
	三枝地区	52	15.4	48.1	28.8	0.0	7.7
	大八地区	90	15.6	44.4	28.9	3.3	7.8
	岩滝地区	8	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0
	花里地区	55	25.5	50.9	14.5	5.5	3.6
	丹生川地域	65	29.2	36.9	29.2	1.5	3.1
	清見地域	48	16.7	45.8	25.0	2.1	10.4
	荘川地域	23	17.4	60.9	17.4	0.0	4.3
	一之宮地域	47	21.3	51.1	14.9	8.5	4.3
	久々野地域	63	19.0	47.6	28.6	1.6	3.2
	朝日地域	33	27.3	39.4	27.3	3.0	3.0
	高根地域	14	21.4	14.3	42.9	7.1	14.3
	国府地域	127	25.2	34.6	29.1	7.1	3.9
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	24.6	39.3	23.0	11.5	1.6	
定住年数	1年未満	17	17.6	17.6	47.1	17.6	0.0
	1年以上～5年未満	38	28.9	36.8	18.4	15.8	0.0
	5年以上～10年未満	41	9.8	36.6	34.1	12.2	7.3
	10年以上～20年未満	96	28.1	35.4	31.3	3.1	2.1
	20年以上	1,211	21.2	44.8	24.5	5.0	4.4

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、荘川地域（78.3%）が最も高く、次いで花里地区（76.4%）、一之宮地域（72.4%）が高い。一方、高根地域（35.7%）が最も低く、次いで国府地域（59.8%）、大八地区（60.0%）が低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、20年以上（66.0%）が最も高く、1年未満（35.2%）が最も低い。

## 2 今後の重要課題

- ・ 1位と2位の順位は、前回（H31）の調査結果と同じである。
- ・ 前回（H31）の調査結果に比べ、特に「人口減少への対応」と「道路環境の整備や公共交通の充実」の割合が低下し、「地域経済の活性化」の割合が上昇している

問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。  
（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率(%)
1	急激な高齢者の増加への対応	628	44.0	1	46.3
2	医療・福祉サービスの確保	562	39.4	2	40.3
3	少子化対策	357	25.0	4	25.6
4	雇用の場の創出	344	24.1	5	22.0
5	地震や豪雨災害などへの備え	318	22.3	6	21.2
6	人口減少への対応	308	21.6	3	30.3
7	地域経済の活性化	281	19.7	7	15.0
8	道路環境の整備や公共交通の充実	133	9.3	8	14.3
9	安全安心の確保	111	7.8	13	6.5
10	自然環境の保全	103	7.2	11	7.0
11	学校教育や生涯学習の充実	102	7.2	9	8.8
12	地域力の向上や魅力ある地域づくり	98	6.9	10	7.6
13	農林畜産業の振興	97	6.8	12	6.6
14	観光の振興	88	6.2	16	4.7
14	効率的で持続可能な行財政運営の推進	88	6.2	14	5.6
15	伝統文化の保存・活用	66	4.6	17	3.8
16	自然エネルギーへの転換	46	3.2	15	5.1
17	海外戦略	34	2.4	19	1.4
18	郷土への誇り・愛着の醸成	27	1.9	18	2.5
19	文化芸術の振興	18	1.3	20	1.0
	その他	36	2.5		3.9
	無回答	19	1.3		1.8
	計	3,864			

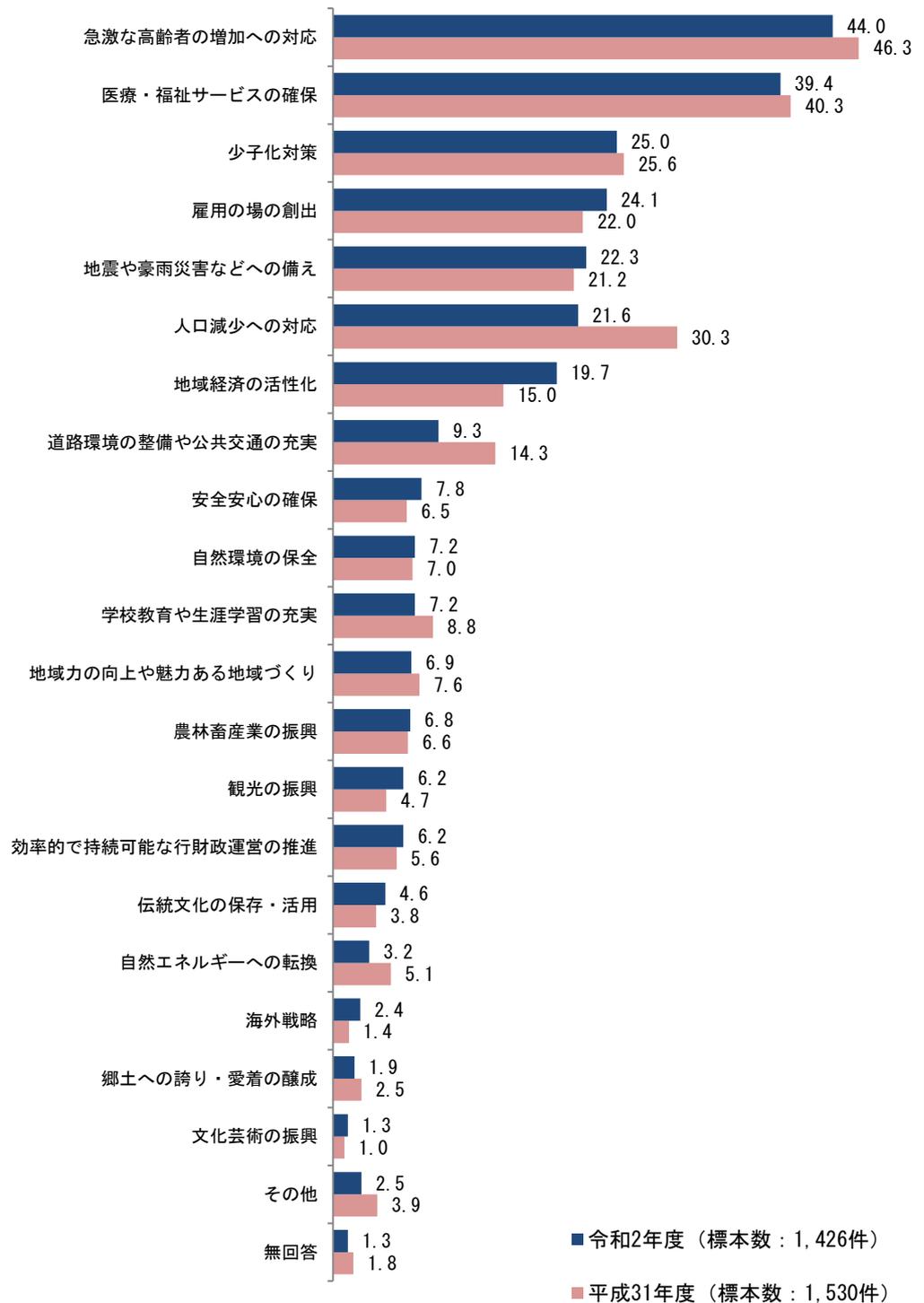
(標本数：1,426件)

(標本数:1,530件)

※「その他」内容

- ・ 「市民が楽しめる場所の創出」、「新型コロナウイルス感染症への対策」 など

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		77	136	185	216	296	494
今後の重要課題（%）	急激な高齢者の増加への対応	24.7	30.9	36.8	40.7	42.9	55.1
	医療・福祉サービスの確保	26.0	33.1	38.9	38.4	44.6	41.3
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	37.7	45.6	33.0	18.5	25.7	17.2
	雇用の場の創出	29.9	16.2	33.0	31.0	20.9	21.3
	地震や豪雨災害などへの備え	15.6	19.9	15.1	20.4	26.0	25.3
	人口減少への対応	14.3	22.1	20.5	17.6	23.3	24.1
	地域経済の活性化	19.5	16.9	25.4	20.8	25.3	15.0
	道路環境の整備や公共交通の充実	15.6	7.4	10.8	12.5	8.4	7.5
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	5.2	6.6	4.9	5.1	9.5	9.7
	自然環境の保全	7.8	5.1	8.6	8.8	7.8	6.1
	学校教育や生涯学習の充実	7.8	16.9	15.7	6.5	4.4	3.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.2	8.1	5.9	8.8	8.4	5.1
	農林畜産業の振興	3.9	3.7	5.4	5.1	9.5	7.9
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	6.5	12.5	8.1	6.0	5.4	4.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	2.6	6.6	3.2	7.9	5.7	7.1
	伝統文化の保存・活用	5.2	3.7	5.9	6.5	3.0	4.7
	自然エネルギーへの転換	6.5	7.4	4.3	4.2	2.0	1.6
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	6.5	3.7	2.7	2.3	1.7	1.8
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.6	1.5	1.6	3.7	1.7	1.4
文化芸術の振興	1.3	1.5	1.1	0.9	1.0	1.6	
その他	1.3	6.6	1.1	4.2	2.7	1.4	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.2	

【年齢別】

- ・ 30代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 40代と60代は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 50代と70代以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		889	61	98	112	148	127	42	96	52	90	8	55
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	43.5	44.3	45.9	37.5	41.2	42.5	42.9	41.7	63.5	41.1	37.5	49.1
	医療・福祉サービスの確保	39.9	32.8	39.8	42.0	39.2	43.3	47.6	32.3	38.5	42.2	25.0	45.5
	少子化対策(妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり)	23.7	24.6	29.6	25.9	22.3	21.3	16.7	21.9	23.1	25.6	25.0	23.6
	雇用の場の創出	25.9	27.9	27.6	23.2	18.9	26.8	35.7	31.3	30.8	31.1	0.0	16.4
	地震や豪雨災害などへの備え	21.8	21.3	16.3	17.0	18.9	26.0	26.2	17.7	23.1	25.6	25.0	36.4
	人口減少への対応	20.8	26.2	19.4	25.0	21.6	23.6	19.0	15.6	15.4	15.6	12.5	25.5
	地域経済の活性化	19.6	26.2	30.6	17.9	14.2	20.5	23.8	21.9	9.6	16.7	12.5	16.4
	道路環境の整備や公共交通の充実	8.3	6.6	10.2	8.0	8.1	4.7	9.5	13.5	3.8	10.0	0.0	9.1
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	8.3	8.2	7.1	9.8	8.1	8.7	7.1	9.4	7.7	6.7	0.0	10.9
	自然環境の保全	7.4	6.6	5.1	10.7	6.8	7.9	2.4	8.3	5.8	4.4	25.0	12.7
	学校教育や生涯学習の充実	7.5	4.9	4.1	8.9	10.1	9.4	9.5	7.3	5.8	5.6	0.0	7.3
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.9	1.6	5.1	5.4	9.5	6.3	7.1	8.3	5.8	8.9	25.0	5.5
	農林畜産業の振興	5.5	4.9	6.1	5.4	5.4	6.3	0.0	7.3	3.8	7.8	12.5	1.8
	観光の振興(魅力ある観光地づくり、誘客促進)	7.1	11.5	3.1	8.9	9.5	7.1	2.4	9.4	7.7	4.4	0.0	3.6
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	6.4	6.6	7.1	3.6	8.8	11.8	0.0	4.2	1.9	6.7	0.0	5.5
	伝統文化の保存・活用	5.3	6.6	4.1	6.3	7.4	4.7	7.1	6.3	0.0	3.3	0.0	5.5
	自然エネルギーへの転換	3.6	1.6	2.0	2.7	4.1	3.1	2.4	9.4	5.8	1.1	12.5	1.8
	海外戦略(外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流)	2.8	4.9	5.1	5.4	2.7	1.6	2.4	1.0	3.8	0.0	0.0	1.8
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.4	1.6	3.1	3.6	2.0	2.4	0.0	4.2	0.0	3.3	0.0	0.0
	文化芸術の振興	1.5	6.6	0.0	4.5	2.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.5	1.6	2.0	2.7	4.7	1.6	4.8	1.0	3.8	1.1	0.0	1.8	
無回答	0.9	0.0	0.0	0.9	1.4	0.8	0.0	0.0	3.8	2.2	0.0	0.0	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数（件）		65	48	23	47	63	33	14	127	61
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	49.2	50.0	47.8	53.2	46.0	45.5	28.6	44.9	36.1
	医療・福祉サービスの確保	32.3	27.1	26.1	36.2	38.1	30.3	50.0	46.5	41.0
	少子化対策(妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり)	18.5	29.2	39.1	25.5	27.0	33.3	7.1	27.6	32.8
	雇用の場の創出	23.1	16.7	21.7	21.3	20.6	24.2	14.3	20.5	19.7
	地震や豪雨災害などへの備え	15.4	22.9	4.3	21.3	27.0	24.2	14.3	30.7	27.9
	人口減少への対応	29.2	16.7	17.4	21.3	19.0	27.3	21.4	25.2	24.6
	地域経済の活性化	27.7	16.7	8.7	23.4	28.6	15.2	14.3	18.9	14.8
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.2	6.3	0.0	17.0	6.3	12.1	28.6	4.7	27.9
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	13.8	6.3	8.7	6.4	7.9	6.1	7.1	6.3	3.3
	自然環境の保全	4.6	10.4	8.7	10.6	4.8	9.1	0.0	7.1	3.3
	学校教育や生涯学習の充実	4.6	4.2	8.7	10.6	3.2	9.1	0.0	5.5	8.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.2	10.4	17.4	6.4	7.9	3.0	7.1	3.1	3.3
	農林畜産業の振興	16.9	14.6	4.3	2.1	4.8	21.2	14.3	10.2	4.9
	観光の振興(魅力ある観光地づくり、誘客促進)	7.7	4.2	4.3	4.3	7.9	3.0	0.0	0.8	8.2
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	7.7	4.2	4.3	6.4	1.6	6.1	0.0	8.7	6.6
	伝統文化の保存・活用	3.1	4.2	0.0	4.3	3.2	3.0	0.0	4.7	1.6
	自然エネルギーへの転換	1.5	0.0	0.0	0.0	1.6	3.0	0.0	3.1	4.9
	海外戦略(外国人観光客の誘致、地元製品の販路拡大、国際交流)	3.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.4	3.3
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.5	0.0	4.3	2.1	0.0	3.0	0.0	1.6	0.0
文化芸術の振興	0.0	2.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.8	1.6	
その他	3.1	2.1	4.3	4.3	3.2	0.0	0.0	2.4	3.3	
無回答	3.1	6.3	0.0	2.1	0.0	0.0	7.1	3.1	0.0	

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中13地区で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・全20地域（地区）中7地区で「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		143	344	574	(181)	298	(177)	22
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	46.2	49.4	41.3	(33.1)	41.6	(38.4)	45.5
	医療・福祉サービスの確保	44.8	43.6	35.4	(32.0)	38.6	(37.3)	36.4
	少子化対策(妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり)	11.9	22.7	26.3	(30.9)	33.9	(35.6)	27.3
	雇用の場の創出	20.3	21.5	24.2	(21.0)	28.5	(29.4)	36.4
	地震や豪雨災害などへの備え	23.1	21.5	22.5	(21.0)	22.5	(20.3)	31.8
	人口減少への対応	18.9	24.7	20.4	(21.0)	22.1	(20.9)	36.4
	地域経済の活性化	19.6	20.9	20.4	(18.2)	19.8	(20.9)	4.5
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.8	8.7	8.5	(8.3)	8.7	(9.0)	13.6
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	16.1	7.8	5.9	(6.6)	7.0	(7.3)	0.0
	自然環境の保全	9.8	8.7	7.1	(7.7)	5.4	(7.3)	4.5
	学校教育や生涯学習の充実	2.1	4.1	9.9	(19.9)	8.7	(10.2)	4.5
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.6	8.7	7.0	(6.1)	5.7	(5.1)	9.1
	農林畜産業の振興	4.9	6.7	6.8	(6.1)	8.4	(10.2)	13.6
	観光の振興(魅力ある観光地づくり、誘客促進)	4.9	4.9	7.3	(10.5)	7.0	(6.8)	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	1.4	7.6	7.8	(5.5)	3.7	(2.8)	4.5
	伝統文化の保存・活用	4.9	4.4	5.4	(4.4)	3.7	(2.8)	0.0
	自然エネルギーへの転換	3.5	2.9	3.7	(5.0)	3.0	(2.3)	0.0
	海外戦略(外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流)	1.4	2.0	2.6	(3.3)	3.0	(2.3)	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.8	2.0	2.3	(2.2)	1.0	(1.7)	0.0
	文化芸術の振興	2.1	1.7	1.0	(2.2)	1.0	(1.7)	0.0
その他	3.5	2.3	2.8	(3.3)	2.0	(2.8)	0.0	
無回答	3.5	0.9	0.7	(0.0)	1.0	(0.6)	4.5	

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		73	156	415	252	95	16	338	42
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	42.5	36.5	37.3	44.4	51.6	43.8	53.8	31.0
	医療・福祉サービスの確保	30.1	34.0	36.9	45.2	40.0	12.5	42.6	42.9
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	24.7	21.8	31.6	27.8	15.8	37.5	18.6	26.2
	雇用の場の創出	15.1	21.2	31.1	28.2	18.9	43.8	18.6	11.9
	地震や豪雨災害などへの備え	16.4	19.9	19.0	23.0	33.7	12.5	24.0	19.0
	人口減少への対応	27.4	26.3	20.7	13.5	18.9	6.3	26.3	26.2
	地域経済の活性化	32.9	23.7	23.4	17.9	21.1	12.5	14.5	7.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.6	9.0	11.6	5.6	10.5	12.5	8.9	7.1
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	5.5	7.7	5.8	7.5	5.3	18.8	10.4	14.3
	自然環境の保全	6.8	9.6	5.8	7.5	6.3	18.8	7.1	9.5
	学校教育や生涯学習の充実	5.5	6.4	9.6	11.1	5.3	18.8	2.4	9.5
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	9.6	9.0	7.2	6.7	4.2	6.3	5.9	9.5
	農林畜産業の振興	41.1	4.5	5.5	2.4	11.6	0.0	5.6	0.0
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	0.0	10.3	7.2	9.1	3.2	0.0	3.8	2.4
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	8.2	10.3	4.3	4.4	10.5	0.0	5.0	16.7
	伝統文化の保存・活用	0.0	4.5	4.3	3.6	8.4	12.5	4.7	9.5
	自然エネルギーへの転換	2.7	5.1	4.6	1.6	1.1	0.0	2.1	7.1
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	1.4	3.8	2.9	2.0	0.0	6.3	2.4	2.4
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	2.6	2.7	0.4	5.3	0.0	0.9	7.1
	文化芸術の振興	1.4	1.3	1.4	0.8	4.2	0.0	0.6	0.0
その他	0.0	5.1	3.1	2.4	2.1	0.0	1.5	2.4	
無回答	1.4	1.3	0.0	0.8	1.1	0.0	3.0	2.4	

【職業別】

- ・農林畜産業、自営業、会社員・公務員・団体職員、家事従事者、学生及び、無職は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。（学生は「雇用の場の創出」と同率）。
- ・パート・アルバイト・内職、は「医療・福祉サービスの確保」の割合が高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		17	38	41	96	1,211
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	29.4	21.1	19.5	41.7	46.2
	医療・福祉サービスの確保	52.9	34.2	19.5	44.8	39.6
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	29.4	36.8	31.7	25.0	24.6
	雇用の場の創出	17.6	13.2	29.3	29.2	23.9
	地震や豪雨災害などへの備え	0.0	15.8	14.6	15.6	23.2
	人口減少への対応	17.6	28.9	9.8	28.1	21.2
	地域経済の活性化	23.5	23.7	26.8	17.7	19.5
	道路環境の整備や公共交通の充実	17.6	18.4	17.1	7.3	8.8
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	5.9	7.9	9.8	6.3	7.9
	自然環境の保全	11.8	7.9	17.1	9.4	6.5
	学校教育や生涯学習の充実	5.9	5.3	17.1	14.6	6.4
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	17.6	2.6	12.2	7.3	6.7
	農林畜産業の振興	0.0	10.5	0.0	4.2	7.3
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	11.8	10.5	9.8	12.5	5.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	0.0	5.3	2.4	3.1	6.5
	伝統文化の保存・活用	11.8	2.6	7.3	2.1	4.6
	自然エネルギーへの転換	0.0	10.5	4.9	3.1	3.0
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	0.0	5.3	4.9	6.3	2.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	5.3	0.0	3.1	1.8
	文化芸術の振興	0.0	7.9	0.0	1.0	1.2
その他	11.8	2.6	4.9	3.1	2.3	
無回答	0.0	0.0	2.4	0.0	1.3	

【定住年数別】

- ・ 1年未満と10年以上～20年未満は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～10年未満は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 20年以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

### 3 高山市の取り組みに対する満足度

- ・満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（92.4%）、「生活環境」分野（86.1%）、「景観」分野（81.5%）となっている。
- ・上位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
  - 「上下水道」：初回調査の2位以降は1位で順位が高い状態で推移
  - 「生活環境」：初回調査の1位から順位が低下
  - 「観光」：初回調査の4位から、順位が低下（最低8位）したものの、近年上昇傾向
- ・満足度の低い分野は、低い順に「産業人材」分野（23.8%）、「土地利用」分野（28.0%）、「商業」分野（28.1%）となっている。
- ・下位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
  - 「産業人材」：前回（H31）より調査開始、前回は引き続き最下位
  - 「土地利用」：初回調査以降、下位から2位又は3位で推移
  - 「商業」：初回調査の33位から、最高で28位の時もあったが、近年低下傾向

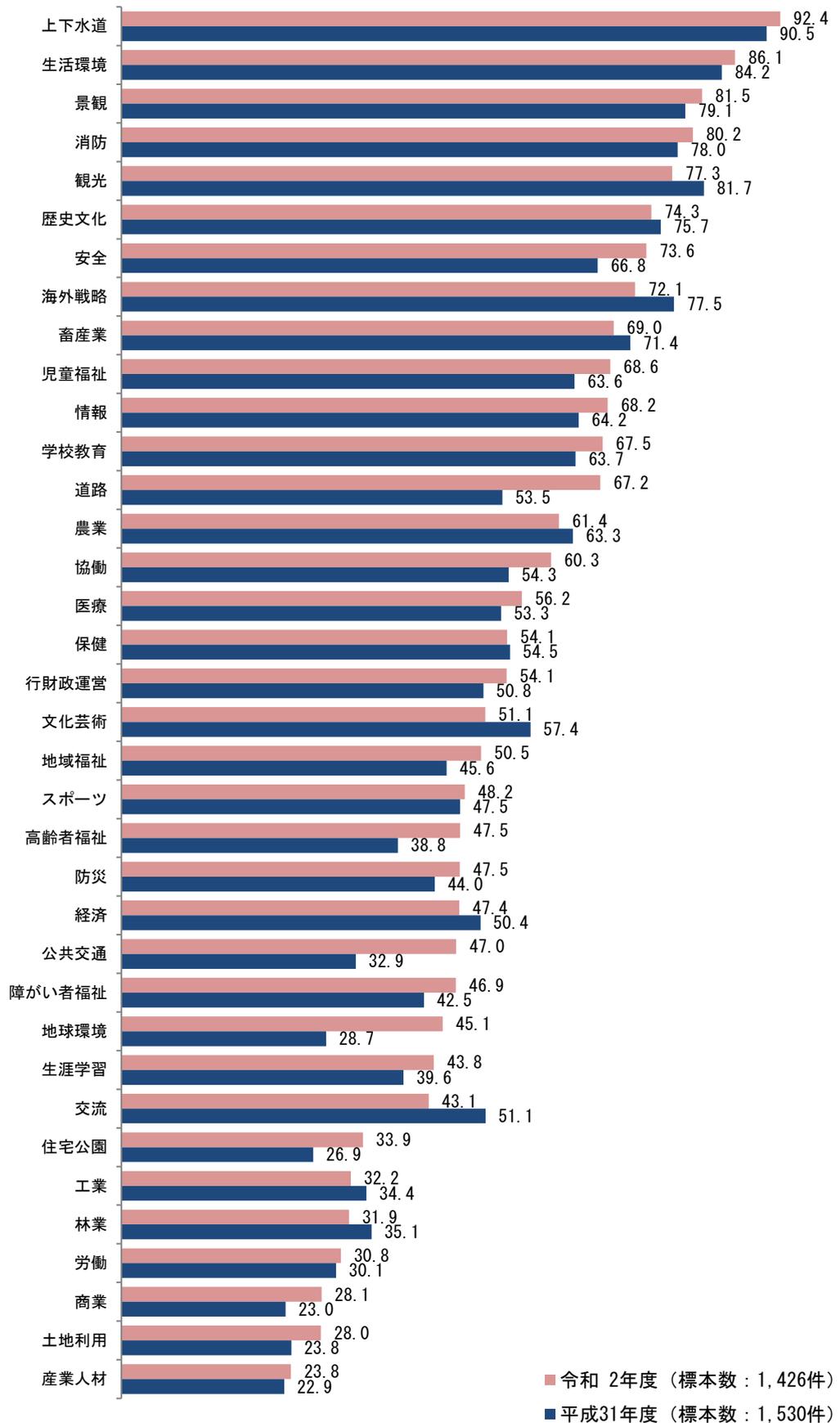
問8 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。  
それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。  
(それぞれの設問ごとに1つに○印)

(満足度の算出方法)

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数 (件)					前回調査 (H31)	
			満足度指標	感じている	やや感じている	あまり感じない	感じていない	無回答	順位	満足度 (%)
1	92.4%	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、污水处理が適切に行われている」と感じていますか。	695	596	86	20	29	1	90.5%
2	86.1%	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	476	730	152	43	25	2	84.2%
3	81.5%	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	374	759	209	49	35	4	79.1%
4	80.2%	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	370	749	240	37	30	5	78.0%
5	77.3%	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	380	683	250	63	50	3	81.7%
6	74.3%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	335	684	304	48	55	7	75.7%
7	73.6%	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	235	793	319	49	30	9	66.8%
8	72.1%	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	342	651	305	80	48	6	77.5%
9	69.0%	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	262	695	371	58	40	8	71.4%
10	68.6%	児童福祉	あなたは、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	179	755	360	68	64	12	63.6%
11	68.2%	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	323	623	346	95	39	10	64.2%
12	67.5%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	190	728	382	60	66	11	63.7%
13	67.2%	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	270	667	358	100	31	17	53.5%
14	61.4%	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	160	691	463	72	40	13	63.3%
15	60.3%	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	170	665	466	84	41	16	54.3%
16	56.2%	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	203	574	455	151	43	18	53.3%
17	54.1%	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	183	565	537	97	44	15	54.5%
18	54.1%	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	126	621	523	112	44	20	50.8%
19	51.1%	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	143	558	566	106	53	14	57.4%
20	50.5%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	108	586	566	115	51	23	45.6%
21	48.2%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	131	530	581	130	54	22	47.5%
22	47.5%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	121	537	587	140	41	27	38.8%
23	47.5%	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	118	541	638	91	38	24	44.0%
24	47.4%	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じていますか。	91	559	620	101	55	21	50.4%
25	47.0%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	193	463	493	248	29	30	32.9%
26	46.9%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	129	517	600	131	49	25	42.5%
27	45.1%	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	115	509	646	115	41	32	28.7%
28	43.8%	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	96	507	670	103	50	26	39.6%
29	43.1%	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	121	467	645	131	62	19	51.1%
30	33.9%	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	87	383	628	289	39	33	26.9%
31	32.2%	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	65	379	761	175	46	29	34.4%
32	31.9%	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	96	346	708	234	42	28	35.1%
33	30.8%	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	71	355	778	180	42	31	30.1%
34	28.1%	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	65	320	750	236	55	35	23.0%
35	28.0%	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	61	322	768	217	58	34	23.8%
36	23.8%	産業人材	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	35	294	884	170	43	36	22.9%

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		77	136	185	216	296	494
取り組みに対する満足度（%）	上下水道	94.8	90.4	91.4	89.8	93.5	93.8
	生活環境	81.8	74.3	85.9	79.6	89.1	91.7
	景観	87.0	80.1	84.3	77.7	82.7	80.8
	消防	80.5	64.0	71.4	78.2	83.3	87.0
	観光	86.8	80.7	77.7	78.6	76.0	74.3
	歴史文化	77.6	67.9	69.4	71.5	77.4	76.8
	安全	80.5	72.8	74.1	67.9	69.4	77.6
	海外戦略	81.6	78.5	78.7	76.7	68.6	65.4
	畜産業	79.2	70.6	81.6	69.8	62.2	65.9
	児童福祉	80.3	71.1	69.9	65.4	61.0	71.8
	情報	79.2	66.9	67.4	68.8	64.9	69.0
	学校教育	77.6	66.7	69.0	63.6	62.6	70.6
	道路	66.2	64.7	67.0	64.2	65.9	71.0
	農業	77.9	64.0	61.6	53.0	57.6	63.3
	協働	61.8	57.8	59.5	55.9	60.1	63.2
	医療	67.1	48.1	41.5	43.3	51.7	70.6
	保健	61.8	50.4	46.2	40.0	49.7	65.9
	行財政運営	66.2	50.0	53.5	43.2	47.3	62.5
	文化芸術	60.5	50.4	55.2	44.7	46.0	53.8
	地域福祉	64.5	52.6	51.9	42.8	43.7	54.6
	スポーツ	53.9	51.1	41.3	43.1	43.9	53.3
	高齢者福祉	64.5	45.9	43.5	33.6	41.0	55.8
	防災	48.1	41.2	47.8	43.3	41.9	55.0
	経済	65.8	54.5	46.2	40.7	43.6	46.9
	公共交通	42.9	46.3	44.0	38.0	47.9	52.3
	障がい者福祉	53.9	49.6	41.8	38.1	41.8	53.7
	地球環境	57.1	46.3	46.5	37.2	41.3	47.9
	生涯学習	51.9	36.0	46.2	41.1	41.2	46.1
	交流	60.5	39.3	45.1	38.3	39.4	44.2
	住宅公園	49.4	41.2	39.1	27.3	30.4	31.7
工業	50.6	36.3	36.2	24.2	25.5	33.8	
林業	61.0	46.7	42.7	26.2	22.7	26.7	
労働	54.5	45.5	27.0	19.2	23.9	33.4	
商業	51.3	44.4	31.5	20.6	19.1	27.8	
土地利用	50.6	31.6	35.0	23.0	21.9	26.0	
産業人材	28.6	19.3	23.2	14.0	20.7	30.9	

【年齢別】

- ・全ての年代で「上下水道」の割合が最も高い。
- ・「海外戦略」は、年代が上がるにつれて割合が低くなる。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		889	61	98	112	148	127	42	96	52	90	8	55
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	93.2	96.7	86.3	92.9	94.5	93.7	95.2	93.7	94.1	89.9	100.0	98.1
	生活環境	84.5	85.0	82.1	89.3	81.0	86.4	90.5	86.2	80.4	82.2	87.5	83.0
	景観	83.4	85.0	81.1	82.0	83.3	84.7	85.7	85.3	92.2	77.5	85.7	81.1
	消防	80.1	81.7	77.4	76.8	78.2	80.8	69.0	84.0	86.3	80.7	85.7	87.0
	観光	77.9	75.4	74.7	77.6	79.3	80.5	73.8	83.2	79.2	73.0	85.7	77.4
	歴史文化	76.0	80.3	81.7	73.3	75.2	76.2	81.0	71.3	68.8	77.5	85.7	75.5
	安全	74.0	73.3	72.3	69.6	78.2	75.0	58.5	72.6	70.6	78.2	71.4	83.3
	海外戦略	73.4	76.7	80.4	72.9	70.5	77.2	76.2	69.5	68.8	70.5	57.1	73.6
	畜産業	70.3	66.1	70.2	75.0	71.9	75.0	57.1	75.8	64.0	68.2	57.1	62.3
	児童福祉	67.2	65.0	60.9	66.3	66.4	68.6	53.7	77.4	70.8	67.0	71.4	69.8
	情報	68.4	80.0	68.4	66.4	67.4	70.2	69.0	65.3	64.7	67.8	85.7	64.8
	学校教育	63.9	70.0	53.8	64.1	59.0	65.3	53.7	71.0	75.0	62.5	100.0	67.3
	道路	68.5	76.7	63.2	61.3	74.0	74.0	57.1	65.3	68.6	64.4	100.0	73.6
	農業	60.8	63.3	58.5	68.5	62.5	56.5	61.9	56.8	60.0	61.4	57.1	57.7
	協働	58.5	61.7	62.8	57.7	54.5	54.5	57.1	61.7	51.0	57.5	62.5	73.6
	医療	54.7	63.3	57.4	52.3	45.6	58.1	47.6	51.6	45.8	61.4	100.0	64.2
	保健	51.9	61.7	56.4	48.6	49.7	48.4	50.0	52.6	39.6	51.1	85.7	61.1
	行財政運営	53.4	48.3	53.8	56.9	47.9	55.3	52.4	59.1	49.0	51.7	71.4	57.4
	文化芸術	50.1	42.6	54.3	50.5	47.6	52.0	50.0	53.2	41.7	51.7	57.1	50.9
	地域福祉	46.7	49.2	41.5	43.3	38.4	50.0	35.7	50.5	58.3	51.1	57.1	57.4
	スポーツ	45.3	37.7	45.7	47.7	44.4	42.3	41.5	48.4	43.8	49.4	71.4	47.2
	高齢者福祉	44.6	45.9	54.3	42.5	37.4	50.8	35.7	45.3	41.7	43.2	71.4	42.6
	防災	45.4	50.8	46.8	45.9	42.0	40.3	52.4	47.4	39.2	46.0	50.0	51.9
	経済	47.6	49.2	47.8	53.3	44.4	45.5	33.3	50.5	44.7	50.0	42.9	52.8
	公共交通	49.2	48.3	51.6	49.5	47.3	55.6	47.6	43.2	58.8	35.6	57.1	60.4
	障がい者福祉	45.1	48.3	47.8	45.2	35.2	41.0	38.1	49.5	51.0	53.9	85.7	44.4
	地球環境	43.8	47.5	40.9	44.1	42.8	41.1	45.2	45.3	45.1	43.8	57.1	47.2
	生涯学習	41.8	34.5	47.3	44.5	39.6	38.2	36.6	43.6	43.1	46.6	14.3	43.4
	交流	43.9	43.3	45.1	41.9	42.3	50.0	48.8	42.6	41.7	38.2	42.9	47.2
	住宅公園	34.7	42.4	37.9	40.5	31.3	34.7	26.8	40.4	31.4	23.6	57.1	32.7
工業	32.6	23.7	39.4	32.4	32.2	29.8	26.2	36.8	34.0	30.7	42.9	35.8	
林業	34.6	32.2	39.8	34.3	33.6	34.1	40.5	38.9	34.0	28.4	12.5	34.0	
労働	28.3	25.0	35.8	26.9	24.7	24.4	14.3	32.6	40.0	21.6	71.4	37.7	
商業	26.5	21.3	24.7	24.8	21.7	24.6	19.0	41.1	25.5	27.3	37.5	34.6	
土地利用	27.9	37.3	26.9	35.8	23.1	26.2	23.8	35.5	21.6	25.0	42.9	19.2	
産業人材	22.2	21.3	26.6	25.7	20.1	17.1	21.4	23.2	16.0	22.7	71.4	22.6	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛騨温泉郷地域 上宝
標本数(件)		65	48	23	47	63	33	14	127	61
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	95.2	93.3	91.3	82.6	90.5	87.9	84.6	93.4	91.4
	生活環境	92.1	95.6	95.7	80.4	88.9	90.9	78.6	92.6	83.1
	景観	77.8	81.8	86.4	76.6	79.0	72.7	64.3	76.0	79.3
	消防	77.8	80.0	100.0	72.3	88.9	81.8	78.6	84.4	69.5
	観光	77.4	79.5	66.7	77.8	74.2	80.6	92.9	76.2	63.8
	歴史文化	60.7	77.8	76.2	77.8	68.3	77.4	78.6	67.5	68.4
	安全	71.4	77.8	81.8	73.9	73.0	87.9	78.6	66.7	79.7
	海外戦略	72.6	77.8	50.0	75.6	71.0	71.9	78.6	63.6	65.5
	畜産業	66.1	66.7	68.2	63.0	63.9	69.7	53.8	66.9	62.1
	児童福祉	80.6	72.7	85.7	73.3	72.1	71.0	69.2	69.7	60.3
	情報	56.5	57.8	81.8	61.7	68.3	51.5	78.6	76.5	67.2
	学校教育	77.4	72.7	85.7	77.8	73.3	78.1	71.4	68.9	73.7
	道路	63.5	70.5	72.7	47.8	66.1	57.6	71.4	74.0	55.0
	農業	76.2	62.2	50.0	54.3	71.4	69.7	50.0	54.0	62.1
	協働	61.9	68.9	65.2	67.4	62.3	59.4	64.3	63.6	54.4
	医療	57.1	61.4	68.2	55.6	57.1	71.9	85.7	55.7	56.9
	保健	54.0	61.4	63.6	60.0	54.0	71.9	78.6	57.4	51.7
	行財政運営	48.4	46.7	54.5	44.7	62.3	63.6	64.3	59.5	52.5
	文化芸術	56.5	48.9	54.5	48.9	49.2	59.4	64.3	48.0	56.1
	地域福祉	58.1	61.4	66.7	62.2	60.0	59.4	50.0	53.7	51.7
	スポーツ	48.4	43.2	57.1	51.1	73.3	56.3	53.8	48.8	43.9
	高齢者福祉	50.8	62.2	63.6	46.7	56.5	75.0	71.4	44.6	53.3
	防災	40.3	53.3	68.2	58.7	50.8	48.5	57.1	48.4	48.3
	経済	46.8	46.7	59.1	35.6	48.4	46.9	50.0	45.1	48.3
	公共交通	33.9	28.9	52.2	23.9	49.2	48.5	64.3	50.4	33.9
	障がい者福祉	50.0	51.1	50.0	53.3	44.4	59.4	71.4	53.3	32.8
	地球環境	38.7	45.5	40.9	41.3	41.9	60.6	57.1	47.9	56.9
	生涯学習	51.6	47.7	27.3	47.8	50.8	54.5	71.4	41.7	42.1
	交流	41.9	45.5	33.3	44.4	35.0	46.9	50.0	38.8	37.9
	住宅公園	42.9	17.8	13.0	21.7	29.0	33.3	35.7	41.3	29.3
工業	33.9	31.8	22.7	28.3	41.0	31.3	30.8	28.5	27.6	
林業	17.5	24.4	31.8	41.3	27.0	31.3	38.5	21.8	24.1	
労働	37.1	31.1	36.4	28.3	29.0	40.6	50.0	39.3	32.8	
商業	33.9	31.8	9.5	24.4	31.7	28.1	50.0	30.8	36.2	
土地利用	29.5	32.6	26.1	26.1	21.7	30.3	50.0	29.1	19.3	
産業人材	34.9	29.5	18.2	22.2	36.5	25.0	25.0	24.6	19.0	

【居住地域別】

- ・高山地域は、全ての地区（11地区）で「上下水道」の割合が最も高い。
- ・支所地域は、地域によってばらつきがあるものの、9地域中5地域で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		143	344	574	(181)	298	(177)	22
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	86.7	93.2	92.6	(90.1)	93.6	(93.8)	95.2
	生活環境	84.7	86.5	84.2	(79.0)	88.1	(89.1)	95.2
	景観	81.8	83.1	80.3	(80.1)	82.7	(85.1)	71.4
	消防	75.6	83.5	78.2	(70.2)	79.8	(79.3)	95.2
	観光	75.7	74.9	78.6	(77.3)	78.5	(80.5)	71.4
	歴史文化	76.5	77.9	71.9	(68.0)	72.7	(73.6)	81.0
	安全	72.1	74.0	71.9	(69.1)	75.9	(76.7)	66.7
	海外戦略	70.6	67.6	74.7	(69.5)	72.9	(72.7)	61.9
	畜産業	69.4	66.2	69.6	(70.2)	71.8	(74.9)	42.9
	児童福祉	69.5	67.4	68.1	(64.4)	69.9	(72.1)	66.7
	情報	64.2	66.2	67.9	(64.4)	72.9	(74.0)	57.1
	学校教育	60.5	69.0	65.6	(63.3)	73.1	(75.4)	52.4
	道路	66.2	68.3	65.6	(63.5)	69.3	(71.0)	66.7
	農業	61.9	60.2	59.8	(56.1)	66.0	(70.3)	38.1
	協働	64.9	56.5	59.3	(55.2)	64.3	(66.5)	52.4
	医療	63.7	53.4	53.7	(44.1)	60.4	(58.4)	47.6
	保健	61.5	53.6	51.3	(44.1)	55.4	(57.5)	57.1
	行財政運営	58.3	52.0	50.8	(48.1)	59.5	(57.8)	52.4
	文化芸術	58.3	49.1	48.7	(49.2)	54.3	(58.6)	52.4
	地域福祉	50.4	44.1	51.6	(50.6)	56.3	(59.5)	42.9
	スポーツ	51.9	43.3	46.4	(42.9)	54.9	(57.5)	47.6
	高齢者福祉	55.2	38.6	46.8	(44.6)	53.9	(53.1)	47.6
	防災	38.1	48.5	44.7	(42.0)	54.3	(56.3)	52.4
	経済	56.7	42.5	48.1	(45.7)	46.4	(47.1)	42.9
	公共交通	46.3	45.5	45.4	(43.6)	51.4	(54.0)	47.6
	障がい者福祉	47.7	44.7	45.0	(39.5)	52.1	(51.7)	47.6
	地球環境	48.5	42.5	43.7	(38.7)	48.1	(51.7)	47.6
	生涯学習	45.1	39.8	42.8	(38.9)	48.6	(50.6)	42.9
	交流	41.2	41.5	43.0	(35.0)	43.2	(45.7)	42.9
	住宅公園	32.8	31.5	33.2	(35.9)	37.5	(39.9)	38.1
工業	38.5	26.3	32.6	(31.1)	36.4	(37.1)	14.3	
林業	38.5	25.7	33.6	(38.9)	34.0	(35.4)	14.3	
労働	36.0	26.9	29.8	(31.3)	34.8	(35.6)	23.8	
商業	31.6	22.4	29.1	(33.0)	31.8	(33.5)	19.0	
土地利用	34.9	21.0	28.9	(26.1)	31.3	(30.8)	19.0	
産業人材	34.8	19.5	23.8	(21.1)	24.2	(21.3)	19.0	

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員 ・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		73	156	415	252	95	16	338	42
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	94.3	92.2	89.4	93.2	94.6	100.0	93.8	95.1
	生活環境	88.6	90.3	81.0	84.1	91.5	87.5	89.5	87.8
	景観	82.9	75.8	81.0	84.4	86.2	81.3	80.3	82.9
	消防	85.7	81.7	74.0	79.9	81.9	81.3	84.1	80.5
	観光	77.9	73.6	80.7	78.3	72.3	81.3	73.6	82.5
	歴史文化	76.8	71.8	70.8	75.4	79.8	87.5	76.0	70.0
	安全	75.7	69.9	72.0	72.7	79.8	87.5	75.7	73.2
	海外戦略	59.4	76.9	75.6	75.1	64.9	81.3	67.1	80.0
	畜産業	69.6	66.2	72.5	73.0	65.3	68.8	64.1	70.7
	児童福祉	69.1	74.5	65.4	71.5	61.3	93.8	69.3	62.5
	情報	76.5	66.2	67.9	70.3	64.9	81.3	67.2	65.9
	学校教育	72.5	73.2	63.2	70.3	65.2	87.5	66.4	62.5
	道路	71.4	71.4	60.9	68.5	70.2	75.0	70.1	68.3
	農業	60.0	70.8	57.5	63.2	62.1	87.5	59.2	53.7
	協働	62.3	55.9	56.9	59.8	58.5	75.0	66.5	56.1
	医療	72.9	56.1	48.0	48.4	57.0	68.8	68.8	42.5
	保健	62.9	54.7	43.2	52.2	63.8	68.8	63.6	43.6
	行財政運営	59.4	53.3	46.5	51.4	57.0	81.3	62.0	58.5
	文化芸術	53.6	52.7	47.7	51.6	55.3	68.8	51.4	47.5
	地域福祉	58.0	48.7	48.5	49.0	50.5	75.0	52.1	42.5
	スポーツ	63.8	52.7	44.9	41.5	54.3	56.3	50.5	35.0
	高齢者福祉	65.7	47.7	41.6	40.3	45.7	62.5	54.5	45.0
	防災	50.0	47.0	44.0	46.0	53.2	56.3	52.8	41.5
	経済	37.7	43.2	42.6	55.5	46.8	68.8	49.5	41.0
	公共交通	58.0	51.3	40.2	49.0	47.9	37.5	50.6	39.0
	障がい者福祉	60.3	47.3	42.1	44.9	44.1	50.0	53.3	45.0
	地球環境	47.8	44.4	43.0	43.8	37.2	68.8	48.9	43.9
	生涯学習	50.7	42.0	42.4	41.0	42.6	43.8	47.1	41.5
	交流	40.6	39.6	42.2	44.3	42.6	75.0	43.5	42.5
	住宅公園	44.3	35.3	36.6	29.8	29.8	43.8	31.8	22.0
工業	30.4	34.0	30.4	30.4	29.5	50.0	33.2	31.7	
林業	28.6	31.4	33.2	35.9	26.3	62.5	27.6	36.6	
労働	37.7	30.1	26.2	35.9	28.4	50.0	29.0	39.0	
商業	31.9	34.0	29.1	27.9	22.3	50.0	23.3	22.5	
土地利用	33.8	24.0	29.4	27.1	22.3	62.5	27.0	30.0	
産業人材	30.0	21.4	19.8	27.1	25.3	18.8	26.2	9.8	

【職業別】

・全ての職業で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
標本数(件)		17	38	41	96	1,211
取り組みに対する満足度(%)	上下水道	88.2	92.1	87.5	94.7	92.4
	生活環境	76.5	73.7	85.0	89.6	86.2
	景観	100.0	86.8	87.8	81.1	80.7
	消防	47.1	55.3	70.7	80.0	81.6
	観光	76.5	89.5	77.5	83.2	76.4
	歴史文化	64.7	73.0	77.5	77.1	73.9
	安全	52.9	55.3	85.0	85.3	73.2
	海外戦略	70.6	81.6	85.0	81.1	70.9
	畜産業	82.4	68.4	71.8	69.1	68.5
	児童福祉	52.9	64.9	82.5	81.9	67.5
	情報	58.8	76.3	65.9	69.5	68.1
	学校教育	52.9	54.1	65.0	83.0	67.0
	道路	64.7	44.7	62.5	73.7	67.5
	農業	58.8	65.8	72.5	61.3	60.9
	協働	52.9	57.9	65.0	65.3	59.7
	医療	29.4	52.6	45.0	56.3	57.2
	保健	41.2	52.6	47.5	63.2	53.7
	行財政運営	47.1	51.4	65.9	60.6	53.2
	文化芸術	35.3	52.6	42.5	58.3	50.7
	地域福祉	35.3	44.7	62.5	54.7	49.9
	スポーツ	35.3	44.7	45.0	50.5	48.1
	高齢者福祉	29.4	42.1	45.0	51.6	47.4
	防災	47.1	39.5	37.5	56.8	47.4
	経済	76.5	50.0	50.0	57.9	45.8
	公共交通	35.3	36.8	45.0	33.3	48.5
	障がい者福祉	35.3	42.1	50.0	47.9	47.0
	地球環境	35.3	42.1	48.8	56.8	44.3
	生涯学習	29.4	26.3	40.0	46.8	44.2
	交流	47.1	35.1	40.0	52.1	42.5
	住宅公園	58.8	34.2	42.5	39.6	32.6
工業	47.1	31.6	25.6	43.6	30.9	
林業	58.8	50.0	47.5	48.4	29.0	
労働	47.1	36.8	32.5	44.1	28.9	
商業	58.8	26.3	22.5	43.6	26.5	
土地利用	23.5	35.1	32.5	40.6	26.6	
産業人材	35.3	18.4	25.0	30.1	23.0	

【定住年数別】

- ・1年未満及び5年以上10年未満は「景観」の割合が最も高く、その他の定住年数は「上下水道」の割合が最も高い。

### 3 協働のまちづくりについて

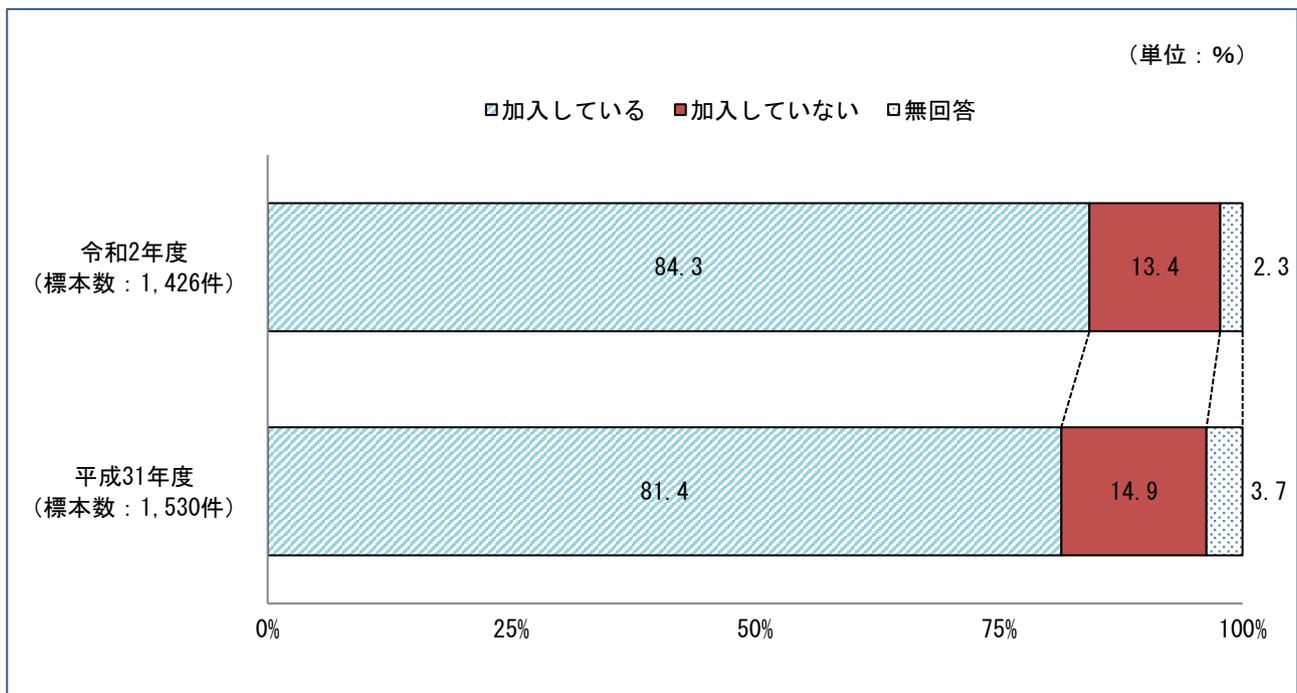
#### 1 町内会への加入状況

- ・「加入している」の割合が高く、前回（H31）の調査結果（81.4%）に比べ 2.9 ポイント上昇している。

問9 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
加入している	1,202	84.3
加入していない	191	13.4
無回答	33	2.3
計	1,426	

(標本数 : 1,426 件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	77	57.1	42.9	0.0
	30代	136	78.7	20.6	0.7
	40代	185	81.6	16.8	1.6
	50代	216	85.6	13.9	0.5
	60代	296	92.9	5.1	2.0
	70代以上	494	85.6	10.3	4.0
居住地域	高山地域	889	82.5	15.4	2.1
	東地区	61	82.0	18.0	0.0
	西地区	98	82.7	17.3	0.0
	南地区	112	80.4	19.6	0.0
	北地区	148	82.4	14.9	2.7
	山王地区	127	84.3	11.8	3.9
	江名子地区	42	81.0	11.9	7.1
	新宮地区	96	81.3	16.7	2.1
	三枝地区	52	86.5	11.5	1.9
	大八地区	90	85.6	12.2	2.2
	岩滝地区	8	87.5	12.5	0.0
	花里地区	55	76.4	20.0	3.6
	丹生川地域	65	92.3	7.7	0.0
	清見地域	48	89.6	6.3	4.2
	荘川地域	23	87.0	8.7	4.3
	一之宮地域	47	89.4	10.6	0.0
	久々野地域	63	85.7	11.1	3.2
	朝日地域	33	90.9	6.1	3.0
	高根地域	14	100.0	0.0	0.0
	国府地域	127	88.2	8.7	3.1
上宝・奥飛驒温泉郷地域	61	83.6	9.8	6.6	

【年齢別】

・年齢が上がるにつれて「加入している」の割合が高くなるが、70代以上では低下している。

【居住地域別】

・高山地域における「加入している」の割合が最も高いのは岩滝地区（87.5%）、最も低いのは花里地区（76.4%）である。

・支所地域における「加入している」の割合が最も高いのは高根地域（100%）、最も低いのは上宝・奥飛驒温泉郷地域（83.6%）である。

属性別集計（家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
家族構成	単身世帯	143	63.6	35.0	1.4
	夫婦のみ	344	86.3	11.0	2.6
	二世帯世帯	574	84.1	14.3	1.6
	(うち中学生以下の子と同居)	(181)	(80.1)	(19.3)	(0.6)
	三世帯世帯	298	93.6	4.4	2.0
	(うち中学生以下の子と同居)	(177)	(93.8)	(2.8)	(3.4)
その他	22	81.8	9.1	9.1	
定住年数	1年未満	17	93.2	4.1	2.7
	1年以上～5年未満	38	89.1	9.0	1.9
	5年以上～10年未満	41	80.0	17.8	2.2
	10年以上～20年未満	96	83.7	16.3	0.0
	20年以上	1,211	88.4	8.4	3.2
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,252	84.9	11.2	3.8
	借家(アパート含む)	127	88.1	9.5	2.4
	間借	2	84.6	10.3	5.1
	社宅・寮	24	35.3	64.7	0.0
	その他	4	47.4	52.6	0.0

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「加入している」の割合が高いが、そのうち単身世帯は割合が低い。

【定住年数別】

- ・すべての定住年数で「加入している」の割合が高い。

【居住形態別】

- ・社宅・寮のみ「加入していない」の割合が高く、その他の居住形態は「加入している」の割合が高い。

## 1-2 町内会に加入しない理由

- ・ 1位と2位は、前回（H31）の調査結果と同じである。
- ・ 前回（H31）の調査結果に比べ、「高齢のため」、「人付き合いがわずらわしい」、「子どもがいないため」の順位・割合が上昇し、「仕事などの関係で時間的に無理」、「親が加入しているため」、「必要性を感じていない」、「会費が経済的に負担」の順位、割合が低下している。

問9-2 問9で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。

（3つまで○印）

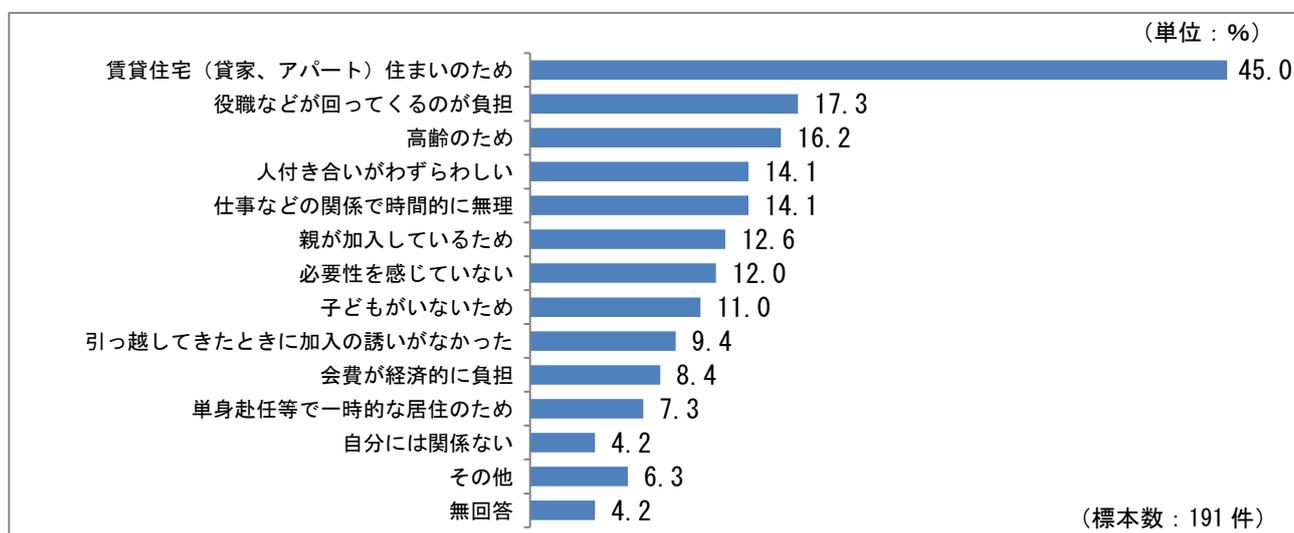
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (H31)	
				順位	回答率 (%)
1	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	86	45.0	1	38.2
2	役職などが回ってくるのが負担	33	17.3	2	22.4
3	高齢のため	31	16.2	8	12.7
4	人付き合いがわずらわしい	27	14.1	6	14.0
	仕事などの関係で時間的に無理	27	14.1	3	18.4
6	親が加入しているため	24	12.6	4	18.0
7	必要性を感じていない	23	12.0	5	16.2
8	子どもがいないため	21	11.0	10	5.7
9	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	18	9.4	9	11.4
10	会費が経済的に負担	16	8.4	7	13.2
11	単身赴任等で一時的な居住のため	14	7.3	11	4.4
12	自分には関係ない	8	4.2	12	2.2
	その他	12	6.3		9.6
	無回答	8	4.2		1.3
計		348			

（標本数：191件）

（標本数：228件）

※「その他」の内容

- ・ 「居住の地域に町内会がない」、「別荘に住んでいるため」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		33	28	31	30	15	51
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	24.2	57.1	64.5	60.0	53.3	31.4
	役職などが回ってくるのが負担	9.1	14.3	29.0	20.0	13.3	15.7
	高齢のため	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	56.9
	人付き合いがわずらわしい	6.1	10.7	16.1	26.7	13.3	13.7
	仕事などの関係で時間的に無理	9.1	21.4	25.8	20.0	13.3	3.9
	親が加入しているため	27.3	25.0	9.7	10.0	6.7	2.0
	必要性を感じていない	9.1	7.1	9.7	10.0	13.3	19.6
	子どもがいないため	3.0	10.7	12.9	20.0	6.7	11.8
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	6.1	14.3	3.2	16.7	13.3	7.8
	会費が経済的に負担	6.1	3.6	16.1	6.7	0.0	11.8
	単身赴任等で一時的な居住のため	12.1	3.6	9.7	20.0	0.0	0.0
	自分には関係ない	12.1	7.1	0.0	3.3	0.0	2.0
	その他	6.1	3.6	3.2	0.0	20.0	9.8
無回答	12.1	3.6	0.0	0.0	0.0	3.9	

【年齢別】

- ・ 10代・20代は「親が加入しているため」の割合が最も高い。
- ・ 30代～60代は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		50	38	82	(35)	13	(5)	2
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	48.0	55.3	45.1	(68.6)	7.7	(20.0)	50.0
	役職などが回ってくるのが負担	18.0	13.2	17.1	(20.0)	23.1	(0.0)	0.0
	高齢のため	16.0	23.7	7.3	(2.9)	38.5	(60.0)	0.0
	人付き合いがわずらわしい	20.0	10.5	11.0	(14.3)	15.4	(0.0)	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	10.0	13.2	17.1	(14.3)	23.1	(20.0)	0.0
	親が加入しているため	0.0	0.0	24.4	(11.4)	30.8	(20.0)	0.0
	必要性を感じていない	14.0	13.2	8.5	(14.3)	7.7	(0.0)	0.0
	子どもがいないため	14.0	23.7	4.9	(0.0)	7.7	(0.0)	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	10.0	18.4	7.3	(11.4)	0.0	(0.0)	0.0
	会費が経済的に負担	8.0	10.5	8.5	(11.4)	7.7	(0.0)	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	20.0	5.3	2.4	(0.0)	0.0	(0.0)	0.0
	自分には関係ない	4.0	2.6	3.7	(0.0)	15.4	(0.0)	0.0
	その他	4.0	15.8	3.7	(2.9)	0.0	(0.0)	50.0
無回答	6.0	5.3	3.7	(5.7)		(0.0)	0.0	

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世帯世帯は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・三世帯世帯は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		11	20	13	18	126
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	27.3	65.0	61.5	44.4	42.1
	役職などが回ってくるのが負担	9.1	5.0	7.7	27.8	19.8
	高齢のため	0.0	5.0	15.4	5.6	19.8
	人付き合いがわずらわしい	0.0	20.0	23.1	11.1	13.5
	仕事などの関係で時間的に無理	0.0	15.0	7.7	22.2	15.1
	親が加入しているため	18.2	5.0	0.0	11.1	15.1
	必要性を感じていない	18.2	10.0	0.0	5.6	14.3
	子どもがいないため	0.0	10.0	7.7	11.1	11.9
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	18.2	30.0	7.7	0.0	6.3
	会費が経済的に負担	0.0	10.0	7.7	11.1	8.7
	単身赴任等で一時的な居住のため	18.2	25.0	23.1	5.6	2.4
	自分には関係ない	0.0	5.0	0.0	11.1	4.0
	その他	9.1	5.0	15.4	11.1	4.8
無回答	18.2	5.0	0.0	5.6	3.2	

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。

属性別集計(居住形態別)

		居住形態				
		持ち家 (分譲マンション・家族所有含む)	借家 (アパート含む)	間借	社宅・寮	その他
標本数(件)		85	90	0	13	1
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	3.5	84.4	—	46.2	0.0
	役職などが回ってくるのが負担	23.5	14.4	—	0.0	0.0
	高齢のため	25.9	7.8	—	0.0	0.0
	人付き合いがわずらわしい	12.9	17.8	—	0.0	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	16.5	11.1	—	23.1	0.0
	親が加入しているため	25.9	2.2	—	0.0	0.0
	必要性を感じていない	14.1	12.2	—	0.0	0.0
	子どもがいないため	10.6	12.2	—	7.7	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	2.4	14.4	—	23.1	0.0
	会費が経済的に負担	11.8	5.6	—	7.7	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	1.2	7.8	—	46.2	0.0
	自分には関係ない	5.9	3.3	—	0.0	0.0
	その他	9.4	2.2	—	15.4	0.0
無回答	5.9	2.2	—	0.0	100.0	

【居住形態別】

- ・持ち家は「高齢のため」及び「親が加入しているため」の割合が最も高い。
- ・借家は「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。
- ・社宅・寮は「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」及び「単身赴任等で一時的な居住のため」の割合が最も高い。

※間借は回答数が0件のため除く

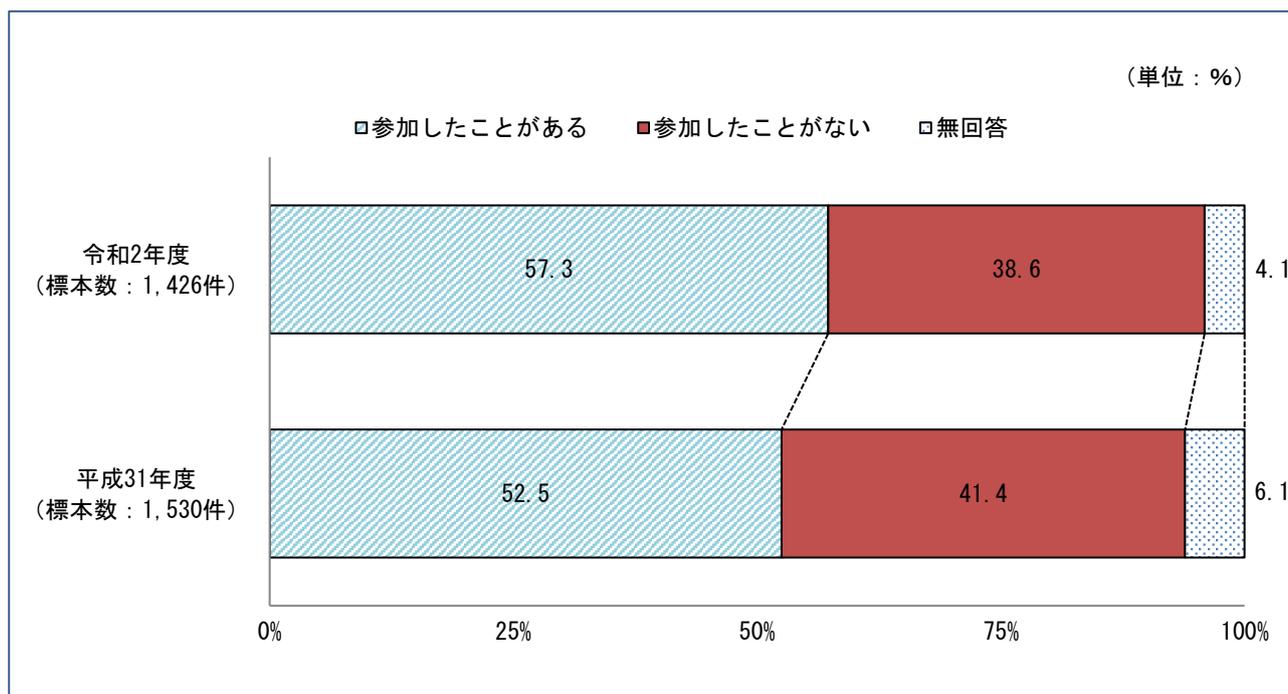
## 2 まちづくり協議会への参加状況

- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高く、前回（H31）の調査結果（52.5%）に比べ、4.8ポイント上昇している。

問10 あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがある。もしくは参加している	817	57.3
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがない	551	38.6
無回答	58	4.1
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			参加している。もしくは参加したことがある。	参加したことがない	無回答
年齢	10代・20代	77	32.5	64.9	2.6
	30代	136	55.9	42.6	1.5
	40代	185	66.5	33.5	0.0
	50代	216	63.9	35.2	0.9
	60代	296	63.2	33.1	3.7
	70代以上	494	51.8	40.9	7.3
居住地域	高山地域	889	52.1	44.3	3.6
	東地区	61	59.0	39.3	1.6
	西地区	98	49.0	44.9	6.1
	南地区	112	52.7	47.3	0.0
	北地区	148	49.3	45.9	4.7
	山王地区	127	49.6	44.9	5.5
	江名子地区	42	45.2	52.4	2.4
	新宮地区	96	54.2	43.8	2.1
	三枝地区	52	51.9	42.3	5.8
	大八地区	90	64.4	34.4	1.1
	岩滝地区	8	62.5	25.0	12.5
	花里地区	55	41.8	52.7	5.5
	丹生川地域	65	70.8	21.5	7.7
	清見地域	48	68.8	22.9	8.3
	荘川地域	23	78.3	17.4	4.3
	一之宮地域	47	72.3	27.7	0.0
	久々野地域	63	68.3	30.2	1.6
	朝日地域	33	78.8	18.2	3.0
	高根地域	14	64.3	35.7	0.0
	国府地域	127	60.6	34.6	4.7
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	62.3	29.5	8.2	

【年齢別】

- ・10代・20代を除き「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住地域別】

- ・花里地区は「参加したことがない」の割合が高い。
- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高いのは朝日地域、最も低いのは花里地区である。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			参加している もしくは参加 したことがある (まち協)の活動に 参加している	参加したことがな い	まちづくり協 議会(まち協) の活動に 参加したことが ない
定住年数	1年未満	17	5.9	94.1	0.0
	1年以上～5年未満	38	23.7	73.7	2.6
	5年以上～10年未満	41	36.6	63.4	0.0
	10年以上～20年未満	96	62.5	35.4	2.1
	20年以上	1,211	59.3	36.5	4.2
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,252	60.8	35.1	4.2
	借家(アパート含む)	127	30.7	67.7	1.6
	間借	2	0.0	50.0	50.0
	社宅・寮	24	25.0	75.0	0.0
	その他	4	25.0	50.0	25.0

【定住年数別】

- ・ 10年未満は「参加したことがない」の割合が高い。
- ・ 10年以上は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住形態別】

- ・ 持ち家は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

## まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由

- ・「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。
- ・「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合は、前回の調査結果（32.3%）と比べ、5.1ポイント低下している。

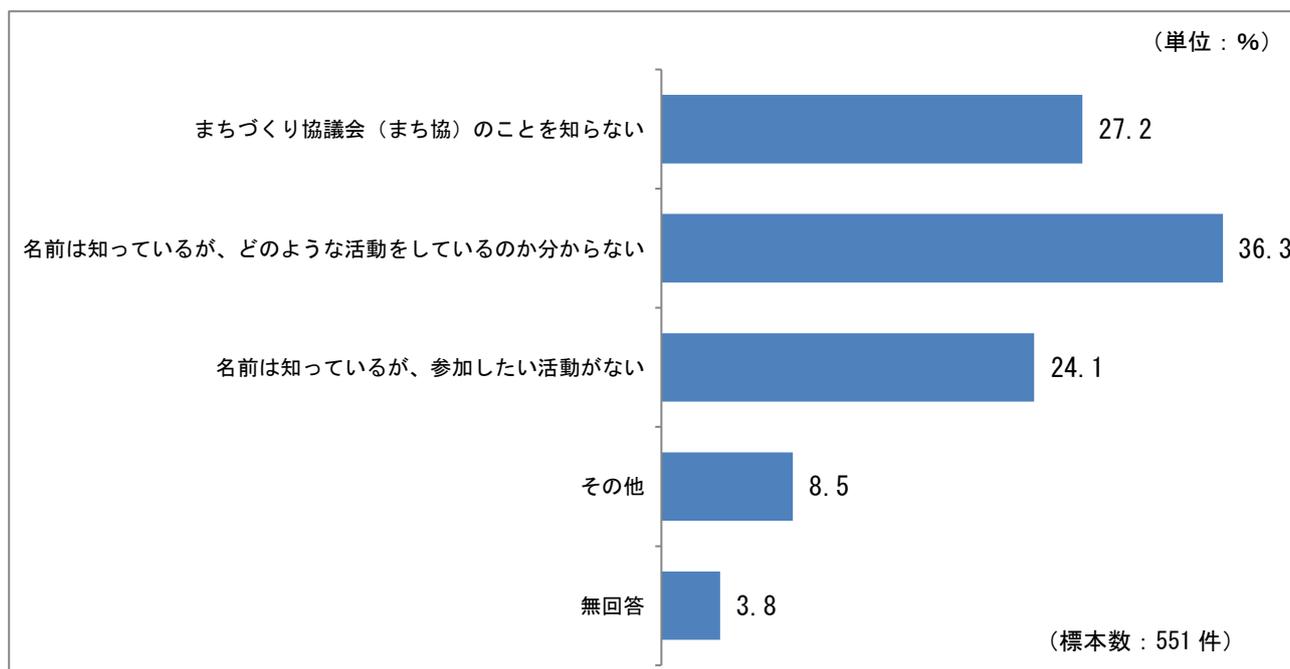
まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがない理由はなんですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)	前回(H31)
			回答率(%)
まちづくり協議会（まち協）のことを知らない	150	27.2	32.3
名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	200	36.3	32.3
名前は知っているが、参加したい活動がない	133	24.1	23.5
その他	47	8.5	10.1
無回答	21	3.8	1.7
計	551		

(標本数：551件) (標本数：634件)

※「その他」の内容

- ・「高齢のため」、「身体的な理由により参加できない」、「参加する時間がない」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			知らない (まち協) のことを 知らない	まちづくり協議会 が、どのよう な活動をして いるのか分か らない	名前は知って いるが、どの ような活動 をしているのか 分からない	名前を知って いるが、参加 したい活動 がない	その他
年齢	10代・20代	50	58.0	24.0	12.0	4.0	2.0
	30代	58	29.3	39.7	19.0	3.4	8.6
	40代	62	35.5	33.9	22.6	1.6	6.5
	50代	76	26.3	38.2	19.7	14.5	1.3
	60代	98	17.3	36.7	34.7	8.2	3.1
	70代以上	202	22.3	38.1	25.7	10.9	3.0
居住地域	高山地域	394	27.7	38.3	22.8	8.4	2.8
	東地区	24	25.0	33.3	29.2	8.3	4.2
	西地区	44	36.4	27.3	20.5	15.9	0.0
	南地区	53	30.2	45.3	18.9	1.9	3.8
	北地区	68	29.4	38.2	17.6	11.8	2.9
	山王地区	57	29.8	43.9	19.3	3.5	3.5
	江名子地区	22	31.8	31.8	31.8	4.5	0.0
	新宮地区	42	26.2	42.9	21.4	9.5	0.0
	三枝地区	22	22.7	36.4	31.8	4.5	4.5
	大八地区	31	19.4	41.9	22.6	6.5	9.7
	岩滝地区	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	花里地区	29	17.2	34.5	34.5	13.8	0.0
	丹生川地域	14	35.7	50.0	14.3	0.0	0.0
	清見地域	11	27.3	36.4	18.2	9.1	9.1
	荘川地域	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	一之宮地域	13	15.4	7.7	69.2	7.7	0.0
	久々野地域	19	21.1	42.1	26.3	5.3	5.3
	朝日地域	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
	高根地域	5	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0
	国府地域	44	20.5	31.8	34.1	9.1	4.5
上宝・奥飛騨温泉郷地域	18	33.3	22.2	16.7	16.7	11.1	

【年齢別】

- ・ 10代・20代及び40代は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。
- ・ 30代及び50代以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。

【居住地域別】

- ・ 「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い地域は、全20地域（地区）中13地域（地区）である。また、6地域（地区）において、「名前は知っているが、参加したい活動がない」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			知らない (まち協)の ことを	まちづくり協議会 から	動をしてい るのか分 からない	名前は知っ ているが、 どのよう な活動	名前を知 っている が、参加 したい活 動がない
定住年数	1年未満	16	43.8	18.8	0.0	18.8	18.8
	1年以上～5年未満	28	46.4	25.0	10.7	10.7	7.1
	5年以上～10年未満	26	50.0	26.9	23.1	0.0	0.0
	10年以上～20年未満	34	41.2	41.2	11.8	5.9	0.0
	20年以上	442	23.1	37.6	27.1	8.8	3.4
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	439	21.0	38.5	28.5	9.3	2.7
	借家(アパート含む)	86	58.1	24.4	7.0	5.8	4.7
	間借	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	社宅・寮	18	44.4	27.8	5.6	5.6	16.7
	その他	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

【定住年数別】

- ・ 20年未満は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高く（10年以上～20年未満は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」と同率）、20年以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・ 持ち家のみ「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高く、借家及び社宅・寮は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

※間借は回答数が1件のため除く

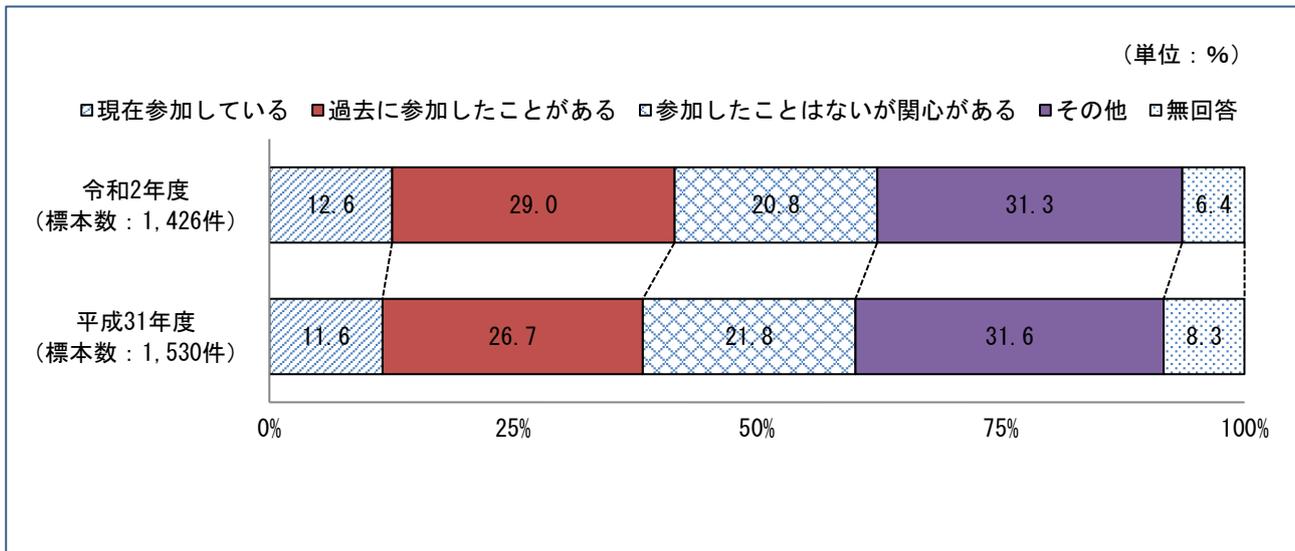
### 3 市民活動（まちづくり協議会以外）への参加状況

・市民活動の経験者は、「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせて 41.6% となっており、前回（H31）の調査結果（38.3%）と比べ、3.3ポイント上昇している。

問11 あなたは、市民活動（まちづくり協議会以外）に参加したことがありますか。  
（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
現在参加している	179	12.6
過去に参加したことがある	413	29.0
参加したことはないが関心がある	297	20.8
参加したことはなく関心もない	446	31.3
無回答	91	6.4
計	1,426	

(標本数：1,426件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	市民活動(まちづくり協議会以外)への参加状況(%)				
			現在参加している	過去に参加したことがある	参加したことは ないが関心がある	参加したことは なく関心もない	無回答
年齢	10代・20代	77	3.9	29.9	20.8	44.2	1.3
	30代	136	12.5	21.3	25.0	39.0	2.2
	40代	185	14.6	29.2	27.6	27.6	1.1
	50代	216	11.1	35.6	23.1	27.3	2.8
	60代	296	14.9	30.7	19.6	30.4	4.4
	70代以上	494	12.1	27.7	16.8	30.4	13.0
居住地域	高山地域	889	9.1	28.7	22.2	34.9	5.2
	東地区	61	8.2	29.5	27.9	29.5	4.9
	西地区	98	10.2	26.5	17.3	39.8	6.1
	南地区	112	10.7	26.8	18.8	39.3	4.5
	北地区	148	10.1	29.1	20.3	33.1	7.4
	山王地区	127	8.7	29.1	28.3	29.1	4.7
	江名子地区	42	7.1	33.3	31.0	26.2	2.4
	新宮地区	96	7.3	25.0	29.2	36.5	2.1
	三枝地区	52	11.5	25.0	21.2	34.6	7.7
	大八地区	90	7.8	33.3	13.3	41.1	4.4
	岩滝地区	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0
	花里地区	55	7.3	32.7	20.0	36.4	3.6
	丹生川地域	65	18.5	30.8	15.4	27.7	7.7
	清見地域	48	22.9	31.3	14.6	20.8	10.4
	荘川地域	23	21.7	30.4	13.0	17.4	17.4
	一之宮地域	47	29.8	29.8	14.9	23.4	2.1
	久々野地域	63	14.3	38.1	19.0	17.5	11.1
	朝日地域	33	21.2	33.3	15.2	21.2	9.1
	高根地域	14	21.4	28.6	7.1	28.6	14.3
	国府地域	127	11.0	33.9	21.3	26.8	7.1
上宝・奥飛騨温泉郷地域	61	24.6	14.8	26.2	23.0	11.5	

【年齢別】

- ・30代以下及び70代以上は「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高い。
- ・40代～60代は「過去に参加したことがある」の割合が最も高い。

【居住地域別】

- ・高山地域は、11地区中10地区で「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高く、支所地域は、9地域中8地域で「過去に参加したことがある」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	市民活動(まちづくり協議会以外)への参加状況(%)				
			現在参加している	過去に参加したことがある	参加したことはなく関心がある	参加したことはなく関心もない	無回答
定住年数	1年未満	17	0.0	0.0	23.5	76.5	0.0
	1年以上～5年未満	38	2.6	10.5	42.1	42.1	2.6
	5年以上～10年未満	41	9.8	12.2	19.5	56.1	2.4
	10年以上～20年未満	96	12.5	29.2	24.0	30.2	4.2
	20年以上	1,211	13.2	30.2	20.1	29.5	6.9
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,252	13.9	30.1	20.4	28.9	6.6
	借家(アパート含む)	127	2.4	19.7	22.8	51.2	3.9
	間借	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	社宅・寮	24	4.2	12.5	45.8	37.5	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

【定住年数別】

- ・ 20年以上のみ「過去に参加したことがある」の割合が最も高く、その他の定住年数は「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高い（1年以上～5年未満は「参加したことはないが関心がある」と同率）。

【居住形態別】

- ・ 持ち家は「過去に参加したことがある」の割合が最も高い。
- ・ 借家は「参加したことはなく関心もない」の割合が最も高い。
- ・ 社宅・寮は「参加したことはないが関心がある」の割合が最も高い。

※間借は回答数が2件のため除く

### 3-2 市民活動（まちづくり協議会以外）に参加した、もしくは関心がある分野

- ・「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。
- ・前回（H31）の調査結果と比べ、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」、「災害救援活動」、「まちづくりの推進を図る活動」、「社会教育の推進を図る活動」の順位・割合が上昇している。

問1 1-2 問1 1で、「現在参加している」「過去に参加したことがある」「参加したことはないが関心がある」に○をつけた方に伺います。どのような分野の市民活動に参加したことがありますか。もしくは関心がありますが。（全てに○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率(%)
1	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	255	28.7	3	24.2
2	子どもの健全育成を図る活動	211	23.7	1	27.1
3	災害救援活動	206	23.2	5	20.5
4	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	193	21.7	2	25.1
5	まちづくりの推進を図る活動	188	21.1	6	20.1
6	地域安全活動	173	19.5	4	22.4
7	環境の保全を図る活動	163	18.3	7	15.4
8	社会教育の推進を図る活動	82	9.2	9	8.9
9	観光の振興を図る活動	68	7.6	10	7.7
10	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	54	6.1	8	9.2
11	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	39	4.4	12	5.2
12	経済活動の活性化を図る活動	34	3.8	13	4.3
13	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	30	3.4	14	3.0
14	消費者の保護を図る活動	27	3.0	11	5.8
15	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	23	2.6	16	2.8
16	国際協力の活動	21	2.4	15	2.9
17	情報化社会の発展を図る活動	16	1.8	17	2.0
18	科学技術の振興を図る活動	6	0.7	18	0.9
	その他	16	1.8		2.4
	無回答	71	8.0		6.7
計		1,876			

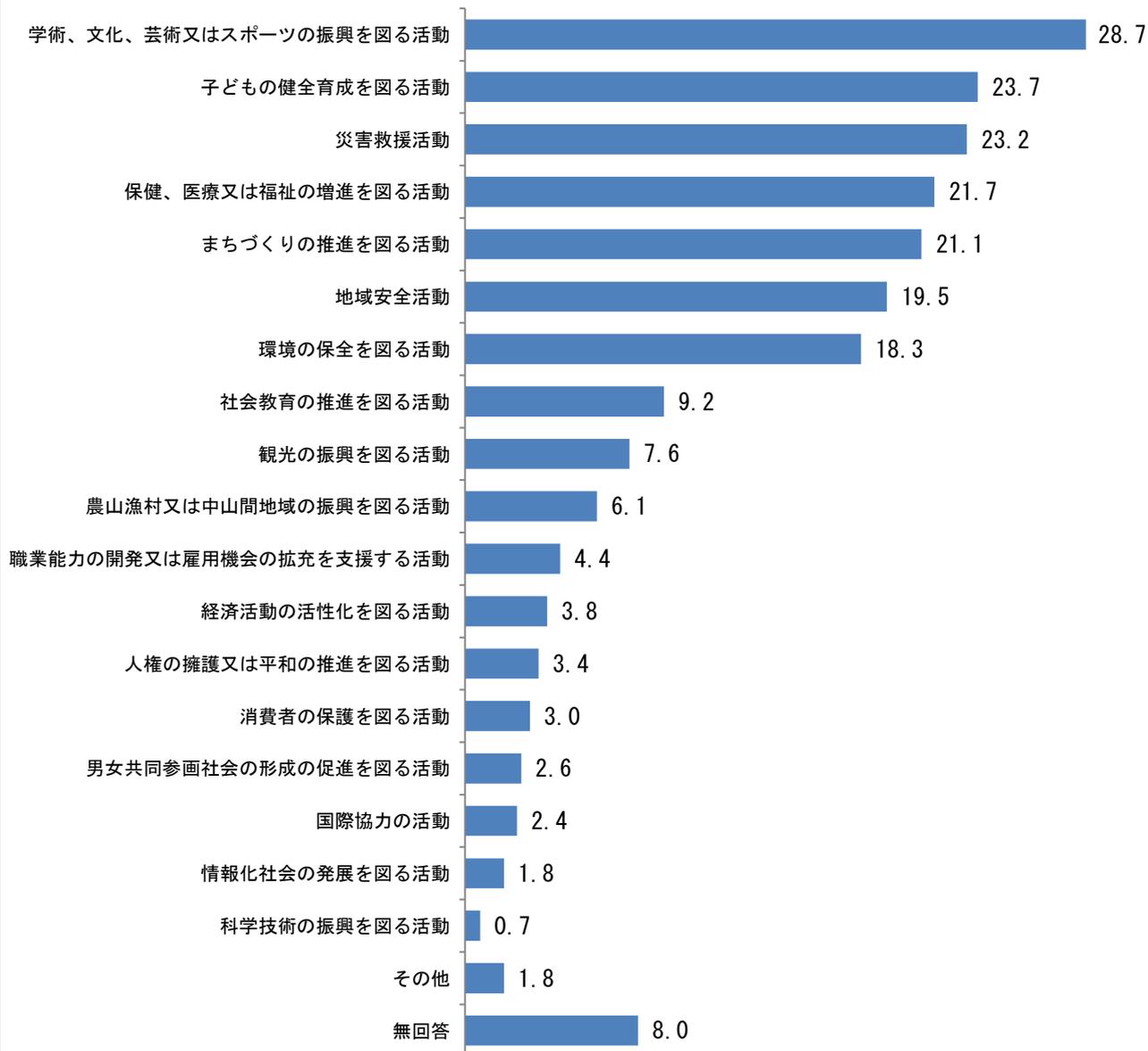
（標本数：889 件）

（標本数：920 件）

※「その他」の内容

- ・「祭行事への参加」など

(単位：%)



(標本数：889件)

属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男性	女性	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		402	453	42	80	132	151	193	280
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野(%)	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	27.9	29.4	23.8	32.5	28.0	27.8	31.6	27.1
	子どもの健全育成を図る活動	22.6	25.2	9.5	37.5	36.4	20.5	20.7	20.4
	災害救援活動	25.6	21.4	23.8	15.0	25.8	24.5	25.4	22.9
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	12.9	29.6	2.4	15.0	21.2	19.2	24.4	27.1
	まちづくりの推進を図る活動	23.4	18.8	11.9	22.5	20.5	20.5	24.4	20.7
	地域安全活動	22.9	15.9	7.1	8.8	16.7	18.5	21.2	25.4
	環境の保全を図る活動	22.9	15.0	26.2	10.0	12.9	21.9	23.3	17.1
	社会教育の推進を図る活動	12.2	7.1	9.5	2.5	9.8	7.9	6.7	13.6
	観光の振興を図る活動	7.2	8.2	14.3	5.0	6.1	5.3	10.9	7.5
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	10.2	2.9	2.4	2.5	1.5	7.3	6.7	8.6
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	3.2	5.5	0.0	11.3	2.3	7.3	3.6	3.2
	経済活動の活性化を図る活動	5.0	2.9	4.8	5.0	5.3	2.6	4.7	2.9
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	3.0	3.8	2.4	2.5	3.8	1.3	2.6	5.4
	消費者の保護を図る活動	2.5	3.5	0.0	1.3	3.0	2.0	2.1	5.4
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	1.0	4.0	2.4	1.3	0.8	3.3	2.1	3.9
	国際協力の活動	2.0	2.6	4.8	3.8	1.5	2.6	2.6	1.8
	情報化社会の発展を図る活動	2.5	1.3	4.8	2.5	2.3	2.0	2.1	0.7
科学技術の振興を図る活動	0.7	0.7	4.8	1.3	0.8	0.0	0.5	0.4	
その他	1.7	1.8	0.0	2.5	1.5	0.0	1.6	3.2	
無回答	5.2	9.7	14.3	6.3	6.1	6.6	5.2	10.0	

【性別】

- ・男性は「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。
- ・女性は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代・20代は「環境の保全を図る活動」の割合が最も高い。
- ・30代及び40代は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。
- ・50代以上は「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		533	40	53	63	88	84	30	59	30	49	4	33
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（％）	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	28.7	27.5	34.0	30.2	29.5	17.9	23.3	30.5	23.3	36.7	0.0	42.4
	子どもの健全育成を図る活動	24.6	20.0	24.5	22.2	23.9	19.0	23.3	35.6	30.0	22.4	25.0	30.3
	災害救援活動	22.1	17.5	20.8	23.8	14.8	23.8	13.3	22.0	26.7	32.7	75.0	24.2
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	21.8	22.5	28.3	20.6	27.3	20.2	6.7	18.6	20.0	20.4	25.0	24.2
	まちづくりの推進を図る活動	18.6	20.0	18.9	25.4	25.0	14.3	26.7	15.3	16.7	4.1	0.0	21.2
	地域安全活動	18.0	5.0	18.9	20.6	11.4	19.0	16.7	25.4	20.0	24.5	50.0	15.2
	環境の保全を図る活動	16.3	10.0	15.1	15.9	17.0	15.5	16.7	16.9	16.7	24.5	50.0	9.1
	社会教育の推進を図る活動	8.3	10.0	5.7	7.9	10.2	9.5	13.3	10.2	6.7	4.1	0.0	3.0
	観光の振興を図る活動	7.1	12.5	5.7	6.3	5.7	10.7	6.7	6.8	0.0	8.2	0.0	6.1
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	2.6	2.5	1.9	0.0	2.3	1.2	0.0	1.7	3.3	8.2	25.0	6.1
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	5.6	7.5	3.8	6.3	2.3	6.0	13.3	6.8	3.3	10.2	0.0	0.0
	経済活動の活性化を図る活動	4.3	5.0	3.8	6.3	4.5	1.2	3.3	5.1	0.0	8.2	0.0	6.1
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	3.2	0.0	1.9	6.3	2.3	1.2	0.0	5.1	0.0	8.2	25.0	3.0
	消費者の保護を図る活動	3.2	2.5	3.8	4.8	2.3	6.0	3.3	1.7	3.3	2.0	0.0	0.0
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	2.8	2.5	5.7	1.6	2.3	3.6	0.0	1.7	3.3	4.1	25.0	0.0
	国際協力の活動	3.2	2.5	5.7	4.8	3.4	0.0	6.7	3.4	0.0	6.1	0.0	0.0
	情報化社会の発展を図る活動	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1	1.2	0.0	5.1	0.0	2.0	0.0	3.0
	科学技術の振興を図る活動	0.8	5.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1.9	7.5	1.9	0.0	1.1	1.2	3.3	0.0	0.0	2.0	0.0	6.1
無回答	8.1	5.0	7.5	9.5	5.7	11.9	10.0	5.1	6.7	8.2	0.0	12.1	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		42	33	15	35	45	23	8	84	40
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野（％）	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	40.5	30.3	26.7	20.0	37.8	8.7	50.0	33.3	15.0
	子どもの健全育成を図る活動	28.6	24.2	46.7	17.1	17.8	21.7	25.0	25.0	7.5
	災害救援活動	16.7	21.2	20.0	42.9	28.9	34.8	37.5	21.4	27.5
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	38.1	15.2	33.3	20.0	17.8	8.7	50.0	17.9	22.5
	まちづくりの推進を図る活動	33.3	12.1	33.3	28.6	17.8	34.8	37.5	16.7	30.0
	地域安全活動	28.6	21.2	20.0	25.7	22.2	13.0	37.5	21.4	15.0
	環境の保全を図る活動	45.2	21.2	20.0	20.0	20.0	26.1	12.5	19.0	7.5
	社会教育の推進を図る活動	14.3	9.1	20.0	8.6	8.9	8.7	12.5	13.1	5.0
	観光の振興を図る活動	21.4	3.0	20.0	2.9	11.1	4.3	0.0	4.8	7.5
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	16.7	9.1	26.7	2.9	4.4	26.1	0.0	11.9	12.5
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	0.0	0.0	6.7	2.9	4.4	0.0	0.0	3.6	2.5
	経済活動の活性化を図る活動	7.1	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	3.6	10.0
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	7.1	3.0	13.3	0.0	4.4	4.3	0.0	3.6	2.5
	消費者の保護を図る活動	2.4	0.0	13.3	2.9	2.2	0.0	0.0	2.4	5.0
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	2.4	6.1	6.7	0.0	2.2	4.3	0.0	2.4	0.0
	国際協力の活動	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
	情報化社会の発展を図る活動	4.8	6.1	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
科学技術の振興を図る活動	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	2.4	6.1	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	
無回答	2.4	12.1	13.3	2.9	8.9	17.4	0.0	6.0	15.0	

【居住地域別】

- ・高山地域は、11地区中7地区で「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。
- ・支所地域は、地域によって分野のばらつきがあるが、9地域中4地域で「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世帯世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		69	210	395	(128)	192	(117)	9
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野(%)	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	33.3	25.7	29.1	(32.0)	29.7	(26.5)	44.4
	子どもの健全育成を図る活動	17.4	17.1	28.6	(43.0)	24.5	(27.4)	22.2
	災害救援活動	20.3	21.4	22.8	(19.5)	27.1	(26.5)	22.2
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	27.5	22.9	21.0	(21.9)	19.3	(20.5)	33.3
	まちづくりの推進を図る活動	13.0	23.3	22.0	(16.4)	20.3	(20.5)	11.1
	地域安全活動	14.5	19.0	18.5	(11.7)	24.0	(22.2)	11.1
	環境の保全を図る活動	17.4	22.9	17.7	(13.3)	14.6	(12.8)	22.2
	社会教育の推進を図る活動	7.2	12.4	9.6	(8.6)	6.8	(5.1)	0.0
	観光の振興を図る活動	7.2	9.5	7.8	(7.8)	5.7	(5.1)	11.1
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	1.4	7.6	5.1	(3.1)	8.3	(9.4)	0.0
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	1.4	5.2	5.6	(6.3)	2.1	(1.7)	11.1
	経済活動の活性化を図る活動	2.9	3.8	3.0	(5.5)	6.3	(6.8)	0.0
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	2.9	4.8	2.5	(2.3)	3.6	(2.6)	11.1
	消費者の保護を図る活動	0.0	3.8	3.0	(1.6)	3.1	(3.4)	0.0
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	2.9	2.9	3.3	(1.6)	1.0	(0.0)	0.0
	国際協力の活動	1.4	2.9	3.0	(4.7)	1.0	(0.9)	0.0
	情報化社会の発展を図る活動	2.9	1.4	2.0	(3.1)	1.0	(0.9)	11.1
	科学技術の振興を図る活動	1.4	0.5	0.5	(1.6)	1.0	(1.7)	0.0
その他	4.3	2.4	1.3	(1.6)	1.6	(2.6)	0.0	
無回答	4.3	9.5	7.3	(7.0)	8.3	(8.5)	0.0	

【家族構成別】

- 二世帯世帯及び三世帯世帯のうち、中学生以下の子と同居している世帯は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高く、その他は「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		50	101	285	148	60	10	183	28
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野(%)	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	28.0	31.7	31.2	27.0	28.3	20.0	27.3	25.0
	子どもの健全育成を図る活動	22.0	17.8	27.0	28.4	30.0	10.0	18.0	21.4
	災害救援活動	32.0	22.8	22.8	22.3	21.7	40.0	21.9	21.4
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	28.0	14.9	16.5	22.3	40.0	0.0	27.3	17.9
	まちづくりの推進を図る活動	28.0	19.8	21.4	20.9	18.3	20.0	20.2	28.6
	地域安全活動	20.0	15.8	17.2	20.9	21.7	10.0	22.4	25.0
	環境の保全を図る活動	34.0	17.8	22.5	13.5	20.0	0.0	14.2	17.9
	社会教育の推進を図る活動	8.0	5.0	9.5	6.1	11.7	0.0	12.0	14.3
	観光の振興を図る活動	8.0	15.8	4.6	4.1	11.7	10.0	7.7	10.7
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	26.0	6.9	5.3	2.0	6.7	0.0	4.9	0.0
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	0.0	2.0	4.9	6.8	5.0	0.0	4.9	3.6
	経済活動の活性化を図る活動	4.0	4.0	4.2	3.4	0.0	10.0	3.8	3.6
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	6.0	3.0	1.4	3.4	5.0	0.0	4.9	7.1
	消費者の保護を図る活動	0.0	0.0	2.1	2.0	6.7	0.0	7.1	0.0
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	0.0	5.0	0.4	4.1	5.0	10.0	2.2	3.6
	国際協力の活動	0.0	3.0	2.1	0.7	1.7	10.0	2.7	7.1
	情報化社会の発展を図る活動	4.0	0.0	2.1	2.0	3.3	0.0	1.1	3.6
	科学技術の振興を図る活動	0.0	0.0	0.7	1.4	0.0	10.0	0.0	0.0
その他	0.0	5.0	1.4	1.4	1.7	0.0	2.2	0.0	
無回答	6.0	13.9	5.6	8.8	3.3	10.0	10.9	0.0	

【職業別】

- ・ 職業によってばらつきがあるが、自営業、会社員・公務員・団体職員及び無職は「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		4	21	17	63	770
市民活動に参加した、もしくは関心がある分野(%)	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	25.0	52.4	23.5	31.7	28.1
	子どもの健全育成を図る活動	25.0	33.3	35.3	28.6	22.9
	災害救援活動	25.0	19.0	11.8	28.6	22.9
	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	50.0	14.3	29.4	12.7	22.3
	まちづくりの推進を図る活動	0.0	19.0	23.5	30.2	20.5
	地域安全活動	0.0	0.0	5.9	17.5	20.3
	環境の保全を図る活動	25.0	14.3	23.5	19.0	18.4
	社会教育の推進を図る活動	25.0	9.5	5.9	7.9	9.2
	観光の振興を図る活動	50.0	9.5	5.9	11.1	6.9
	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	0.0	9.5	5.9	4.8	5.7
	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	0.0	19.0	5.9	3.2	4.0
	経済活動の活性化を図る活動	0.0	9.5	0.0	6.3	3.6
	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	0.0	9.5	5.9	4.8	3.0
	消費者の保護を図る活動	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2
	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	0.0	0.0	0.0	1.6	2.7
	国際協力の活動	25.0	0.0	5.9	6.3	1.8
	情報化社会の発展を図る活動	0.0	4.8	0.0	0.0	1.8
	科学技術の振興を図る活動	0.0	9.5	0.0	1.6	0.4
その他	0.0	4.8	0.0	3.2	1.7	
無回答	25.0	9.5	0.0	6.3	8.3	

【定住年数別】

- ・ 1年以上～5年未満及び10年以上は「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が最も高い。
- ・ 5年以上～10年未満は「子どもの健全育成を図る活動」の割合が最も高い。
- ・ 1年未満は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」又は「観光の振興を図る活動」の割合が最も高い。

#### 4 まちづくり活動に参加しやすくするための条件

・前回（H31）の調査結果に比べ、「簡単に参加できる」及び「金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる」の順位・割合が上昇し、「友人など身近な人と一緒に参加できる」、「家族の理解が得られる」及び「職場の理解が得られる」の順位・割合が低下している。

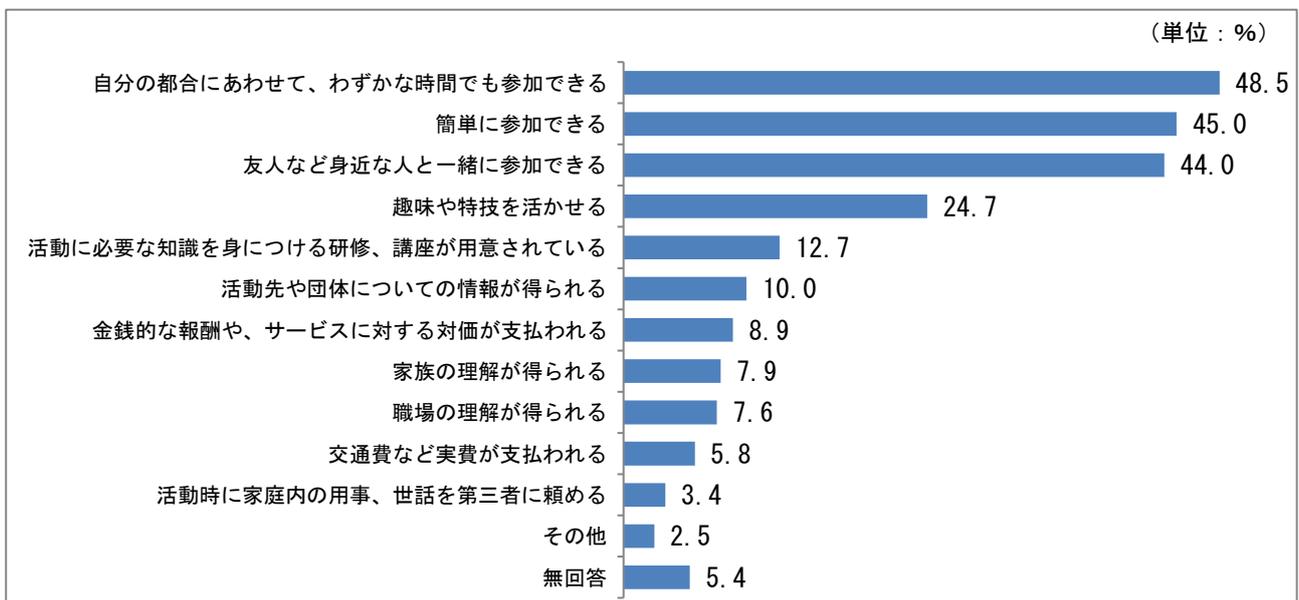
問12 あなたは、地域活動や市民活動など、まちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率 (%)
1	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	692	48.5	1	47.5
2	簡単に参加できる	641	45.0	3	42.9
3	友人など身近な人と一緒に参加できる	627	44.0	2	44.5
4	趣味や特技を活かせる	352	24.7	4	24.8
5	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	181	12.7	5	13.9
6	活動先や団体についての情報が得られる	142	10.0	6	10.1
7	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	127	8.9	9	7.8
8	家族の理解が得られる	112	7.9	7	8.6
9	職場の理解が得られる	108	7.6	8	8.0
10	交通費など実費が支払われる	82	5.8	10	7.6
11	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	48	3.4	11	4.2
	その他	35	2.5		1.8
	無回答	77	5.4		10.0
計		3,224			

（標本数：1,426件） （標本数：1,530件）

#### ※「その他」の内容

- ・「地域や時代にあった活動内容への見直し」、「人間関係のわずらわしさが無い」 など



（標本数：1,426件）

属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男性	女性	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		591	776	77	136	185	216	296	494
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	50.1	47.3	45.5	43.4	60.0	52.8	54.4	41.1
	簡単に参加できる	42.8	47.4	41.6	39.0	43.8	41.7	54.4	43.9
	友人など身近な人と一緒に参加できる	37.4	47.6	53.2	47.1	38.9	34.7	38.5	50.0
	趣味や特技を活かせる	26.7	22.8	26.0	21.3	23.2	23.6	25.3	25.7
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	11.0	14.0	10.4	14.7	10.8	16.2	12.2	12.1
	活動先や団体についての情報が得られる	9.5	9.9	5.2	8.1	7.0	11.1	13.5	9.7
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	11.7	7.3	20.8	18.4	14.1	11.1	6.8	3.0
	家族の理解が得られる	8.5	7.6	1.3	5.1	6.5	5.1	10.1	9.9
	職場の理解が得られる	10.5	5.9	15.6	11.8	14.1	15.7	4.7	1.2
	交通費など実費が支払われる	7.6	4.5	11.7	6.6	8.6	7.9	6.1	2.6
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	2.2	4.5	2.6	11.8	3.8	1.9	3.0	2.0
	その他	2.5	2.4	1.3	3.7	1.6	1.9	0.7	4.0
無回答	5.4	5.0	0.0	1.5	0.5	2.8	5.4	10.1	

【性別】

- ・ 男性は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・ 女性は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・ 30代以下及び70代以上は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。
- ・ 40代～60代は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い（60代は「簡単に参加できる」と同率）。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		889	61	98	112	148	127	42	96	52	90	8	55
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	49.9	57.4	45.9	52.7	50.0	46.5	38.1	56.3	46.2	51.1	50.0	50.9
	簡単に参加できる	46.5	50.8	49.0	47.3	52.0	47.2	57.1	43.8	38.5	35.6	37.5	41.8
	友人など身近な人と一緒に参加でき	42.4	32.8	34.7	42.9	41.2	39.4	52.4	50.0	46.2	38.9	37.5	58.2
	趣味や特技を活かせる	24.4	37.7	19.4	18.8	23.6	26.0	26.2	24.0	23.1	25.6	25.0	27.3
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	14.4	9.8	16.3	12.5	14.2	17.3	14.3	12.5	13.5	11.1	12.5	23.6
	活動先や団体についての情報が得られる	10.5	13.1	7.1	8.0	12.8	11.8	4.8	16.7	7.7	11.1	0.0	5.5
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	9.4	11.5	4.1	14.3	9.5	11.8	2.4	8.3	9.6	13.3	0.0	3.6
	家族の理解が得られる	7.3	1.6	11.2	8.9	5.4	8.7	2.4	8.3	7.7	10.0	0.0	3.6
	職場の理解が得られる	8.1	6.6	12.2	1.8	10.1	8.7	4.8	8.3	9.6	12.2	12.5	1.8
	交通費など実費が支払われる	6.3	4.9	4.1	8.0	6.8	3.1	7.1	4.2	7.7	11.1	12.5	7.3
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	3.4	4.9	4.1	1.8	2.7	3.9	0.0	4.2	7.7	2.2	0.0	3.6
	その他	2.0	1.6	2.0	0.9	1.4	1.6	4.8	3.1	3.8	1.1	0.0	3.6
無回答	4.0	3.3	6.1	3.6	4.7	4.7	0.0	2.1	1.9	4.4	12.5	5.5	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		65	48	23	47	63	33	14	127	61
地域活動に参加しやすくなるための条件（％）	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	53.8	35.4	52.2	46.8	39.7	51.5	28.6	46.5	44.3
	簡単に参加できる	46.2	37.5	43.5	42.6	44.4	33.3	35.7	49.6	36.1
	友人など身近な人と一緒に参加できる	50.8	56.3	60.9	25.5	46.0	63.6	50.0	44.1	52.5
	趣味や特技を活かせる	30.8	22.9	21.7	36.2	30.2	18.2	0.0	24.4	21.3
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	18.5	14.6	13.0	8.5	6.3	6.1	21.4	8.7	4.9
	活動先や団体についての情報が得られる	10.8	12.5	0.0	10.6	12.7	6.1	0.0	8.7	13.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	4.6	8.3	4.3	10.6	4.8	9.1	14.3	10.2	6.6
	家族の理解が得られる	4.6	8.3	17.4	8.5	9.5	3.0	0.0	15.0	6.6
	職場の理解が得られる	4.6	4.2	4.3	6.4	3.2	15.2	7.1	7.1	4.9
	交通費など実費が支払われる	3.1	2.1	4.3	6.4	0.0	9.1	0.0	4.7	9.8
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	6.2	0.0	0.0	10.6	0.0	3.0	0.0	2.4	1.6
	その他	0.0	0.0	4.3	2.1	0.0	0.0	21.4	4.7	4.9
	無回答	6.2	10.4	4.3	6.4	14.3	6.1	14.3	7.1	4.9

【居住地域別】

- ・高山地域は、11地区中7地区で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・支所地域は、9地域中6地域で「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数(件)		143	344	574	(181)	298	(177)	22
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	45.5	47.7	48.4	(50.3)	53.7	(53.1)	36.4
	簡単に参加できる	42.7	45.6	45.1	(48.6)	44.6	(44.6)	59.1
	友人など身近な人と一緒に参加できる	35.0	43.0	46.5	(45.9)	45.0	(46.3)	27.3
	趣味や特技を活かせる	21.7	25.6	25.1	(22.7)	23.5	(20.9)	40.9
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	13.3	12.8	15.5	(12.2)	7.4	(6.8)	18.2
	活動先や団体についての情報が得られる	9.1	12.5	8.7	(6.6)	9.7	(11.3)	9.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	4.2	7.3	12.0	(15.5)	8.4	(7.3)	4.5
	家族の理解が得られる	2.8	7.6	8.5	(8.8)	10.7	(13.0)	0.0
	職場の理解が得られる	7.0	4.1	9.2	(12.2)	8.7	(10.2)	9.1
	交通費など実費が支払われる	6.3	5.2	6.4	(6.6)	5.4	(5.6)	4.5
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	2.1	1.7	4.7	(8.3)	3.7	(2.3)	4.5
	その他	3.5	2.0	1.6	(2.2)	3.7	(3.4)	4.5
	無回答	10.5	5.8	3.1	(1.1)	5.4	(6.2)	9.1

【家族構成別】

- ・その他を除く全ての家族構成で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		73	156	415	252	95	16	338	42
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	52.1	50.6	52.0	52.0	46.3	43.8	39.9	59.5
	簡単に参加できる	53.4	37.8	41.9	54.0	53.7	25.0	44.1	35.7
	友人など身近な人と一緒に参加できる	49.3	34.6	41.4	45.2	47.4	50.0	48.5	28.6
	趣味や特技を活かせる	20.5	25.6	22.4	25.0	31.6	37.5	23.1	40.5
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	13.7	17.9	11.1	13.9	13.7	6.3	10.7	19.0
	活動先や団体についての情報が得られる	12.3	11.5	6.3	12.7	11.6	0.0	9.8	19.0
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	6.8	7.1	13.5	10.3	4.2	18.8	4.4	11.9
	家族の理解が得られる	9.6	5.1	7.7	6.0	16.8	0.0	8.9	0.0
	職場の理解が得られる	1.4	5.8	17.8	6.0	0.0	6.3	1.2	7.1
	交通費など実費が支払われる	1.4	7.1	7.7	5.6	4.2	6.3	4.4	4.8
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	4.1	0.6	3.6	4.0	9.5	0.0	2.7	2.4
その他	2.7	3.2	1.0	1.6	3.2	0.0	4.4	4.8	
無回答	5.5	5.1	3.1	1.6	6.3	6.3	10.4	4.8	

【職業別】

- ・自営業及び会社員・公務員・団体職員は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業、パート・アルバイト・内職及び家事従事者は「簡単に参加できる」の割合が最も高い。
- ・学生及び無職は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数(件)		17	38	41	96	1,211
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	41.2	39.5	36.6	46.9	49.5
	簡単に参加できる	47.1	42.1	36.6	40.6	45.8
	友人など身近な人と一緒に参加できる	29.4	42.1	31.7	38.5	44.9
	趣味や特技を活かせる	11.8	26.3	14.6	34.4	24.4
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	11.8	15.8	12.2	11.5	12.5
	活動先や団体についての情報が得られる	5.9	5.3	7.3	10.4	10.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	11.8	18.4	26.8	10.4	7.9
	家族の理解が得られる	0.0	5.3	19.5	3.1	8.0
	職場の理解が得られる	17.6	15.8	9.8	10.4	6.9
	交通費など実費が支払われる	17.6	7.9	7.3	5.2	5.6
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	11.8	5.3	2.4	4.2	3.2
その他	11.8	0.0	0.0	3.1	2.5	
無回答	0.0	5.3	7.3	3.1	5.6	

【定住年数別】

- ・ 10年以上は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高く、5年未満は「簡単に参加できる」の割合が最も高い（1年以上～5年未満は「友人など身近な人と一緒に参加できる」と同率）。
- ・ 5年以上～10年未満は、「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」及び「簡単に参加できる」の割合が同率で最も高い。

## 5 重点的に協働で取り組むべき分野

- ・1位から6位までの順位は、前回（H31）の調査結果と同じである。
- ・前回（H31）の調査結果に比べ「防災」、「文化」、「地域交流」の割合が上昇し、「福祉・健康・医療」、「教育」、「エネルギー」などの割合が低下している。

問13 あなたは、どのような分野を重点的にまちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働で取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

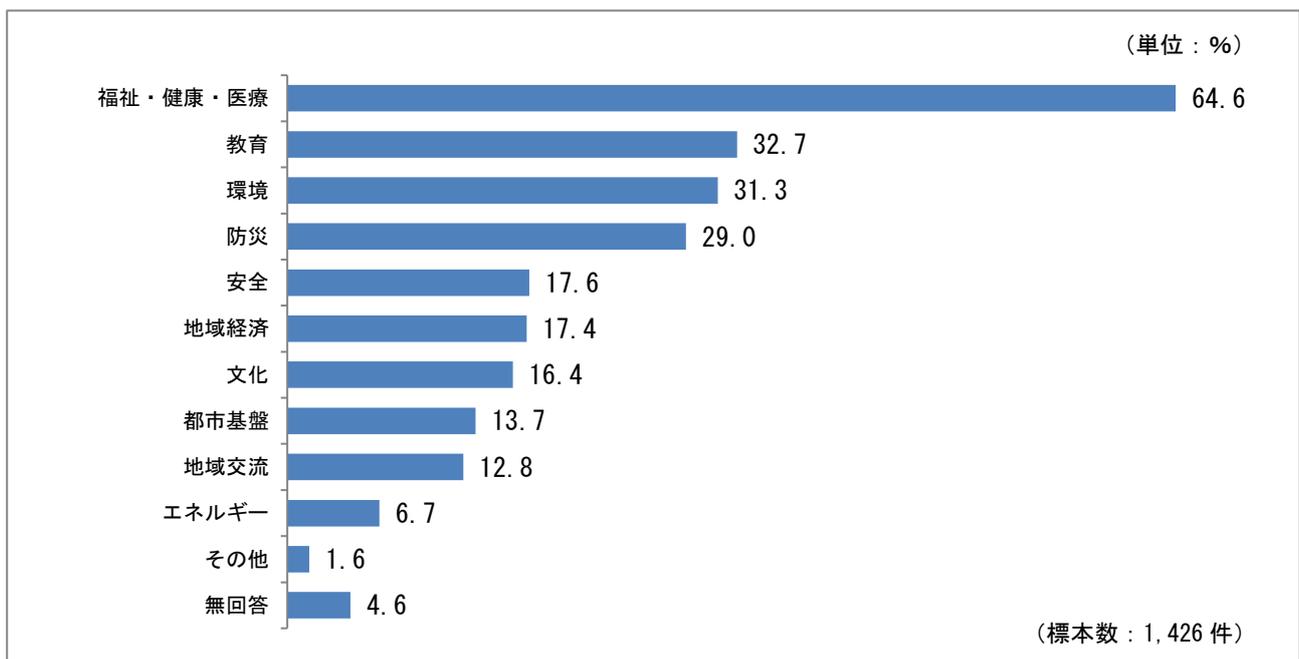
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率(%)
1	福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）	921	64.6	1	66.7
2	教育（学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年の健全育成など）	466	32.7	2	35.2
3	環境（道路・河川の美化、自然環境の保全、ごみの資源化など）	446	31.3	3	31.4
4	防災（災害予防、被災者支援など）	413	29.0	4	27.6
5	安全（防犯、交通安全など）	251	17.6	5	19.3
6	地域経済（商店街の活性化など）	248	17.4	6	17.2
7	文化（文化芸術、伝統・祭りの保存など）	234	16.4	8	14.4
8	都市基盤（道路・河川・公園の整備など）	196	13.7	7	15.0
9	地域交流（地域活動、ボランティア、NPO活動など）	182	12.8	9	10.9
10	エネルギー（省エネ、再生可能エネルギーへの転換など）	95	6.7	10	8.6
	その他	23	1.6		0.8
	無回答	66	4.6		5.1
計		3,541			

（標本数：1,426件）

（標本数：1,530件）

※「その他」内容

- ・「感染症への対策」、「地域の実情にあわせた活動」 など



属性別集計(年齢別)

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		77	136	185	216	296	494
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	48.1	66.2	63.2	61.6	67.2	66.6
	教育	33.8	44.9	48.6	34.7	28.4	25.1
	環境	33.8	20.6	24.9	29.2	33.1	35.6
	防災	26.0	25.0	28.6	31.0	35.1	26.1
	安全	19.5	14.0	21.1	14.8	15.9	19.6
	地域経済	26.0	19.9	19.5	18.5	16.9	14.2
	都市基盤	13.0	10.3	13.0	12.5	16.6	13.8
	文化	16.9	13.2	21.1	19.4	15.5	14.8
	地域交流	11.7	10.3	10.8	15.7	16.2	10.9
	エネルギー	9.1	8.1	5.9	9.7	6.8	5.1
	その他	0.0	2.2	1.6	1.4	2.0	1.4
無回答	0.0	0.7	1.1	1.4	3.4	9.9	

【年齢別】

- ・全ての年代で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		889	61	98	112	148	127	42	96	52	90	8	55
重点的に協働で取り組むべき分野（％）	福祉・健康・医療	62.9	68.9	59.2	67.9	64.2	59.8	59.5	62.5	65.4	58.9	50.0	65.5
	教育	33.5	31.1	32.7	34.8	35.1	31.5	35.7	36.5	40.4	28.9	50.0	27.3
	環境	28.6	23.0	26.5	23.2	23.6	37.0	31.0	31.3	34.6	28.9	12.5	32.7
	防災	29.2	24.6	22.4	29.5	23.6	34.6	31.0	29.2	23.1	38.9	25.0	38.2
	安全	19.3	16.4	18.4	22.3	12.2	21.3	23.8	22.9	19.2	24.4	12.5	16.4
	地域経済	18.7	21.3	16.3	19.6	24.3	17.3	19.0	14.6	25.0	14.4	0.0	16.4
	都市基盤	15.0	9.8	15.3	10.7	14.9	16.5	23.8	9.4	13.5	16.7	25.0	25.5
	文化	17.5	21.3	20.4	16.1	21.6	15.7	9.5	18.8	11.5	16.7	12.5	16.4
	地域交流	12.0	16.4	12.2	8.9	16.2	15.0	9.5	7.3	11.5	11.1	25.0	5.5
	エネルギー	6.9	8.2	6.1	6.3	8.1	3.1	7.1	14.6	9.6	3.3	0.0	3.6
	その他	1.6	3.3	2.0	0.9	2.7	0.8	4.8	0.0	1.9	0.0	12.5	0.0
無回答	3.9	1.6	5.1	6.3	3.4	3.1	2.4	3.1	3.8	5.6	0.0	3.6	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		65	48	23	47	63	33	14	127	61
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	70.8	58.3	60.9	68.1	69.8	57.6	64.3	70.1	68.9
	教育	35.4	41.7	30.4	48.9	23.8	21.2	21.4	29.1	19.7
	環境	36.9	37.5	30.4	42.6	38.1	39.4	21.4	31.5	44.3
	防災	21.5	27.1	17.4	34.0	33.3	33.3	28.6	33.1	31.1
	安全	18.5	8.3	17.4	14.9	14.3	15.2	28.6	11.0	18.0
	地域経済	20.0	18.8	30.4	8.5	22.2	21.2	7.1	9.4	11.5
	都市基盤	10.8	2.1	17.4	10.6	6.3	27.3	21.4	11.8	19.7
	文化	15.4	12.5	17.4	14.9	14.3	9.1	7.1	14.2	13.1
	地域交流	13.8	10.4	26.1	8.5	14.3	21.2	28.6	12.6	6.6
	エネルギー	3.1	18.8	0.0	2.1	7.9	6.1	0.0	5.5	6.6
	その他	1.5	0.0	4.3	2.1	0.0	3.0	7.1	2.4	1.6
無回答	4.6	8.3	4.3	4.3	4.8	3.0	14.3	7.9	6.6	

【居住地域別】

- ・全ての地域で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い（岩滝地域は「教育」と同率）。

## 6 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

- ・ 1位と2位の順位は、前回（H31）の調査結果と同じである。
- ・ 前回（H31）の調査結果に比べ「近所の人とのつながり・きずなの醸成」、「行政や団体からの情報提供」の順位・割合が低下している。

問14 あなたは、まちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働でまちづくりをすすめていくうえで、主に何が必要であると考えますか。（3つまで○印）

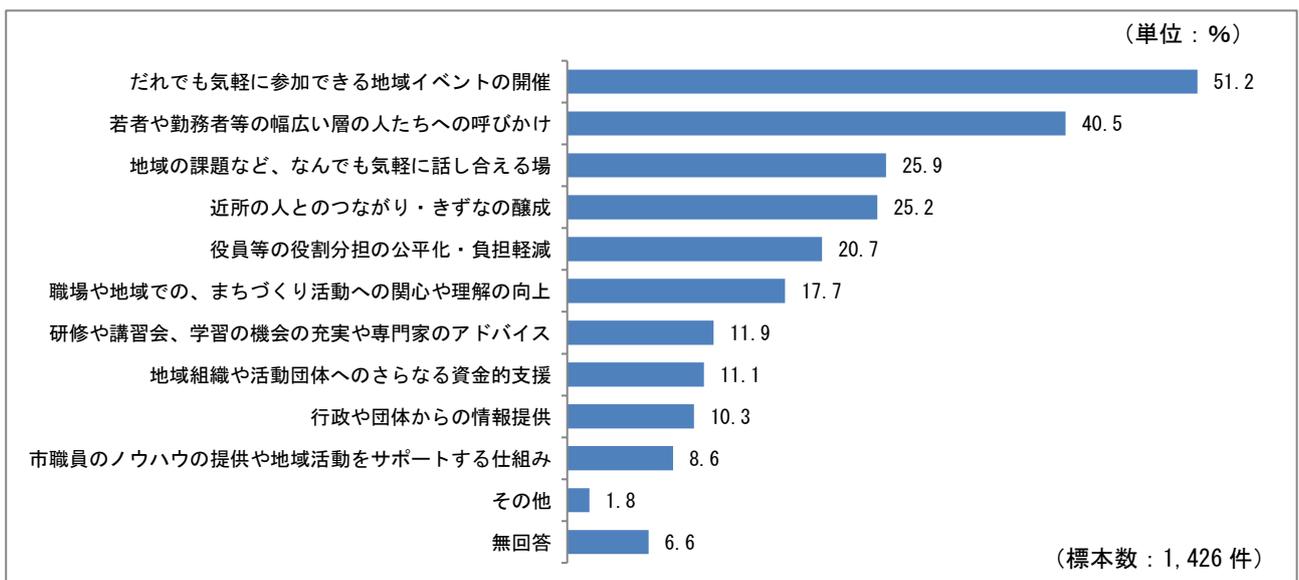
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H31）	
				順位	回答率(%)
1	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	730	51.2	1	49.4
2	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	578	40.5	2	41.4
3	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	370	25.9	4	26.7
4	近所の人とのつながり・きずなの醸成	360	25.2	3	27.6
5	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	295	20.7	5	21.4
6	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	253	17.7	6	20.5
7	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	170	11.9	8	10.5
8	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	158	11.1	9	9.9
9	行政や団体からの情報提供	147	10.3	7	11.7
10	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	123	8.6	10	9.0
	その他	26	1.8		1.1
	無回答	94	6.6		6.0
計		3,304			

(標本数：1,426件)

(標本数：1,530件)

※「その他」の内容

- ・ 「地域リーダーの育成」、「地域のニーズに応じた活動」 など



属性別集計(年齢別)

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		77	136	185	216	296	494
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	57.1	54.4	48.6	43.5	55.7	51.0
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	61.0	48.5	44.3	38.4	42.6	33.6
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	9.1	14.7	21.1	21.8	27.0	33.8
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	18.2	17.6	15.7	14.8	25.3	36.0
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	13.0	26.5	30.8	23.6	20.6	16.0
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	24.7	19.9	27.0	20.4	16.9	12.6
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	3.9	9.6	9.7	16.7	12.2	12.3
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	14.3	10.3	10.8	13.4	13.5	8.3
	行政や団体からの情報提供	11.7	10.3	10.3	13.0	11.1	8.7
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	6.5	8.8	8.1	10.6	11.1	6.9
	その他	0.0	2.2	3.2	2.3	1.0	1.8
無回答	1.3	1.5	4.9	4.6	4.7	11.3	

【年齢別】

- ・10代・20代は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高く、その他の年代は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。
- ・「地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場」は、年代が上がるほど割合が増加し、10代・20代に比べ70代以上は3倍以上の割合となっている。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数(件)		889	61	98	112	148	127	42	96	52	90	8	55
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	51.9	44.3	51.0	50.0	49.3	53.5	45.2	54.2	61.5	54.4	62.5	54.5
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	41.4	36.1	38.8	46.4	41.2	43.3	40.5	47.9	53.8	30.0	37.5	34.5
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	25.4	27.9	17.3	20.5	27.0	26.0	19.0	28.1	26.9	25.6	25.0	40.0
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	23.5	27.9	26.5	24.1	16.9	26.0	28.6	20.8	17.3	17.8	37.5	38.2
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	21.4	26.2	17.3	23.2	18.2	27.6	21.4	20.8	26.9	21.1	12.5	10.9
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	16.5	14.8	18.4	13.4	19.6	15.7	14.3	16.7	13.5	22.2	25.0	9.1
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	12.7	14.8	14.3	11.6	12.2	17.3	11.9	7.3	13.5	11.1	0.0	14.5
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	10.3	6.6	9.2	10.7	10.1	4.7	11.9	13.5	15.4	17.8	12.5	5.5
	行政や団体からの情報提供	10.3	13.1	8.2	10.7	12.2	9.4	7.1	16.7	5.8	8.9	0.0	7.3
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	8.5	14.8	6.1	9.8	10.1	7.9	9.5	6.3	5.8	5.6	12.5	10.9
	その他	1.2	0.0	3.1	1.8	0.7	0.8	2.4	1.0	0.0	1.1	0.0	1.8
	無回答	6.4	4.9	8.2	7.1	6.8	4.7	2.4	5.2	3.8	10.0	12.5	7.3

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数(件)		65	48	23	47	63	33	14	127	61
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	46.2	39.6	52.2	57.4	49.2	51.5	35.7	53.5	49.2
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	33.8	52.1	34.8	42.6	44.4	36.4	21.4	34.6	37.7
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	20.0	31.3	34.8	27.7	36.5	21.2	35.7	25.2	29.5
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	30.8	27.1	34.8	27.7	25.4	18.2	28.6	29.9	37.7
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	26.2	8.3	26.1	19.1	20.6	21.2	14.3	20.5	11.5
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	32.3	14.6	17.4	17.0	19.0	12.1	28.6	18.9	13.1
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	6.2	14.6	0.0	10.6	11.1	21.2	0.0	13.4	9.8
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	12.3	8.3	4.3	23.4	20.6	27.3	7.1	8.7	8.2
	行政や団体からの情報提供	6.2	8.3	30.4	10.6	11.1	9.1	14.3	10.2	9.8
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	9.2	8.3	17.4	8.5	9.5	9.1	14.3	5.5	8.2
その他	3.1	0.0	0.0	4.3	0.0	6.1	14.3	1.6	4.9	
無回答	7.7	10.4	4.3	4.3	4.8	3.0	7.1	9.4	9.8	

- ・全20地域（地区）中19地域で「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い（高根地域は「地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場」と同率）。

## 4 高山市のまちづくりに関するご意見など

問15 その他、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

労働・産業
・雇用の問題は年々大きくなる気がする。
・働く場が少ない。賃金が安い。
・全ての世代において給与水準が高いと言えず、結婚しにくい等の面もあるので、所得が多くなる施策を進めてほしい。
・建設、農林畜産、観光関係以外に就労場所がない。観光、木工等に勤務しても賃金が低いため、もう少し賃金が貰える企業の誘致が必要である。
・医療・介護で働く全ての人の報酬を高くしてほしい。
・グローバル化に向けた職場環境の推進、介護施設の充実と賃上げをしてほしい。
・引きこもりや働けない人、仕事のない人に対する失業対策・政策を考えてほしい。
・雇用されている労働者の意見や要望を聞き、保護に取り組んでほしい。
・シルバー人材センター等も含め、高齢者の雇用環境を見直してほしい。
・人口減少の時代にインバウンド対策を進め過ぎた弊害が生じている感がある。ホテルの増加、観光重視の小売業やサービス業が目立ち、これらに従事する労働者はパート雇用、非正規雇用が主で、若者に限らず中高齢者の就職先が限られている。リストラ等にあった場合、第二次産業で働いていた中高齢者ほど転職は厳しい状況にある。
・高山は税金も高く、経済的に裕福でない人が多いと思う(生活保護レベルでなくても生活が厳しめ)。最大の理由である給料水準の低さを解決できればベストだが、中の下、下の上の生活をしている人の目線に立ったまちづくりをしてほしい。
・観光だけに頼らない産業の誘致が必要だと思う。高山はへき地と考えず、小さな産業からでも積極的に誘致していく必要があると思う。
・地域産業の充実のため、観光だけではなく大企業の誘致に力を入れ、給与水準を上げる必要がある。
・高山市には大きな企業がなく、新卒の学生は都会から帰って来ないため人口が減少し、高齢化が進んでいる。若者の人口を増やし、地域活性化を図るためには魅力ある企業の市内への誘致が必要となる。地域活性化を重視してほしい。
・観光では成功したがいつまでも続かないと思う。企業誘致、新しい産業の創出に力を入れ、若者が故郷に戻ることもできる魅力ある地域にしてほしい。
・20年先のまちづくりも見据えて、賃金格差の是正と、そのための企業誘致等を、同時に進めてもらいたい。物心両面からのゆとりがなくては真のまちづくりはできないと思う。
・あまりにも観光に力を入れすぎており、観光客が多く、市内がとても混雑して危険なことも多い。市内にホテルが乱立し、治安が悪化していると感じるため、観光客に頼らないまちづくりが大切と思う。感染症などもとても心配である。今回のコロナのようなことがあると、観光に頼ってばかりでは地域の雇用が守られないと思う。足元を固めることも大切なのではないかと。

・インバウンドに重点を置きすぎた結果、現在、打撃を受けていると思う。新たな産業の誘致による雇用拡大を図ってほしい。
・不安定な観光業だけでなく、地域に根付いた安定した産業を拡大してほしい。
・今までのような観光を主体とした地域経済の活性化は無いと思われるため、地場産業にもっと重点を置き、市の融資などで積極的に応援する必要がある。
・若い人たちが地元で就職し、家庭を持ち、安心して暮らせる雇用の場があることを希望する。若い人たちが一度都会で就職すれば、地元に戻ることはできない。観光だけでは雇用の場としては限られており、一部の人達しか潤わない。
・観光だけではなく、地場産業への対応が必要である。
・大学卒業後、多くの子どもが都市部で就職し、高山に帰りたいが就職先がないと口を揃えて言う。祖父母、両親だけで生活している家庭が多い。宿泊施設や他の業種でも大手の資本が参入し、地元の企業は苦しんでいるため、地元の会社、商店等をもっと大切にしてほしい。
・一度進学で高山を離れた人達が戻ってきて、都会と同じとまででなくても、豊かに多種の仕事ができるような企業等があると良いと思う。
・年配者のいるうちに若い人はできるだけ多くの資格を取得していくことを始めてはどうか。
・高山には産業が乏しいため、高校を卒業しても就職先がない。
・職人を育て、生業にできるようにしてほしい。

<b>農業・畜産業・林業</b>
・観光に力を入れることは悪くないと思うが、今回のコロナウイルスによる移動制限などがあると多くを依存してしまつては不安定となる。やはり、農業や林業、畜産業といった飛驒の特性を活かした第一次産業の振興に力点を置くべきと思う。
・地域の農産物をもっと生かせないか。飛驒の食べ物はおいしく、安全・安心なものが多いのにうまく宣伝されていない。お土産屋も、地域産の商品で勝負すれば良いと思う。
・農業をする上で獣害に困っているため、イノシシ、シカなどの駆除をしてもらいたい。
・近年、イノシシやサルが増えてきたため駆除してほしい。このあたりは果樹園も多く死活問題でもある。
・農業・林業の従事者が誇りを持てる環境づくりをしてほしい。
・人を受け入れすぎると、将来、様々な面で無理が生じると思うため、コロナを契機に観光に力を入れすぎた部分を見直した方が良い。観光に従事していた方々は、農業などの自給自足できる職へと移ることを薦める。
・耕作放棄地や手入れのされない山林を放置せず、団塊の世代が元気うちに公的介入を積極的に行ってほしい。
・手入れしやすくなり、イノシシやクマもこない山になると思われるため、できるだけ早く山の地積調査を進めてほしい。
・林道の定期的な整備と人が歩ける山道や遊歩道の修復、メンテナンスなどが、市全域で促進されると広大な面積のある森林資源が有効活用されやすい基盤となると思う。また、軽トラック程度で可能な山林間伐のノウハウが、現在 40 代～50 代の年齢層にイメージとして定着されるようなプログラムを提供すれば、里山が健全に育成できると考える。

## 商業

- ・商店街の充実ができないかと思う。都会では駅前から昔ながらの商店街が続き、人通りも多く、昔ながらの八百屋さん、魚屋さんなど風情のあるお店が連なる。当市では、郊外のスーパーなどにお客さんが集中してしまい、商店街は少々寂しさを感じるような状況があるなど、様々な事情があり大変ですが、少しでも活性化でき、観光客も楽しく散策できるような商店街になればと感じる。
- ・本町・国分寺通りなど商店街で買い物をしたいが駐車場が有料である。本町・国分寺通りの活性化が必要である。例えばアミューズメント施設など、若い人が集まる核となる場所が作れないか。
- ・地元の商業施設を利用したくても駐車場料金が高い。地元の人が市外へ買い物に出かけている状況があるため、地元商店街の活性化に向けては、地元の人が利用しやすいまちづくりが必要である。
- ・古い町並や商店街の空き店舗の活用を期待する。
- ・行神橋より北側の店や本町1・2丁目にもお客が少なくなりそうである。
- ・高山は「君の名は」など名作の舞台となったが、映画館やアニメグッズが買える所がない。これからも舞台となる可能性は大いにあるため、そのような場所を作ってほしい。
- ・私達の若い頃の朝日町(高山地域)はすれ違う時に肩がぶつかる程で、老いも若きも集り、熱気や活気があって、行くのが楽しみだった。今や衰退の一途であるが、赤い灯や青い灯を消してはならず、朝日町から一石を投げて波紋を広げてほしい。飲み屋街はそこだけに留まらず、他の飲食業や食品業、建築、衣料、旅など全てに広がりを見せる。この一点突破をデザインできる人の雇用なども視野に入れて考えてほしい。
- ・ホテルが多すぎ、高いビルのホテルが多すぎる。昭和時代の本町通りの雰囲気を活かしたまちづくりを進めてほしい。
- ・高山には、ほしいブランドや種類がなく、遠出して買い物をしてしまうため、大型商業施設を誘致してもらいたい。
- ・ショッピングモールのような場所があると良い。

## 観光・海外戦略

- ・自然や文化、歴史、伝統といった高山らしさ、飛騨らしさを活かした産業やそれを支える産業を創ることができなければ、本当の意味で観光が主要産業にはならないと思う。上三之町はテーマパーク化し、「歩いて古き良き高山を感じられますか」と質問されても、自信をもって「はい」と答えられない現状をどう変えていくか課題と感じる。周辺の大新町、下一、二、三之町、川原町、上川原町、神明町等を含めた広域で古い町並を構成できると良いと思うが、既に難しいのかもしれない。視点を変えて、昭和をテーマとしたまちづくりが良いのかもしれない。海外からの検診などを受け入れ、観光と医療をパッケージとして売り出すのも面白いと考える。
- ・観光についてインバウンドに力を入れすぎで、新型コロナの影響により高山のまちは死んだようになった。宿泊施設ばかりが増え、今後この高山らしくない施設はどのようになっていくか不安になり。国内のお客様の誘致に力を入れるよう、考え直すべきではないかと思う。
- ・コロナの影響で現状は変わってきているが、コロナ前のオーバーツーリズムは本当にひどいものだった。古い町並に一極集中だったため、恩恵を受けたのはごく一部の観光業、飲食店、宿泊業のみでその他市民はあまりの多さに悩まされていたと思う。もちろん高山市は観光で成り立っているまちなので、それに関連する製造業等も恩恵があったとは思ふ。今後この町を持続可能なまちにしていくためには、多くの観光客を呼び込むプロモーションではなく、一定の観光客に深く知っても

<p>らい、長く滞在してもらえようにするマネジメントが必要と考える。そのためには一極集中の解消、新たな民泊やホテル参入の抑制、周辺地域にも気軽に足を伸ばせるような交通の整備などが必要と考える。市の周辺には、コロナ後に需要が高まりそうな魅力的な自然を活かしたコンテンツがたくさんあると思う。</p>
<p>・世界中がコロナの恐怖でいっぱいだが、高山市でも経済面など、中心部の観光ばかりではなく、支所地域まで目を配った取り組みをお願いする。</p>
<p>・支所地域にも観光資源が眠っているため、市内周遊の観光(市内ホテル・旅館とタイアップ)、海外旅行などでのオプションツアー、健全な空家の宿泊施設などへの転用、農業体験または観光会社等の保養等々、自然環境をアピールすると良い。</p>
<p>・中山間地域の振興のため、久々野町のスキー場は続けてもらいたい。</p>
<p>・アルコピア・モンドウスのどちらかを閉める話を聞いたが、私は両方を閉めた方が良いと思う。昨シーズンのようにどちらのスキー場も雪が降らないことも予想され、県外や県内(南の方)のお客様が来なければお金を落とさず、市民の利用だけでは借金が膨らむだけである。飛騨全域の市民はどちらのスキー場が無くなっても大して困らない。飛騨高山スキー場は、乗鞍青年の家があるから閉められないという話をよく聞くが、立地・利用者数・老朽化を考えれば存続する意味が分からない。例えば、アルコピア・モンドウス・飛騨高山スキー場を閉めて、チャオ御岳スキー場のみを市で営業するようにすれば、春～秋は高地トレーニング、冬(12～5月)はスキー場の利用者として、県外・県内から年間20万人程の来客が見込めると思う。標高2,000mなら雪も降る。市の収入が増え、小さなスキー場がたくさんあるより、大きなスキー場一つにまとめた方が、収益が見込まれると思う。</p>
<p>・飛騨の里が閑散としているため、夜の合掌造りのライトアップなど宿泊の観光客を増やして1日でも長く滞在いただけるようにしてほしい。また、風雨や雪に対応したゴンドラを整備して、城山又は松倉山山頂から高山の夜景を楽しんでいただけるようにできれば良いと思う。高山の観光が上三之町のみ集中している。</p>
<p>・コロナ感染拡大のため外国人頼みの観光業は落ち込んでいる。日本の伝統文化の残る高山をぜひとも日本の方々に知ってもらいたい。飛騨の里が栄えていた頃は馬車が行きかい人があふれていた。朝市や陣屋も含めもっと魅力ある施設にしてはどうか。もっと白川郷のように宣伝してもらいたい。魅力ある観光地づくりを提案してもらいたい。</p>
<p>・飛騨の里のトイレが古く、障がい者の方(特に車いす)が使用するのに不便なため改修してほしい。</p>
<p>・飛騨の里の近くによく行くが、折角の自然がある場所なのに活用されていないと思う。飛騨の里内でも観光している人(外国の方)がわずかにいるだけであること多い。市民が無料なのはありがたいが、駐車場代に500円かかる。土日だけでも食べ物のお店や朝市のようなイベントがあっても良いのではと思う。季節の景色がたくさん見られるのにとってもったいなく感じる。</p>
<p>・高山市は都市部から離れているため、大企業の誘致は難しいと思う。観光に力を入れていると思うが、そのために高山の美しい文化、環境が徐々に消耗していないか。</p>
<p>・ホテルなどが次々にできているが、今日のコロナの影響などで観光客が減少していった場合、古くなった建物が廃墟のようになりはしないか心配している。</p>
<p>・ホテルが沢山建ったが、地元の旅館業の方々が苦しんでいると聞くので、地元の方を大切にしてほしい。</p>
<p>・インバウンドにあまり頼らず、国内に目を向けるべきだ。</p>

<p>・観光について海外誘客に重点を置いた施策はいかがなものか。コロナで市全体が不況のどん底に陥ったのは、国内誘客に目を向けなかった結果である。下呂市を見習うべき。</p>
<p>・観光客のマナーの悪さが目に付く。観光バスのお客さんが道路幅に長い列をつくって歩き、鍛冶橋等は歩けない。特に、外国人旅行者のガイドに指導をしてほしい。車の運転を辞めたらちょっとした外出が困難となり、元気な時は分からなかったが、道路の端の方はでこぼこしており歩きにくい。飛騨のよさを残してほしい。</p>
<p>・外国人観光客の市内での交通マナーの悪さがとても目立つ。</p>
<p>・名物である朝市の出店が少なく、お土産物店のように残念だと思う。高知の朝市や欧州のマルシェのような活気ある朝市で、もっと地場産の野菜や食材、地域産業や工業、畜産物などが出品されていれば、早朝の観光として魅力あるものになるのではと思う。市民として昔はよく朝市で買い物をしていたが、今は買うものがないと感じてしまう。朝市が充実して楽しいと思えるようになれば、宿泊の観光客も増えると思う。高山の朝市も自慢できるようになってほしい。</p>
<p>・コロナでインバウンドが復旧するには数年かかる。以前、九州を旅行した際、若い女性は高山を全く知らず、岐阜県すら知らなかった。意外と知られていないことに、ある意味ショックを受けた。NHK 大河ドラマ(例えば金森長近)の誘致などにより、もっと飛騨高山を PR できないか。</p>
<p>・古い町並や高山陣屋などの文化施設はもちろん大切だが、過去の保存だけでなく、高山ならではの新しい価値観を生み出せれば観光地として更に飛躍できると思う。</p>
<p>・観光は市の大事な産業で、おもてなしの気持ちは大事であるが、今回のコロナをひとつの見直しの機会と捉え、方向を変える必要があると感じた。古い町並周辺はあまりにも観光向けとなり、かえって興醒めしてしまう。コロナを機にまちの素朴な日常の魅力を発信できるようになったら良いと思う。</p>
<p>・地方ならではのことであるが、コロナで考えさせられることがたくさんあった。日本人が好む、何度でも行きたい場所が、変わらない観光地としての大きな源になると思う。知識や学びも必要だが、昔ながらの飛騨高山を、今こそ大切にしなければ観光地としての価値が損なわれてしまう。高山を離れ進学・就職して、つくづく飛騨高山の良さを感じた。残ってほしいと願う。</p>
<p>・観光事業をもっと強力に進め、目玉をつくり、投資してほしい。</p>
<p>・コロナにより観光事業が衰退しており、いつまで続くか分からない。</p>
<p>・観光以外への取組みが少ないと感じる。</p>
<p>・観光の重要性は分かるが、市民重視で臨んでほしいと思う。</p>
<p>・ホテルが次々と建設されているが、本当に必要か。</p>
<p>・学校の授業の一貫として、海外向けの SNS で畜産や野菜、果物、文化伝統など調べながら情報発信・交流できれば楽しい。英語も、観光客を案内できる位に使えば、対海外や国内へのアピールもできる。</p>

<p><b>経済</b></p>
<p>・観光においては国内でもトップクラスの PR ができていると思うが、今回のコロナウイルス関連で大きなダメージを受けた事業者へ迅速かつ継続的な支援をお願いするとともに、地域経済の活性化に向けた政策をお願いする。</p>
<p>・コロナウイルスにより営業を自粛していたが、一律の 50 万円のほかに観光に力を入れている高山としてプラスの支援がなかったのは非常に残念である。昨年の暖冬により除雪費用が浮いた分を充当して支援ができたのではないかな。</p>

<p>・2月からのコロナの自粛要請では、閉めるだけ閉させて、商売・観光など高山の経済を支える業種に市としての手厚い援助はなかった。比べては悪いが飛騨市はやることが早い。</p>
<p>・今までインバウンドに力を入れている印象だったが、コロナ禍の影響でインバウンドに頼らない地域経済のあり方を考えていかなければならない。</p>
<p>・観光など市外に頼るばかりではなく、高山だけでまわせるまちづくりをしてほしい。</p>
<p>・高山市の物価は他の地域と比較すると高いと思う。レストランでの食事、スーパーでの買い物、タクシー等、価格設定が観光客相手となっていると感じる。</p>
<p>・地元企業のトップが、もっと経営について学ぶことのできるシステムを構築してほしい。</p>
<p>・基本的に住みやすい、良いまちであると思う。どんな商売の人でも協力しあい、お金がうまく回る経済状況を作してほしい。</p>
<p>・プレミアム商品券について、今までのものは大手チェーン店でも使用でき、消費者にとってはありがたい仕組みだった。今回はコロナ対策のため、早急に地域内でお金を循環されることが大切であるため、大手チェーン店で商品券が使われるようになると、県外の大手会社にお金が流れてしまうのではないかと。そのようにならないよう、思案していただければ幸いである。</p>

<p><b>保健・医療</b></p>
<p>・コロナに関する防疫・防災を進めてほしい。</p>
<p>・新型コロナ後の店の対策がほとんど成されておらず、市全体で安全を担保した形で営業できていない。市として独自のガイドラインを策定し周知する必要がある。新型コロナ流行に対する医療体制が全く整っておらず、市の黒字を今こそ医療に使うべき。まち全体で先進的な感染対策がなされ、医療体制も整っているからこそ、安心して観光客を迎えられるようにすべきだが、今はどちらも全くできていない。ノーガードで観光客を受け入れていたら、高齢者の多い高山は大きな傷を負ってしまう。新型コロナ患者の市内発生がなかったことが、皆の対策意識を下げているのかもしれない。</p>
<p>・新型コロナの拡大に備え、PCR検査を受けられる施設を充実させてほしい。入院や休職などの検査後の流れ、それにより発生する個人や会社の負担、行政が支援できる部分と支援できない部分などについて、具体的に明らかにし、発信してほしい。現在、高山は遅れてくるであろう第一波に初めの一人になりたくないという思いが強いが、いざ周りに感染者が出た場合、どうすれば良いのか具体的なイメージができない人の方が多いと思う。風評被害や差別、医療の崩壊が起きないように、行政が先行して積極的に情報を出してほしい。</p>
<p>・地域医療の充実について、岐阜地域や富山地域等と連携を図り、特定の専門分野の病院を地域内に確保し、都市への医療の偏在を変える必要がある。</p>
<p>・今回のコロナで飛騨はもっと医師の輪、チームづくりが大切だと思った。全ての医師がワンチームとなって話し合い、分野にこだわることなく、地域医療に力を入れていただきたいと思う。経済の方は、それぞれに田畑があり何とか食べていけるが、病気になったときは中核病院だけでは対応できず、富山や名古屋へ手術に行かされるのは、年を取ってからの不安が大きい。市が医師の確保に力を入れ、ますます安心できる良いまちとしてほしい。</p>
<p>・飛騨市こどものこころクリニックのような医療機関が高山に必要で、小児科医や産科医も充実させてもらいたい。子育て支援金(4ヵ月検診時にいただける10万円)がとてもありがたかった。健康推進課の保健師に相談したり、電話をもらったりしており、感謝している。</p>

<p>・高齢者が確実に増えており、選ぶことができない医療や病院、人の言うことを聞いてくれない医師など、医療や介護が問題だと思う。バスの本数が少なく、車も気軽に利用できないため、良くないと聞かされていても、近くの病院しか利用できない。田舎だから、人口が少ないから仕方がないということではないと思う。診察を受けた次の日に電話をするように言われ、理由も分からずかけたところ「症状はどうか」など20秒足らずの質問に答えたのみで、次回に「問診表」の名目で診療費を取られることがあった。いろんな病院に行ったがこんなことは人生初だった。このようなことがまかり通らない「選べる医療」が確保された地域になるように願う。</p>
<p>・市内の医師確保、高齢ドクターへの対応などはどのように考えているのか。</p>
<p>・年金生活に対して医療費負担が重い家庭がある。100歳を越えた高齢者は無料とすれば良い。</p>
<p>・医療について総合病院の医師を増やしてほしい。先生方も都会の大きな病院が良いとは思いますが、山間地だからこそ長くいてくださる医師、富山や岐阜、名古屋へ行かなくてもよくなるよう、行きたくてもお金がかかり行けない人のためにも医師を迎えてほしい。大変お金がかかると聞いているが、市の支援により取り組んでもらいたい。コロナ禍により、病院、医師の必要性を今まで以上に感じた。</p>
<p>・市内の病院では医師が不足している。他県へ行かなくても、地元で治療が受けられるように医師を高山に呼んでほしい。</p>
<p>・市内の大きな病院には専門医が少ないと聞く。私は今のところ健康なのでありがたいが、いつ脳梗塞のような病気になるかもわからない。医療の充実を願う。</p>
<p>・高齢者が増え、独居老人が多く、介護負担も大きい。施設入所を希望しても空きが少ないため、施設数を増加させてほしい。福祉や医療現場はマンパワーが重要になるため、誰でも働きやすい環境を提供してほしい。</p>
<p>・病院の医師の質が悪い。技術が低く、とやる気もないのか、けがをしたときの対応が良くない。都会へ手術を受けに行きたいが遠くて行けない。</p>
<p>・観光に力を入れることは良いことと思うが、高齢者が増えているため、医療にも力を入れるべきだと思う。</p>

<p>高齢者福祉</p>
<p>・高齢者は遊びに行きたくても行けない。車の免許は返してしまった。食事の面では若い人のように噛めない。体力づくりに頑張っても、それほど戻らない。誰でも気軽に参加できる地域イベントなど、後期高齢者向けの楽しみがあればと思う。</p>
<p>・65歳以上を対象とした温泉等の割引がタクシーやバスにも使えたら良いと思う。</p>
<p>・公設・私設と高齢者の入所施設は多々あるが、飛騨の大自然を活かし、日本各地の高齢者が老後生活を送る場所として選択できるような大きな施設3~4箇所を建設してほしい。飛騨の大自然の魅力を多角的に活かしていただく良い施策と考える。</p>
<p>・父を自宅で介護している。川の近くに家があるため、過去の大雨時に浸水し、怖い思いをしたことがあり、避難所に連れていくこともできず困っていたが、緊急時は利用しているデイサービス、ショートステイ施設に緊急時は預けることができるようになり、そのような制度(災害協定)を作ってくれたことにとっても感謝している。</p>
<p>・郵便を出すのも大変な時があるため、老いた時こそ便利に生活できる方法があればと思う。</p>
<p>・足腰が痛み、自分がいつ施設にお世話になるか分からない年齢になったが、すぐ入れる施設が少ないと聞き心配である。</p>

・最近は何でもオンラインになっているが、ついていけない高齢者がいることを忘れないでほしい。
・若い人や家族と一緒に暮らしている人は、インターネットなどについていけるが、アナログで生活している一人暮らしの高齢者はデジタルに弱く、ついていくのが大変である。もっと高齢者でも様々なことに対応できるよう考えてほしい。取り残されないような支援、若い方の積極的な協力をお願いしたい。
・独居高齢者でタンクからストーブに灯油を入れる作業ができず、凍えそうな部屋で暮らしている人がいることを把握しているか。ケアマネージャーもヘルパーも作業を代行することが本当はできないそうである。行政のすることは上部の体裁を取り繕うだけと感るので改めてほしい。
・高齢化が進む中、様々な心配ごとがある。老後 2,000 万円が必要という話を聞いた時、なるようにしかならないという気持ちだった。介護サービスの利用など徐々に基準が厳しくなっている気がする。自分の親はたくさん年金がもらえているので、あまり介護に負担を感じませんが、自分の子どもたちはどうだろうか。将来子どもが高山に住む気がないようですのでさみしい。やはり、高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちになることが一番の希望である。
・高齢者の視点でのまちづくりを進めてほしい。
・老後が不安である。
・高齢になっても雪かきをしなければならないため、冬期間の雪がとてつらい。
・私の家のまわりは 1 人暮らしの方が何軒かあるが、その方たちがみえなくなったら地域の行事ができなくなり、自分も歳をとり、空家が多くなり、環境整備ができなくなっていくのが心配である。今は運転しているが 10 年後のことを考えると、店もなく子どもたちも都会にでていなくなり、銀行や病院にも行けなくなるのではと心配である。

<b>障がい者福祉</b>
・私のような障がい者で働くことのできない者は本当に生活に困っている。年金もまだ受けられる歳ではなく、病気の悪化により働けなくなった。今は子どもの給料で生活しているが、食べていだけで精一杯で、電化製品も 20 年位使っているため、ガムテープを貼って使用している状態である。市はもっと経済的に苦しい家庭の支援をしていただきたい。

<b>地域福祉</b>
・特に家庭内の問題について、市民の悩みなどを相談しやすい場がほしい。
・母子家庭や生活が苦しい人を助けてほしい。
・観光に頼るのは理解できるが、介護や障がい福祉について不十分だと思う。
・飛騨市のように福祉に力を入れてほしい。

<b>児童福祉</b>
・子どもが遊べる場所を各地域に新設してほしい。子育てがしやすい地域であってほしい。
・宮川沿いの工事も大切だが、今住んでいる子育て世代への思いやりが、もう少しあっても良いのではないか。
・飛騨市子どものこころクリニック(児童精神科)に高山から多くの親や子が通っている。一時期は新規受診申込を中止せざるを得ない程のニーズの高さである。それは市内の医療機関では対応できないニーズがあるという事実を物語る。高山が一人一人にやさしいまちづくりを訴えるならば、医療体制の整備は最優先に取り組むべきと考える。飛騨市子どものこころのクリニックができる前

は岐阜市や大垣市に通うしかなかった。飛騨市子どものころのクリニックに多くの市民が通い、なおもニーズが多くあるという現状を見ると人情のあるまちとはこの程度かと悔しくなる。市内に児童精神科の医院を作ってほしい。コロナの特別給付の速さに高山市の根性をみた。行政の皆さんの一つに力をあわせた取り組みに高山の人情を感じた。心よりそのご苦勞にお礼を申し上げる。小中学生が発達検査(WISCを通しての特性に応じた支援のあり方)を受けることが市役所でのみ行っているが、対応できる子どもの数は、1年間に各学校で1人程度に留まっている。公認心理士の採用を増やし、月に10人程受けられるようにしていただけないか。「途切れのない支援を行っている」と公言する高山市としてはさみしい限りである。

・幼児期からの性教育を進めてほしい。例えば、絵本(良いタッチ悪いタッチ、とにかくさげんでにげる等)を使い、幼い時から自分の大切な場所はさわらせない・見せないと自然に意識できるよう教えることが大切である。10代での望まない妊娠を防ぐことにもつながる教育だと思う。

・現在、子どもを2人持ち、第3子を妊娠中であるが、様々なことにお金がかかる時代の中、高山市の給料、所得基準が低く今後の生活が不安でもある。昔と比べ、子どもを未満児で保育園に預けて母親は働くことがあたり前のようにになっているため、子育て世代がもう少しゆとりのある生活ができればと思う。児童手当、医療費の助成はともありがたいが、現実まかなえていない部分もある。子育て世代を含め、市民がもう少し生活しやすい地域になれば良いと思う。市では様々な取り組みをされていると思うが、観光やインバウンド等がメインで、それらの収益が市民のためになっているとはあまり感じられないため、もう少し市民がより良く暮らしていけるような取り組み、活動を強化してもらいたいと感じる。

・結婚・出産し、こちらへ移住して15年程たつが、高山の環境は自然があり、みなさん良い方が多く、子どもにとってとても良い所で、こちらで子育てできてよかったと思う。高校生になったら急に病院にかかることも増え、子育て支援に関して中学3年生までの医療費無償化はすごくありがたかったと痛感した。

・息子には発達に障がいがあり、1歳半検診の時から様々な方にお世話になったが、学校との連携が大変だった。医療、障がい児サービスも徐々に充実してきていると感じるが、特に手助けを必要とする子どもを皆で協働しながら支えていくという取り組みが、もっと充実してほしいと願う。個人情報やプライバシーといった問題もあるため、難しいと思うが、知識のない親にとって障がいを持つ子を育てるのは大変である。これからの高山市の未来を築いていく子どもたちが、個性を認め合い、安心して自分を発揮できる場所がもっと増えるとうれしい。

・0歳、4歳児の子育てをしている。市内の公園で遊ぶことが多いが、公園では子どもが遊んでいない。子どもの遊びやすい環境、楽しい遊具などを工夫して、公園が子どもの集まる場所になってほしい。子どもを保育園に預けようと思うと、年度途中では難しいと言われた。子どもを増やすためには安心できる保育の環境が必要だと思う。

・小さい子どもを育てるには、地域の優しさや協力で救われ、とても助かっている。観光地として発展していくのと同時に、子どもたちの交流の促進や施設整備などに力を入れてほしい。

・現在は休職中だが、今まで医療関係に従事してきた。多くのスタッフと協力しあい仕事を続けることができたが、やはり子育て世代の女性にとって、家庭・仕事の両立は大変だったようである。中でも、子どもが病気になった時の対応が大変と感じた。何か行政として支援できる所があれば、安心して仕事を続けることができると思った。核家族の家庭が多いなかで、家族以外に急な時にも受け入れ可能な公的な場所があれば良いと思う。休日も仕事の方があつたため、対応いただければ最高だと感じる。

・住んでいる市民が親子で楽しめるような場所やお店、施設が少なすぎる。市民プールは汚く、昔と変わらない。児童館も昔のままでおもちゃが汚い。そういうところにもお金をかけてほしい。ホテルはもう要らない。
・子育てのために高山へ帰ってきて良かった。
・母子家庭で様々にお世話になったため、感謝している。

学校教育
・学校教育の問題で、障がい児や気になる子への支援は、幼、保、小、中の連携が大切である。1クラスの人数を減らすのが望ましい。
・子どもの通学路を見直してほしい。学校が少ない。
・義務教育の子どもに対しては手厚い援助があるが、一番お金のかかる高校生や大学生にこそ手当てが必要だと思う。
・観光に力を入れすぎているように感じる。もっと未来ある子どもの情操教育に力を入れてほしい。
・子どもの選択できる未来につながるお稽古や塾がなく、本来なら才能があるかもしれないのに、子どもの頃出会えないことを残念に思う。高山市からのオリンピック選手やその道を代表する人物が少ないと感じる。
・小中高の教育水準が低すぎる。小中学校での目標が抽象的すぎるため、小6は英検3級、中3は英検準2級など具体的にすべき。学校給食がまずいらしい。学校は勉強する場であるため、中学の部活は週2回、1回当たり90分までとし、遠足など課外活動は最低限としてほしい。
・観光客の誘致活動には成功しているので、これからは市民が役に立つこと、具体的には学校教育の充実に予算を使っていただきたい。白川村ではタブレットを学生に配布し、コロナ自粛期間中にオンライン授業を実施していたそうである。人数が大きく異なるため、同様にはできないかもしれないが、学習に遅れが生じたのではないか。匠バス関連に無駄なお金を使うのなら、教育にお金を使っていただきたい。
・義務教育なのに、学校によって学習面に差があるのはおかしい(建物や環境も)。自粛期間中もYouTubeなどで需要をしていたが、見ない子は見ないし、リモート学習などICT環境を整えてほしい。教室も人数を詰め込まず、1クラス20人までにして先生の負担を減らし、子ども一人一人の学力アップにつなげてほしい。
・小学校が休校になっていた際に、学校でリモート学習に関するを行われたが、環境を整えられない家庭が多かったのか、リモート学習は実施されなかった。東京都等を参考に市から各家庭へのタブレットの貸し出しをしていただき、同じ状況になった際にスムーズにリモート学習を取り入れてもらいたいと思う。
・3ヶ月の休校は、子ども達の心身に影響を与えていると思う。先生方も消毒作業など手のかかることが増え、子どもの小さな変化を見逃すことがあるのではないかと心配している。トイレから感染するようなことにならないか気になっているため、トイレだけでも掃除する人を配置できないかと思う。福祉センターや市役所などは掃除をする人がいるのに、学校だけは先生と子どもに任せられているのは不思議である。予算措置をお願いする。
・大学を高山に誘致してほしい。寺子屋風の学びの場でも良い。
・広大な面積を活かし、市内に居住する子ども達の将来を考えた総合大学の誘致に向け努力してもらいたい。市内在住の大学進学希望者の3割が家から通学できる環境が望ましい。

・教育について、もっとしっかり取り組んでほしい。都会では中学生からオープンキャンパスなどに見学に行き、学歴社会を意識している。中学の時から将来を見据えた学びを意識するようにしてほしい。特に、高山市は大学がないため、遅れていると思う。

・日本全体が弱体化しないためには教育の底上げ、土台作りができるようになると良いと思う。教育者の能力を上げ、ブラック企業以下のような教育現場を元から変えることで、良い人材が育ち、日本全国、地方も元気になると思う。

#### 文化芸術・スポーツ

・子どもが芸術やスポーツに触れる機会が少なく、スポーツ少年団も子どもが少ないため成り立たないため、子ども向けの芸術鑑賞の機会を増やすことや様々なスポーツ体験ができるとう良い。

・文化会館・野球場の新設を求めている団体があるが、競技人口の減少など課題があるため、新設よりも改修等により、今ある施設をもっと有効活用すべきと考える。

・市民プールや映画館など、子どもの遊び場をもっと充実すると良い。

・市民プールの老朽化が心配なため、きれいにしてほしい。映画館や美術館もなくなり、子どもを連れて市外、県外に遊びに行くことが多くなった。将来を担う子ども達が楽しく、いつまでも高山で過ごしたいと思える環境整備に予算を使ってほしい。

・観光が大切なのは承知しているが、公園や市民プールなどの老朽化を改善してほしい。とにかく古く、飽き飽きしている。休日は県外に行くことばかり考えている。

・グラウンド・野球場・陸上競技場・体育館・プールの新設など、子どもたちの活躍の場となるスポーツ施設を整備してほしい。プロスポーツが観戦できるような施設もあるとう良い。地元で開催できるスポーツ施設が少なく、老朽化が進んでいる。若い人たちがほかの地域から戻ってきて就職できる様々な業種の企業の誘致など、活気あるまちづくりをお願いする。

・子どもが小さい時から市内で遊ばせる所が少ない。こんなに広い土地がありながら野球場、サッカー場、体育館、プールは飛騨市と比べものにならない。観光に力を入れすぎて、市民生活に寄り添えているとは全く思えない。

・市内に野球場を整備し、高校野球の予選ができるようにしてほしい。JFA ころのプロジェクトの夢の教室で、スポーツ選手を学校へ派遣してもらいたい。

・以前、スポーツ少年団の役員をしていたことがあるが、子どもが参加しているスポーツの環境が残念でかわいそうだ。サッカー専用のグラウンドが無く、野球場(中山)が老朽化し、少子化によりクラブ活動が制限されるなど挙げればまだまだ意見はでてくると感じる。未来ある子どもたちが将来の支え手で居られるよう、早急に検討をお願いする。新たなグラウンド整備に向けた計画も遅すぎて、完成した頃には使用する子ども人数が少なくなってしまう。

・子どもは少なくなったが、中山公園野球場などの整備をしてほしい。

・清見、丹生川など、少し離れた広い土地のある場所で良いの、サッカー場を整備してほしい。

・グラウンドの芝生化など、屋外のスポーツ環境をもっと充実させてほしい。

・高山市は飛騨市に比べてスポーツ施設が少ない。サッカー専用の芝のグラウンドがほしい。

・市民プールは古いが夏場の大切なレクリエーション施設のため、これからも維持していただきたい。滑り台を直すか、プール全体を改修していただきたい。

・冬でも使えるような人工芝のグラウンドを整備し、他県からの利用もできると良い。

・10万人の都市として、スポーツ施設や通年利用できる温水プールがほしい。

<p>・観光のためのホテル誘致に力が入っているという印象を受ける。市民の公共の場をもっと整備してほしい。特に、子ども同士で行けるバスなどの交通機関があって、安心して楽しめるプールがあると良い。現在のプールは汚く古い。</p>
<p>・スケート場、温水プールがあれば良いと思う。良い指導者も必要と思う。</p>
<p>・高齢者向けのスポーツ施設(屋内外)が無くて困っている。</p>
<p>・スポーツ施設の充実、利用の促進、雨雪が降っても運動ができるスペースの確保に向けて検討してほしい。健康寿命の延命のためにも、運動習慣がない市民の方へ積極的なスポーツ参加を促進してもらいたい。</p>
<p>・地域ごとの子どもの足で歩いていける距離に、走り回れる広い場所があれば良いと思う。</p>
<p>・市民が住みやすい市にしていきたい。スポーツジム、グラウンドを整備・拡充してほしい。例えば、塾やスポーツジム、スポーツスクール等で利用できるクーポンを市民に対して発行するなど、民間の施設を利用する市民に対する補助があっても良いと思う。</p>
<p>・高齢者が非常に多い印象がある。私は、今のところグランドゴルフ・鮎釣り等で元気に外で動いているが、一人でも多く仲間が増えればうれしいため、機会を見て誘っていきたく思っている。特に、グランドゴルフは1人からできるスポーツのため、全市的なキャンペーンを実施してはどうか。気軽に参加できる練習日を設定して広く知らせることと手ほどきをしてくれる人を頼んでおくことも重要である。用具は市内に愛好会等が多くあるので借用すれば良いし、町内会で用具を揃えている所もある。元気な高齢者をたくさん増やせば元気な市になる。小学生も大喜びで楽しんでくれる。</p>

<p>交流</p>
<p>・友好都市の数が多すぎる。こんなに小さい市なのにいくつ提携を結ぶのか。経費がもったいない。</p>

<p>歴史文化</p>
<p>・文化遺産と讃えられるにふさわしい故郷、先祖が守ってきたものや文化が何かを知り、引き継ぎ、守る行動をとってほしい。</p>
<p>・地域の祭りの当番などで正直大変である。仕事を休んでまでの祭行事参加や準備が負担になっている。</p>
<p>・歴史遺産の保存と有効活用について、私の住んでいる荘川には「荘川の里」という日本の文化や歴史を伝える貴重な観光資源がある。しかし、入場者数は減少の一途をたどり施設維持の負担のみが増加しているようである。施設は県の重要文化財ということもあり、活用については規制もあると思うが、思い切った見直しを行い、存続のための方策を実施していただきたい。例えば、高齢者が集まり、施設整備や歴史の語り部となって一日を過ごしていただくこと(歴史的建物のある地域では、やられたところもあるようである)、荘川自慢の蕎麦や川魚を食べさせるお店の出店やイベントを開催すること(支出は最小限にし、毎日運営する必要はない。1回/週でも1回/月でもOK、国指定重要文化財でも食事ができるようなイベントを企画しているところもある)、アマチュア音楽コンサートに会場を提供すること(歴史的遺産とのコラボは人気があり、使いたい人に使わせ人を集めてもらえる)、古民家で、1日1組での宿泊体験をしていただくこと(信州の方では、江戸時代の古民家に寝袋で泊まらせるところもある)等が考えられる。その他、荘川には「日本一の蕎麦の里」もあるが、施設の老朽化を待つばかりでなく、有効活用を図っていただきたいと思う。</p>

・現在、駅前美化活動と伊勢神楽獅子の伝統芸能継承の活動をしているが、駅前美化活動はほとんどが持ち出しのため大変で、獅子舞は町内会からの補助金が出るが持ち出しもある。もう少し申請が簡単でスムーズに受けることができれば活動にも盛んになると思われる。検討をお願いしたい。

#### 協働

・祭行事や伝統を大切にしながらも、守ることだけではなく新しい風を取り入れることも、必要と思う。そのきっかけをまちづくり協議会で発信してほしい。

・まちづくり協議会主催で「子ども食堂」を開催している地域があるが、私は本末転倒だと考える。食べ物を与えるのではなく、子どもたちに自分で料理する力をつけてさせることが重要だからである。ほかにもこのような事業はないか。

・まち協として、～作って、販売を通してご飯作り～に取り組んではどうか。高齢化による田畑の荒廃を防ぐプチ企画を作る。例えば、ニンニクを作り、黒ニンニクとしてインターネットで販売する。野菜を作り、まち協朝市で販売する。ホームページを作り、ネット販売に踏み出す。特産物づくりとして、地域特産物の発掘、山芋の農庫、健康ブームなど、何ができるか、リターンはあるか、販売方法は何かなどについて研究する。

・この頃、地域の道路・公園などがひどく荒れている状態である。側溝など特に伸びた草などが入り込み、雨の多い時などに水があふれて大変である。名だけのまちづくりではなく、幅広く活動してほしいと思う。夏場は特に、町はずれの道路左右の端々に、ビニール袋入りのごみ・ビン・缶などが捨ててあり気になるため、まち協で何か手立てをお願いしたい。

・月々の生活費が高すぎる。光熱水費、食費の他、諸税金、区費、班費、長寿会費、NPO 会員費など。役が多すぎる。区長、副区長、総務委員他各委員会役員、班長、伍人組、氏子関係、長寿会会長、副会長、各委員、役員、班長、NPO 理事役員関係班長等、お寺門徒総代、班長。お寺は別としても頻りに配り物、お金集めの役が回ってくる。

・新宮町やビッグアリーナのイベント、原山公園整備に関わっているが、自分の居住地のまち協に関わったことがないため、まち協のことは分からない。祝祭日も無く働いており、これ以上時間が取れるか心配である。

・住民皆が日曜休みではないため、川の掃除などが大変である。

・様々な行事を企画しても、参加者が少なくうまくいかないことが多い。交流を深めるためにもっと楽しい行事があれば参加者も多くなると思う。丹生川では、以前は運動会をはじめたくさんの地域の行事があったが、今はなくさみしく感じる。

・発想を変えたらどうか。「町内会」と「まちづくり」が混ざっていないか。「まちづくり」に関する協議会などの組織は全国的なもののため、高山市も町内会組織をもっとスリム化していく必要がある。町内会がない地域では、コミュニティハウスなどがあるのではないか。しかし、それでもと思い町内会へも加入し、役も早く回ってくるが断れると迷惑になるため引き受けている。町内会費を安くできないか。市税を安くできないか。

・まち協を支えている職員の負担が大きい。定年退職した年配者が多く、毎日夜の会議のため帰宅時間が 10 時前後となり、休みもほとんどなく、ブラックな職場だと感じる。職員の健康が心配されるため何とかならないか。

・まちづくり協議会について、高齢化が進んでいるように思う。

・特定の人に偏らない市民活動が必要である。

<p>・地域活動団体が多くある中、役員が同じの人のためマンネリ化し、全く活性化しない。</p>
<p>・様々な活動が保守的で、新しい人たちの参加は難しい状況。様々な活動の輪に入るのも意外と敷居が高く、気軽に参加しにくい。後継者の育成は大変だと思うが、役員も謙虚さや優しさをもって行動する人は少ないように感じる。役員に近寄りやすいことが問題に思う。</p>
<p>・公民館が避難所に使用されるにあたっては、熱中症対策のためのエアコン設置や施設の改善(LED化、老朽化した施設の修繕)にも助成があると良い。</p>
<p>・地域での行事に参加させてもらえるのでありがたい。</p>
<p>・地域ごとに朝早くからクリーン作戦や花植えを行うことで、きれいなまちになって良いと思う。</p>
<p>・まちづくり協議会に無関心な方が多すぎると感じる。まちづくり協議会とは何のための組織なのかということが、理解されていない。定期的に説明してはどうか。</p>
<p>・役員だけが活動するまち協であってはならない。みんなが身近に感じて、心を合わせて取り組めるようにしてほしい。</p>
<p>・まちづくり協議会について、地元住民以外にも、賃貸住宅住まいや単身赴任等の方々への参加呼びかけを進め、市の方向性を明確に分かってもらうべきと思う。</p>
<p>・行政の押し付け、協議会そのものの固さが感じられるため、「まちづくり協議会」のネーミングを親しみやすい、あるいはイケてる感じに変更してはどうか。</p>
<p>・地域ごとのまち協が様々に工夫を凝らして活動して見えると思う。中心となって運営する事務局の活動が非常に重要になると考えている。当空町地区も事務局が中心となり様々な活動を実施しているが、空町地区ではない東小に事務局が置かれている。校区の関係等で東小に事務局をおかなければならなかったかもしれないが、車のない方は東小まで歩いて約15～20分かかかるため、空町の住民としては不便を感じる。事務局へちょっと顔を出し、気軽に相談や雑談などのできる皆が集まれる場所になれば良いと思う。空町には図書館もあり、お寺も多く、最近、空家も増えてきた。それらの場所に事務局を移転し、近くて便利で気軽に集まれる事務所ができないものか。</p>
<p>・町内会をもっとスリムにしてほしい。体育委員、女性委員など不必要である。</p>
<p>・まち協は必要ないと思っている。一部の人たちだけの活動でしかない気がする。</p>
<p>・人一倍に従属する事務局職員とやたらと多い役員構成で、日ごろ目立った活動がない。子ども会(主に小学生)と長寿会のための組織・団体であって、一般の住民にはあまり縁がなく、職員と役員だけが係わる組織にしか見えない。まち協は何の変化も徳もない協働組織か。以前の社協の方が地域発展や絆、つながり、住民間の意思疎通があり、地区が生き生きと今より活発だったような気がする。まち協の職員は毎日一生懸命で、頭が下がる。</p>
<p>・まちづくり活動や団体には入っていないが、あまり気が進まない。一人ひとりにはいろいろな事情があるため、強制的とも取れる誘いは止めてほしい。趣味についても、私たちが参加していた時は自分達のお金で先生へのお礼も集めて払ってきたのに、今は回数が少ないのを理由に自分たちが地域のためにやっているみたいなのが見え隠れしている。例えば、老人会の余興に行った時に弁当を出すなど平等に地域のためになるようなことに予算を使ってほしい。趣味は自分達でお金を出せば良いのではないか。近所の人とのつながりについては、年になると色々聞き違いなどがあり、あまり人ともめたくないの離れている。</p>
<p>・国府町での年最大のイベントであった夏祭りの花火が、ずいぶんと縮小されたことがとても残念だ。また元通りのような夏祭りの花火になってほしい。</p>

<p>・行政はもっと現実的な観点から市民生活を考えるべき。観光は一時的なものであり、コロナで分かるように夢のようにすぐ消えてしまう。まち協のあり方も行政の一部押し付けであり、再度見直すべきである。</p>
<p>・まち協の行事をもっと少なくしてほしい。</p>
<p>・まちづくり協議会の活動は良いと思うが、地区の委員の負担が多すぎると感じる。今は仕事をもっている女性も多く、休みが取りにくい人への配慮もしてほしい。</p>
<p>・まちづくりに参加するのは、高齢者ばかりで発展しない。同じことの繰り返しばかり。</p>
<p>・言い過ぎかもしれないが、私の町内会も問題があり、魅力的ではない。</p>
<p>・付き合いが面倒である。</p>
<p>・人数が少なく、役員に当たりやすいのが不満である。</p>
<p>・町内会の会員と準会員の違いが分からない。一般の家庭でも準会員があるため、若い世代が加入しないことや脱退するのは仕方がないのではないかと。</p>
<p>・奥飛騨温泉郷は人口が少なく、観光地でもあるためイベントをしても片寄りがあり、なかなかサービス業の方の参加が望めない。独り暮らしの方や出不精の方でも参加できるようなサポートがあれば、イベント等も楽しく有意義になると思う。送迎サポーターといった仕組みがあれば良いと思う。</p>
<p>・形式にこだわることやイベントを行うようなものではなく、言いにくいことでも取り上げてくれるようなまちづくり協議会を期待している。</p>
<p>・まちづくり協議会が地域に作った「ミニ市役所」は、当初目指していたものとは随分違っていると感じる。極端だが、「この地区はお座敷文化で活性化したい」といったような、大胆な発想は出せなだらう。お金の使い方を含め、自由度を増やすべきと考えるがいかがか。</p>
<p>・小さい地域は、一人でいくつも役職をしなければならず負担が大きい。また、役員のなり手がいないため何年も続けなければならないこともある。行政でも今後スリム化できるところはスリム化していただけるとありがたい。</p>
<p>・海外戦略や姉妹都市との交流も大切だと思うが、それ以前に高山市内(まち協同士の間)での交流や認識を深めるべきと考える。</p>
<p>・無理に新しい「まちづくり」を急がず、今ある情景を反映した、自然な姿の「まちづくり」ができれば素晴らしいと思う。</p>
<p>・町内(自治会)で班長を経験し、あまりにも町内会未加入者が多いことに驚いた。多様化の時代、強制できるものではないが、近所の人とのつながり、助け合い、災害時での連絡など現状の希薄な関係の行く末が心配である。</p>
<p>・行政が中心で行動すべき。人材も行政側の主導で確保すべき。高齢化により人員不足のところ、町内会に負担(人員)をかけるのはやめてほしい。地域住民に負担がかかるだけであり、協働のまちづくり自体が無理であると思われる。</p>
<p>・各地域で少子化対策ができるような助成金があれば、新たな地域の活性化や少子高齢化対策の取り組みにつながるのではないかと。</p>
<p>・高山市民(または近隣の市)の結婚サポートをしたい。少子化や結婚する男女の減少をくい止めるため、結婚のお手伝いができる地元で根差したシステムを考えたのですが、誰に相談すれば良いのかを知りたい。</p>
<p>・県外から越してきて数年経ちますが、高山は自然も豊かで観光地としてもとても良い場所だと思う。反面地元の方たちの結束力が強い分、外からの人に対しての考え方などに少しづれを感じ</p>

た。自営業の方たちも多い分、雇用主と雇われる側の差にも所々考えさせられる部分があった。若者の減少など、都会への流出が起きている原因の一つと思う。

・まちづくりは住民の仕事で行政は関係ないと思っている。

・誰も人の役に立ちたい、自分の知っていることを伝えたいという思いはあると思う。それができないのは主に仕事で時間がないからである。余暇を利用すると自分のことや家のことができなくなる。仕事を休んでまでは、職場に迷惑がかかる。そんなジレンマばかり。イベントは人が集まるが、いつも同じような人が運営し、高齢化や資金面で先細りしている。10年続かないものには参加する意欲がわからないため、永く続くものを希望する。人が集まって代が替わっても続いていく、先の人々が辞めても次の人が続けていけるもの、人が集まり続けるものに参加したい。

・今後、歳を重ねていき町内会の活動などができなくなるとしたらどうしようと考えている。

### 生涯学習

・講座などに行きたいが、少し距離があり移動時間などを考えると参加には無理がある。

### 土地利用

・高山の宅地価格は不便な割に高いため、地価を下げ、活性化を図る必要がある。

・観光は自然を受け止めながら、そこに暮らしている人々がいるから価値がある。荒廃した農地やつぶされるまで放置される空家などに心を痛めている。

・人を多く収容するための高いホテルなどが高山の景観を崩しているのがとても残念である。遠くの山々が見えない。茶色など色や雰囲気を合わせるなどではなく、建物そのものが大きすぎる。何事も必要最小限で良いと思います。土地の使い方には気をつけるべき。

・国道41号の複線化や飛騨市との連携などによる活性化を進めてもらいたい。国府地区など国道沿いの経済の落込みは、将来的には不経済なまちづくりにつながる。国道41号の未来のビジョンがない。

・過疎化の進んでいる農村にもっと目を向けて、耕作されていない田畑の有効利用等を考えてほしい。

・広大な土地を活かした事業を進めてほしい。

### 住宅公園

・子どもが遊べる公園を整備してほしい。都会より公園が少ないように感じる。散歩、ランニングもでき花や遊具(健康器具ではなく)もある公園がほしい。

・子どもが安心して遊べる大きな公園を造ってほしい。

・ホテルがたくさんあるが、公園ももう少しあると良いと思う。富山県には大きな公園が多いため、休日は子育て世代が富山へ流れる。

・遊具はあまりいらないと思うが、子どもが群れて遊べる所が少なくなってきたと感じる。

・子どもたちが身近で遊ぶ所が少なすぎる。緑地公園等に木の遊具を作ってほしい。木の国なので木材を活かしてほしい。

・現在子育て中ですが、公園や遊ぶ場所が少ないと感じる。特に屋内でも遊べる所があると、夏や冬でも利用できありがたい。

<p>・もっと充実した公園や室内での遊び場を増やしてほしい。冬場や夏場、雨の日など遊べる場所がない。有料でも良いので施設がほしい。</p>
<p>・観光に力を入れすぎず、市民のためのレジャー施設や公園の整備にも力を入れていただきたい。</p>
<p>・市民は週末になると他県や県内(南の方)へ出かける。特に小さな子どもがいる家庭は、市内に大きな公園や遊具もなく2時間以上かけて行く。地元の企業で稼いだお金を他県や県内(南の方)で使っているようでは、地域の活性化は難しいと思う。例えば高山駅の近くに大きな公園があれば飛騨地域中から住民が集まる。お父さんが子どもを連れてくればお母さんは休める。たった一つの大きな公園を作るだけで飛騨の出生率は上がる。早く動かないと子どもが大人になってしまう。</p>
<p>・みんなで遊べる大きな公園があったら良い。アスレチックなどの遊具、砂場、芝生、ボール投げやバドミントンなどができる位の広さがあれば良い。家の近所に公園はあるが、遊具も少なく、もう少し大きくなったら手狭な広さを感じる。休日に友達と一緒に走り回れるような綺麗で清潔な公園がほしい。</p>
<p>・今回のコロナ騒動で、いかに観光業に頼っていたかが浮き彫りになっていると思う。子育て中だが、魅力的な遊び場が少なく、休みの日は地域外に足を延ばさなければならない。近年の大きな建設現場はホテル等の観光関連施設ばかりでがっかりしている。大規模な公園、子どもから高齢者・障がいの有無に関わらず広く関われる施設など、観光業以外で独創的かつ画期的な取り組みが行われることを期待している。</p>
<p>・広大な自然があるのに、それが活かされていないと感じる。例えば、富山市の環水公園のような大規模な公園を造れば、市民の憩いの場としてだけでなく、新しい観光拠点にもなり得るのではないか。</p>
<p>・老人と子どもの笑い声が響く大型公園を整備してほしい。滑り台などの大型遊具、たくさんの木陰、周りには大人の体力づくりができる器具など、医療費の増大や要介護者の増加とならないように、多くの人が家から外に出て人と話せ、適度に体を動かせる公園の整備を提案する。</p>
<p>・アルプス展望公園に遊園地を作してほしい。観覧車等があると良いと思う。</p>
<p>・原山公園をもっと充実させてほしい。</p>
<p>・原山地域に市民も観光客も集える大規模なレジャー・スポーツ施設の整備を願う。特に若い世代が定住するには遠くへ出かけなくても近場で楽しめる場所が必要である。人口減少対策の一助ともなるのではないか。</p>
<p>・どこの公園にも屋根があるような箇所がない。北山公園は全く整備されていない。</p>
<p>・空家対策を考えてほしい。取り壊しにお金もかかり更地になると税金が高くなるため、取り壊しをしない家が今後増えていくのは明らかである。見た目が悪く、動物が住みついて気持ちが悪い、雑木が茂って日当たりが悪くなっている箇所もあるため、調査して対応してほしい。</p>
<p>・現住所は高山市ですが、実際は他県に住んでいます。引越しをしたいのですが、住まいが見つからず困っています。</p>
<p>・市営住宅を整備してほしい。マンション型で雪またじの心配もなく、高齢者の一人暮らしでも安心して暮らせ、家族も薦められる建物を造ってほしい。市内には、40代・50代の独身者が多く、不安の声を多数聞く。安心して高山で老後を過ごせるようお願いする。</p>
<p>・空家を格安で提供してほしい。空家を処分したい。</p>
<p>・空家の活用が気になっている。空家を災害時のセカンドハウスにすることや住んでもらえる人に山仕事や田畑の仕事をしてもらってはどうか。自給自足を望む人とのマッチングを進めてほしい。</p>
<p>・市営住宅で空いている部屋をまとめ、不要な(古い)ものを撤去してほしい。</p>

生活環境
・スーパーなどにビン回収 BOX がほしい。2 人暮らしのため、なかなかたまらずゴミ袋の無駄になる。プラスチックごみの回収の回数を 2 週間に 1 回から 1 週間に 2 回にしてほしい。
・プラスチックごみ収集日を増やしてほしい。現在 2 回/月から 1 回/週にしてほしい。
・山の中への不法投棄がなくなる良い方法はないか。
・ごみの分別が適切に行われるようになると、公衆衛生環境も向上し、観光客にも良い美観の印象が残り、「また行きたくなる高山」になると思う。
・自宅近辺を朝回り、少しだがゴミを拾って清掃している。ただし、他人に押し付けるようなことはしたくない。
・家庭内でいらなくなった物(大きなゴミ)を年に一回でも良いので預けることができればありがたい。高齢者だけで暮らしているとゴミを処分したくてもどうしようもなく、年々家自体がゴミ化していく。
・北地区では、多数の野良猫が生息しており、野放し状態のため大変困っている。猫の餌付けをめぐっての民間トラブル、猫の糞尿問題があり、避妊去勢していない野良猫の子猫が増えている現状がある。猫の保護や、地域猫としてきちんと世話できるよう、市や町内会からの支援など、住民も猫も幸せに生きていけるまちづくりをお願いする。市民も野良猫への対応マナーをきちんと理解し、意識を高めていかなければと思う。
・最近、野良猫(地域猫)が増えている。「餌をやらないでください」、「ゴミをあさらないために餌を与えてください」など意見はバラバラである。これ以上増やさないためにも、避妊・去勢を進められると良いが、この費用が自己負担となってしまう。市で少しでも負担していただけるとうれしい。
・ごみ焼却処理場や火葬場の土地は決定したのか。遠いが、保有している土地の一部(まとまった土地)を使ってもらえると嬉しい。廃材焼却場の近くの土地で、寄附でも良いと思っている。役に立てれば幸いに思う。
・火葬場、ごみ焼却処理場を早期に更新してほしい。
・火葬場の移設等の情報が何ヶ月も知らされていないのではないかと。6カ所位に絞られていることまでは聞いている。
・火葬場について、道路事情が良くなり、環境に良い場所に整備してほしい。右を向いても左を向いても山ばかりで、いくらでも良い場所がある。
・火葬場を早く整備してほしい。今のところは古すぎる。何年もかかりすぎではないか。
・新しい火葬場はどうなっているのか。
・火葬場の整備を進めてほしい。
・高山市の火葬場をどこにするのか。
・火葬場を早く整備してほしい。遠くの親戚が高山の火葬場を見てあきれて帰るため、最近は久々野を利用している。
・同一場所に 50 年以上も継続するごみ焼却処理場は全くおかしいと思う。近隣住民の健康、地下水など影響が非常に大きい。数十年後に人体や環境に様々良くないことが現れることは間違いない。後になって後悔しても、元には戻せない。
・ゴミ焼却処理場は、廃熱を利用したプールなど整備してはどうか。

## 上下水道

・トイレは観光地の顔にもなるが、他都市に比べて設備が古くて狭いため、公衆トイレの整備を進めてもらいたい。災害時における対応(不特定多数の観光客向け)にもなると思う。

## 公共交通

・のらマイカーなどのバスが走っているが、バス停に行くのも遠いため、高齢者がもう少し使いやすい家まで送り届けてくれるタクシーのような交通手段があると良いと思う。

・運転免許の返納も考えるようになったが、買い物など用事に出かけることが不便になるため、団地内の路線にバスを走らせてほしい。

・高齢者が車の免許を返納した時の移動手段を考えてほしい。田舎の方ではどのように買い物に行くか悩む。高齢者になっても不自由のない環境づくりが必要と思う。

・車の免許がなくなったときは交通面の不便さが大変心配である。

・車に乗れなくなったら、ここには住めない。

・足腰が悪くなり運転免許を返納したくても、返納できなくなると思う。

・今後加速していく高齢化に伴い、車で移動できなくなる高齢者の数も増加する。また、家族と同居している高齢者でも、日中は一人になり移動が難しい場合が多い。高齢者が、住み慣れた地域で自立した生活を送るためには、誰もがいつでも利用することのできる、きめ細かい交通手段の整備が必要と思われる。

・公共交通のバスの便数を1時間に1本以上に増やしてほしい。

・公共交通機関の土日祝の不便を見直してほしい。

・公共交通機関について、土日のバスが2本もなく、中高生が部活に通うためには親の送迎が必要となる。上宝から国府までののらマイカーがあると良い。子どもは自力で外出させることできない。観光用のバスばかりで駅・支所から高校や商業施設行きのバスがない。

・交通機関の充実。せつかく若い人が街へ飲みに出ても帰る手段がないため、外に出なくなる。

・地元にはスーパーが無いので車に乗れなくなった時、一人で買い物に行けない。

・まちなみバスの本数が少なく、医者に行くのも買い物も片道はバス、帰りはタクシーを使わなくてはならないため、免許の返納はなかなかできない。

・支所地域までの交通手段に対する助成及び一人暮らしの方への援助(食料品、生活物資等の配付)をしてほしい。

・旧市街地にばかりに気をかけ、支所地域は何も対応されていない。のらマイカーは市街地との連絡がとれていないため不便である。過疎化が進むだけである。

・支所地域に住んで2年が経ったが、地域内では買い物する店が心もとなく、病院も診療所しかなく風邪程度のことしか対応できない。専門の診療科にかかるには市街地へ向かうしかない環境の中で、車の運転が自分でできない場合はバス・タクシーに頼るしかない。バスは本数が少ない上に往復で千円程必要となり、タクシーは高額すぎて利用できない。のらマイカーを利用しようとしても路線が複雑な上、時間がかかりすぎるなど、生活必需品の入手や医療の受診のための交通費負担が大きく市街地へのアクセスがとても厳しい。車の運転ができないと、支所地域では市街地へのアクセスは金銭的に負担が大きく医療も人並みの生活水準ができないものと理解していた。市街地を潤沢に潤すことも大切かもしれないが、支所地域に住む住民(老人だけでなく成人、学生とともに平等に)が、支所地域から市内中心地に費用負担が少なくアクセスできるようならマイカーの直通便を整ってほしい。旧高山市内に偏らないでほしい。車がなくても支所地域の住民が暮らし

<p>やすくなる環境も作ってほしい。出産、移住など人口を増やしていくにはそういった田舎から市外氏への交通アクセスの強化も「住む場所の選択の広さ」として重要なことと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交通手段の確保について、市の中心部から離れた地域では、今後さらに高齢化が進み、唯一の交通手段であるバスの停留所まで歩くことすら困難となってくることも懸念される。公共交通機関の不便さは高齢者の生活に不安をもたらし、家で日常生活を送ることができても、お店や病院までは行けないことで、住み慣れた土地を離れ、子どものところに引っ越さなくてはならないという状況が増えかねない。「公共交通空白地有償運送」を活用し、廉価でタクシーと同じような輸送サービスにより、高齢者の移動手段を確保している地域もあると聞いた。そのような取り組みの紹介や導入の促進をしていただけたらと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市は広く大変だと思うが、4月からのバス運行の時間に驚いた。市では様々なバスを運行しているが、市民がうまく活用できない。市民の意見を聞き、再度見直していただきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許を75歳までには返したいと思っているが、足腰が悪くなると返せなくなると思う。「のらマイカー」や「まちなみバス」などあるが、利用方法が分かりにくいいため、もっと使いやすい方法があると良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関を増やしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になったときに買い物へ行く移動手段がバスやタクシーになるため、将来を考えバスの充実、運賃割引など考えてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者はタクシー料金を半額位にしてほしい。のらマイカーは不便でほとんど乗らないため、交通体系を見直してほしい。世界で様々に取り組まれている新しい交通システムを研究し、高山に導入してほしい。</li> </ul>

<p><b>道路</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨市のような広い公共無料駐車場を作してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活には不満なく過ごしていたつもりだが、よく考えてみると不便な所がある。中高生の子どもがいるが、学校まではそれなりに距離があり、交通の便が悪いことがかなり不便である。近ければお金もそれほどかからないし、車で送迎する負担も軽減されるだろう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の基盤整備は直接、市の予算にて確実に進める必要がある。中途半端な金額で整備することは未来に負債を先送りすることである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路等のインフラについて、維持管理が不十分と感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路や公園等の工事が雑すぎる。すぐ剥がれたり、欠けたりするため、再工事にならないようにしっかりと長く使えるような仕事内容、材料等の吟味をしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路がきちんと舗装されていない道は、車が横を通る際に水たまりの水が歩行者にかかり大変迷惑である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者や子どもが自活でき生活できるインフラを整備してもらいたい。検討するといったレベルではなく実践に移すことが必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の生きている内に中部縦貫自動車道が全面開通することを期待している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が悪く、災害等が起きた際の迂回路がなく不安である。集落の孤立が懸念される。高速道路を充実させるよりも、生活道路と国道41号の改修整備を優先させてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・石浦町のヤナセ付近の交差点の歩道にガードレールを付けてほしい。ベビーカーや子どもだけの外出の際に危険を感じたことが何度もある。交通量も多いため、願います。</li> </ul>

<p>・道路はよく改修整備しているが地下道はされていない。子どもが通学で利用する中山中のバイパスの地下道は、老朽化が激しいため整備してほしい。</p>
<p>・国道 158 号を利用するが合流しにくい箇所がある。横断歩道に信号がなく、子どもだけでは横断がすごく難しい場所がある。</p>
<p>・県道 361 号について、小屋名地区の市道の一部が朝日方面からの近道となっているが、狭い道ですれ違いが難しく通学の支障となるなど、交通上の不具合が生じている。朝日町甲交差点から見座を經由して、小屋名地区の鎌野、美女トンネルへの道路整備を県に働きかけてほしい。</p>
<p>・毎回アンケートに道路整備(特に見座からの美女街道へのアクセス道路)を記入しているが、少しも反映されない。高根・朝日地域の方が大西地区まで回るとは皆不便を感じている。工事が途中で中断してもつたいし、受けられる恩恵は大きいと思うので早く着工してほしい。市長をはじめとして議会でも真剣に考えてほしい。なお、当アンケートの結果に、このような意見があったことを公表してほしい。</p>
<p>・スーパーが 1 ヶ所しかないため、運転免許のない方は大変だと思う。高山信用金庫は本郷地区ではキャッシュコーナーしかないため窓口へ行くのが大変である。十三墓峠の改良を早くしてもらいたい。飛騨市のカントリー道路のように車を運転しやすい道が良い。</p>
<p>・歩道の横にドウダンツツジなどが植樹してあるが、手入れがされておらず歩道に影響を与えているところが数多くある。高山は 360 度パノラマの森林で、管理するのも大変なため、歩道横の緑は必要ないと思う。そのスペースをそれぞれの観光地につながるサイクリングロードとてはどうか。空気のきれいな高山で、上級者から初級者までサイクリングで観光地を回れるようなコースを設定すると良いと思う。雪が降ればスノーモービルで観光するなど自然を活かすことも必要かと思う。</p>
<p>・道路に広めの自転車専用レーンを作っていただきたい。車の使用が減り、地球にも優しく、環境保全にもつながると思う。</p>
<p>・道路事情も最近は良くなったが、冬場の道は特に悪い。水の使用、ヒーティング、その他の熱を利用して除雪してほしい。</p>
<p>・冬の道路状態や雪またじの問題がある。飛騨市は融雪の施設が整っている。高齢化が進む中、寒い高山をなんとかしてほしい。</p>
<p>・除雪をしっかりと行ってほしい。</p>
<p>・降雪時の除雪をもう少し丁寧にお願いしたい。</p>
<p>・冬期の除雪対策をしっかりとしてほしい。</p>
<p>・除雪で利益を得ようと冬場に重機をリースして稼ごうとしている人がいるが、支払い賃金等が高すぎるのではないか。</p>
<p>・側溝が土と木の葉で詰まっているため、道路整備と並行して掃除をしてほしい。</p>
<p>・道路や照明などの整備にの不備がある。バリアフリー整備をしてほしい。</p>
<p>・車いす利用者に対応した道路になっているか転換して改修してもらいたい(目の不自由な人も含め)。</p>

景観
・最近観光客(特に外国人)がこんな所に来るのかと思う。外れた場所や路地裏なども散策する姿をよく見かけるようになった。古い町並だけでなく、他の町並みも美しくしておかなければ恥ずかしいと思う。
・河川の整備とともに桜が失われている。住民の命を守りながら自然も残すことは大変困難なことと思うが、可能な限りそれまでの景観を守りながら工事が進むことを願う。
・まちなかの混雑に不自由を感じる。ホテルなどの林立も景観の妨げになると思う。
・ホテルの乱立で景観が悪くなっているため、何とか規制できないのかと思う。
・高山駅の外観は誰がどのようなコンセプトでデザインしたのか是非知りたい。大変残念なデザインで、どこが良かったのか、選んだ方々にも聞いてみたい。何らかの工夫をこらして「良い感じになったね」という線までもってほしい。
・高山駅のデザインが高山らしくない。

地球環境
・道路ができ便利になることも大切ですが、自然も大事にさせていただけるとありがたい。子ども達にも居心地の良い高山であってほしい。
・今回のコロナの影響で観光業がかなりのダメージを受けたと思う。高山は観光業にばかり力を入れているイメージがあるため、住民のためにも力を注いでほしいと思う。例えば、森林を整備しそこからエネルギーを生産するなど、観光に変わる収入も必要だと思う。高山は自然が素晴らしく地元の人も温かい方が多いため、頑張してほしい。
・この飛騨地域で一番の特色は、自然が豊富なことである。この環境を財産として大切に保全し後世につなげることで、今後人口が減少しても地域経済を成り立たせることができると考える。
・地球は人間だけのものではなく、様々な生態の生き物とバランス良く生活していかなければならないと思う。現在コロナが流行しているが、地球上に人間が多すぎて、神様が数を減らそうと警告しているのでは、と覚えてならない。高山は自然が豊かで森林がたくさんあり、とてもすばらしいと思う。「100年先を見据えた森林づくり」をされるとのことは賛成である。今、森は荒れ果て死んでいるような状態のため、クマやイノシシなどは、食べ物を得るため仕方なく里山へ降りてこなければならない状態である。ボランティアの人たちに参加していただいて、毎年少しずつで良いので動物たちの食べ物となる木を植樹したら、人間の前に現れなくなるのではないかと。杉の木の利用を考えてみてはどうか。「道路・河川・公園の整備」とあったが、これ以上河川は構わないでほしい。景観も好きではないし、崩れたらその辺の石で石積みすれば良い。以前は小川に小魚がたくさんいて網ですくって楽しんだりしたものだ。いつからか小魚がいなくなり、U字溝で埋め尽くされ、人間の便利のための川になった。真っすぐの川の水では魚は住めず、様々な川の流れがあり、よどみがあるから住めるのである。どうかこれ以上大きな川までコンクリートやブロックで固めないでほしい。魚が住めるように工夫してほしい。段差を付けたら魚は上ったり下がったりできない。高山市内の町並み、景観はすばらしくこれから先も残してほしい。ビルの谷間は人間の住むところではないように感じる。個人の意見であるが、私はより良いまちづくりのために、あまり整備はせずに、自然をたくさん残してほしい。高山に来る観光客の方たちはそこが良くて来てくださっているのだと思う。箱物の建物は多くはいらない。コンクリートだらけになると地球は暑くなる。
・自然に恵まれた飛騨を守り抜いてほしい。

・住民は今ある自然環境の素晴らしさを自覚する必要があるのではないか。地元の良さに気づけば、環境保全への意識も高まると思う。
・高山市ができる誰もが真似できない日本一のことを考えよう。少し前と言えばバイオマスなど、お金はかかるが将来的に魅力があって持続できるものが良い。
・森林を元気にするため、パルプでプラスチックに変わる物ができないか。

防災
・大雨時の土砂崩れが心配される。
・西日本豪雨災害の時には、避難勧告等を受けて近くの公共施設へ避難した人が多数あったが、現在同様の災害が発生した場合、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される。身近にある地域の公民館を活用できるようにし、必要であれば急傾斜地の崩壊対策工事を早急にすべきと考える。
・「With コロナ」の環境下での意見となるが、この状況で地震等の災害が起きた際の避難場所が足りるのか気になる。コロナ感染予防を第一にした時、収容人数がかなり減少してしまうため、十分な避難場所の確保をお願いしたいと思う。
・雨が2～3時間続けて降ると、宮川の水かさが一瞬にして増し、散歩道が水びたしとなって折角の道がなくなってしまい、毎回同じことが繰り返されている。中州も流されるし、毎回のことでお金もかかるため、流されないようにする方法が考えられないものかと思う。
・この地域では豪雨の時には常に避難を頭にいれておかなければならない。前回も消防の方に見回りや声かけなどをしてもらったが、危険な箇所はまだまだあるようだ。そのことが常に頭から離れないので、防災対策等の強化をお願いします。
・10年程前の雪による倒木で甲谷が危険な状態になっている。自治会を通じて要望を出しているが、未だに何ら対応されていない。管理者が市・県・国のいずれか分からないが、地域の安全のためにもっと動いてほしい。何か災害が起きた場合には、市から十分な助成金があれば別だが、まち協で早急に取り組むべきことではないか。
・市街地の中心部に住んでいるが、市広報のお知らせが全くわからない。スピーカーの音が反射して、内容を聞き取りにくい。
・宮川緑地公園横の堤防が古く傷んできており、洪水の際、決壊してしまわないか心配なため、整備をお願いします。

安全
・通学路に防犯カメラを設置してほしい。
・高山では当たり前に行われている自転車に乗る人が前を歩く歩行者にベルを鳴らさずに追い抜くという行為は、他県から来た物にとっては非常識極まりないと感じる。「ベルを鳴らす」ことは「驚かせて失礼」と思っている方も多いようですが、ベルは相手に危険を知らせる相手と自分を守る大切な行為で、死亡事故も防げる。大人に根付いた非常識をただすことは難しいため、小学生から正しい自転車利用のマナー教育の実施を望む。
・外灯が少ない道路がまだまだ多いと思う。防犯の観点からも外灯を増やし、既設の街灯の電球が切れたままになっていないか等の確認が必要と思う。
・過去に車上荒らしに3回遭い、警察に被害届を出したが全く対応してもらえなかったため、もう少し防犯意識を高めてほしい。

## 消防

- ・消防団員への報酬の支払いが個人宛となったことにより、全く活動に参加していない団員にも報酬が支払われている。少子高齢化・若年者の地元離れで定員確保は無理と分かっているながら定員確保に重点を置きすぎ、上層部に辞職したくても自由に辞職させてもらえないことも幽霊団員を増やす原因となっており、報酬が税金の無駄遣いとなっている。まじめに取り組んでいる団員の活動対価が低すぎるため、年俵は少額とし、実際に活動に参加している者達に手厚く支給する仕組みにしていきたい。
- ・消防団活動の負担が重く家庭生活に大きな悪影響が出ているため、操法大会を無くすとともに、消防団活動時の喫煙、活動終了後の飲酒を完全に無くしてほしい。

## 行財政運営

- ・今後は、新型コロナウイルス対策を特に考慮した取り組みが、まちづくりへの最重要課題となると感じる。
- ・行政の人事評価、外国との交流、専門指向をなんとかしてほしい。
- ・内向きな行政、もっと市民を守る市政をお願いしたい。
- ・市民は所得が少ないため、税金を安くしてほしい。
- ・外国ばかり行かず、国内で成功している地区へ行って勉強してほしい。
- ・先のことを考え、税金の使い方を良く考え、無駄使いはやめてほしい。
- ・新型コロナや災害について課題がたくさんあると思う。対策等協力できることはしたいと思うが、市・県・国レベルの対策もしっかりしてもらいたいと思う。
- ・コロナ禍による経済の落ち込みに対する市独自の政策に偏りがあるように感じる。
- ・何事も申請しなくてはならないし、どのような支援があるのかも全く分からない。市職員も忙しいと思うが、分からないことはしっかりと知らせるようにお願いします。
- ・申請等の簡素化、地域住民の要望の速やかな実行、偏りのない市政運営をしてほしい。
- ・どの支所も暇そうにしているため支所を廃止してほしい。昇任試験を受験しない者又は落ち続けている者は給料減額、分限処分をしてほしい。副市長と重複しているため、理事を廃止してほしい。
- ・高齢者には横文字(カタカナ)など意味が分からず、理解に苦しむことが多くある。
- ・市職員が幅広く採用されることを望むが、夫婦や親子関係にある職員が多く、採用方法に問題を感じる。
- ・他地域に比べ早急に特別定額給付金をいただき、その対応の速さに感謝しているが、マイナンバーカードや保険の手続きの際に、窓口職員から行くたび違うことを言われたため、無駄足を被った。市民は、市役所まで自らの時間を割いて出向いているため、部署の方全員が同じような理解のもとで対応していただきたいと思います。
- ・以前にのらマイカーについて電話でお願いしたことがあるが、職員の対応に情けなくなった。
- ・市民の声をしっかり聞いてほしい。お願いしたことは素早く実行してほしい。職員の対応を統一してほしい。
- ・無職の年金生活者は大変なので、市民税を下げてください。市役所の窓口では、こちらから「すみません」と言う前に、職員から先に声をかけてほしい。
- ・市役所の職員の態度が悪い。

<p>・市長はじめ、市役所、各種団体の方々のお陰で高山市は運営されていると感じる。大変おこがましいが、例えば市役所へ行った時、職員が忙しい中でも笑顔で仕事をしている所をいつでもどこでも見ることができたら、それだけで高山市は良いまちで誇りを持ってると感じる。高山を良くしていきたい熱い思いが伝われば、不足があってもそれだけで違うと思う。私も生活の中でできることを行っていきたいと思う。</p>
<p>・地元に住んでいる市の職員が不参加のため、参加してから考えてみよう。</p>
<p>・町内でも挨拶のできない人がいるため、市職員は地元に着した活動をしてほしい。</p>
<p>・市職員のレベルの低下は民間企業同様と思うが、管理職はやはり有能な人材を使うべきである。既存の職員では、なかなか難しいため民間からの登用を積極的にすべきと考える。コロナで就職難の今がチャンスである。</p>
<p>・昨年、市職員による横領事件があったが、なぜそのようなずさんな管理なのか。今までにもあったのではといった疑惑も禁じ得ない。</p>
<p>・新型コロナ対策として国の一人 10 万円の支給があった際、早々の対応をしていただきありがたかった。高山市としては、市民一人ひとりに対する対策はあるか。</p>
<p>・市(行政)が持っている人材・資金・権限などについて、まち協などに一層委ねてほしい。市職員が少しでも早く帰ることのできる職場になってほしい。</p>
<p>・一度外に出た若者が高山に戻って来てくれるように取り組んでいることと思うが、その際の就職先の選択肢の一つでもある市役所内部の改革が必要と思う。労働環境が劣悪な課が多いように感じる。特に市民の目に触れにくい上層階で、市のために一生懸命働いている職員を大事にしてほしい。</p>
<p>・要望や意見等を提出してもそれだけで終わっている気がする。もちろん全てが実現することはないと思うが、提案・意見に対する答えや反応があれば嬉しい。意見等を提出する側にも張り合いができると思う。</p>
<p>・少子高齢化により人口減少が進み、市の収入も減少するなか、いかに行政サービスの質を低下させずに少人数の職員でも市を維持していくかが重要となる(AI 等)。</p>
<p>・今も広報で弁護士相談が周知されている。私も 8 年程前に利用したが、全く素っ気ない対応だった。調べた事項など、色々持参した資料には目もくれず、少し話をしたところで「できませんね。証拠もないし、仕方がないですね」との冷たい言葉を浴びせられた。心身共に疲れ切って、それでも何か良い手立てはないものかと望みを持って相談したが見事に裏切られた。やはり役所のやることはこんなものと改めて感じた。いくら無理でも、誠意のある態度で向き合ってほしかったと今でも思っている。弱い者の味方であってほしかった。いくら無料でも、もっと適切な人を配置していただきたい。税金の無駄遣いだ。</p>
<p>・高山市は何に長けているのか。自然が次々と消えているのではないか。子ども達が自由に遊んでいた土地も、不動産業者が利益のためにアパートや住宅を建てる敷地にしてしまう。周辺地域と中心市街地の格差はますます広がり、都会と変わらない。現在の行政に満足しているのは上層部だけ。賃金は低いのに物価は高く、議員ほど給料はもらえないので生活が厳しい。アンケートを行ったところで、「あまり感じない」が多いのは当然である。住民には情動的が目に入らない、聞かない。満足しているのは、あなた方だけではないか。</p>
<p>・以前、市長は新型コロナ感染者数を 0 人でキープしたいと発言されたが、高山のような閉鎖的な社会では、ただでさえ感染したら村八分にされるのに、差別を助長するような愛情のない発言と思</p>

<p>う。新型コロナは誰が感染してもおかしくはなく、感染者が悪であるかのような発言は撤回していただきたい。</p>
<p>・沢山の方に知ってもらうためには、広報たかやまなど、皆が目にするもので広めていくことが重要である。</p>
<p>・新聞をとってないため市で何が行われているのか情報がなくよく分からないのが現状である。</p>
<p>・市の広報などが配布されないため、郵送してもらえないか。</p>
<p>・市は住民の意見に耳を傾けてほしい。幅広い箇所へ目の行き届く市政となるように望む。富裕層や権力者が得をするのではなく、公平に扱ってほしい。</p>
<p>・高山市でも給食費を払わない人がいると聞いた。給食費は一例に過ぎないが、払うべき費用を払わないことは、「不公平が生じる」ためいかなものかと考えさせられる。私達の頃は払って当然だった。今は高い介護保険料を年々安くなる年金から引き落としされている。支払うべきものは公平にしてほしい。</p>
<p>・家庭、町内、地区この年になってやっとここまでできたと感じる。市職員や関連機関に従事してみえる方々の努力や活動を知ることができたため、高山市全体にも少しは関心がもてるようになったと思う。防災ラジオとHit net TVが役に立っている。</p>
<p>・奥飛驒に住んでいるが、行政サービスが周辺部まで届いていないように思う。</p>
<p>・市議会議員が多すぎと思うため、もう少し減らしても良いと思う。市のためになっていない議員もいると思う。</p>
<p>・市議会議員の定数が多すぎる。</p>
<p>・女性議員の増加対策を強化してほしい。</p>
<p>・市民の意見を発表できる場をつくってほしい。市議会議員の定数を削減してほしい。</p>
<p>・市議会議員の定数を削減してほしい。高山市より人口の多い大垣市より議員の数が多くことに全く納得できない。</p>
<p>・市議会議員が多すぎると思っている。</p>
<p>・市職員にやる気がなく、議員定数が多すぎるなかで、現在、本当に安全・安心なまちづくりができているつもりか。真剣に考えよ。もっと市民の意見を戦わせる場を作ろう。</p>
<p>・市が主催する様々な会議等はいつも同じような方が参加されている。広く市民の意見を聴くのであればもっと様々な方からの意見を聴けるような手法を考えてほしい。</p>
<p>・大勢の方々から多くの意見を得て、このアンケートが意味のあるものになることを願う。私は高山がまだ好きではないが、ここで生活していかなければならないので、良い市になってほしい。</p>
<p>・市民との意見交換会等があると思うが、そのような場で出た意見がどの程度まで実現できるのか、できないのか分かるようにしてほしいと思う。</p>
<p>・高山市まちづくりアンケートは、良いことばかりだった。</p>
<p>・アンケートが長く、何に役に立つのか分からない。アンケート結果をもとに改善してほしい。</p>
<p>・このアンケートは市の活動を認めさせるという意図が透けて見えるため、もっと自由なアンケートのほうが良い。</p>
<p>・新型コロナで自粛している時期にこのようなアンケートは、ナンセンスと思った。</p>
<p>・アンケートの問 11～15 が分かりづらい。市民活動の具体的な例がほしかった。</p>
<p>・アンケートの項目が多すぎるため集中力が続かない。もう少し簡略化したほうが良いと思う。</p>
<p>・アンケートについて、まちづくりと一言と言われても、どのようなものが当てはまるのか、何が目的でどんなことをしているのかわからないため、誰にでも分かり易くしてもらえるとありがたい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・先般、同種のアンケートがまち協からもあったが、アンケートを行うだけに終わらず、その後の結果も知りたい。相談ごとでも話を聞いていただくのみで、なかなか解決策が見つからない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容や言葉が抽象的で分かりにくい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・このようなアンケートは有意義であり、市民の声を届ける手段として必要と思う。今後も続けていただけたらと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの選択肢から3点に絞ることが難しく、もっと選びたい設問があった。市も何を優先的に行うか、難しい選択をしなければならないことが分かったし、私もアンケートに責任をもって協力しなければと思った。市政に興味をもって見守っていきたいと思う。高山市をより住みやすい市にしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすいまちでいられるよう頑張してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算内での諸施策の実施には様々な苦労があると思うが、ぜひ効率的な行財政運営を進められますようお願いする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと頑張してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のコロナ前後の高山を見ると市長をはじめ市職員がいかに観光振興に力を注いでくださっていたかよく分かった。私は、観光関係の仕事には従事していないが、観光が高山の土台となっていると思う。市長は体を大切に高山のために活躍してほしい。市職員は特別定額給付金をはじめ、市民のために一生懸命働いていただき本当にありがたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10万円の特別定額給付金では、マイナンバーカードを使用して5月9日に申請したところ、5月13日に2名分20万円が入金された。全国で給付が遅れているなか、とても素晴らし対応に感謝している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別定額給付金をとても早く給付していただき、ありがたかった。特に徹夜で頑張っていた市職員の方々、大変ご苦労様。これからもよろしく願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも市職員の努力に感謝し、期待している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日楽しく暮らせているのは、高山市のおかげである。ありがとう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも市職員の親切な対応に感謝している。弱者にやさしい人づくり、まちづくりをお願いする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的に考えれば、市職員は一生懸命頑張っていると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・速く給付金を配布していただきありがたかった。とても助かった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達の住んでいる市を誇りに思い、市職員の努力に感謝している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金ありがとう。元の生活に戻れるように願っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10万円の給付金が高山市では全国の中でも早く給付された方だと思う。市職員の工夫と努力に感謝してる。高山市は良い所と改めて感じた。市役所に訪れた時どの窓口でも丁寧に対応してもらえる方が多く、訪れやすい。以前、高齢者のことで相談に伺った際には、とても丁寧に話を聞き、その後も適切に対応していただいたため、その高齢者はとても喜んでみえた。</li> </ul>

<p><b>若者</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が魅力を感じられるまちづくりを進めてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が減少していく中、外国人に来てもらっても日本の伝統、歴史などを理解してもらえないように思う。結婚していない若者に結婚を進めていただきたい。少子化対策にもつながると良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が集まる魅力ある場所を作ってほしい。</li> </ul>

<p>・観光客のためのホテルなどの開発ばかりではなく、市出身の若者がもっと高山へ戻ってきたいと思えるような施設などを増やし、高山を活性化させてほしい。</p>
<p>・若者や県外の人に住みたくなるような魅力ある街にしてほしい。ホテルばかりが建ち不安である。</p>
<p>・高校を卒業した優秀な人材は高山を離れてしまう。</p>
<p>・人口減少と超高齢化が心配である。若い人に魅力を感じてもらえるようなまちづくりを願う。</p>
<p>・高山に若者が戻ってくるような良い政策が進められ、住みたいまちにするために行政、市議会議員、市民とで考えていけると良いと思う。</p>
<p>・自然エネルギーへの転換や福祉制度の更なる強化等、観光業以外の魅力が増えることによって、都市部に住む若者のUターンや、若者の都市部への流出が防げると思う。結果、労働人口の確保にもつながり、活気ある高山市になることを期待している。</p>
<p>・村半は、事業費が高額のわりに若者が何をするとところかよく分からない。</p>
<p>・若者が定住するまち、新しい出会いがあるまち、新しい人が入ってきて・交流するまち、活気あふれるまちなど、魅力がありインスタ映えする観光名所を作ってほしい(大規模な公園、テーマパーク、おしゃれなカフェ、レストランなど)。</p>
<p>・飛騨地域に映画館や若者が定着するような遊び場がない。レクリエーション施設が少ない。大きなショッピングモールがほしい。</p>
<p>・2人の子どもがいるが高山へ帰郷する気はないと感じる。地元で若者が定着できるような雇用の場があればと思っている。</p>
<p>・若者が働ける場所を作ってほしい。</p>
<p>・高山は近場に飛騨山脈や温泉などがあり、観光にはとても恵まれていると思うが、最近は全国チェーン店、ドラッグストア、コンビニが至るところにでき、地元の専門店の多くが閉まっていくと感じている。高山独特の専門店が生き残っていけるようにしないとまちの風景も「どこにでもあるまち」となってしまうのではないかと心配である。若者が誇りを持って働ける場(産業)があればと思う。</p>
<p>・雇用に関しては、半ばあきらめている。特に資格をもっているわけでもないため、転職にも踏み切れず、パートで働いている。所々での対応の差もあると思うが、接客業などの対応はレベルが低いと感じる。私も子どもがおり、いずれ就職することになるが、高山で就職してほしいという思いは特にない。ぜひ高山で、と思えるようなまちになってくれると嬉しい。</p>
<p>・若者が地元で安心して働ける職場、会社等があれば良いと思う。</p>
<p>・若者が他の地域から戻ってきて就職できるような様々な業種の企業誘致などにより、活気あるまちづくりをお願いする。</p>
<p>・高校生の子どもは「高山は給料が安いからよそで働きたい」と言っている。市内の賃金水準が上がり、若者が高山で働きたいと思えるようになると良いと思う。高山は観光が盛んになっているため、観光関連から賃金が高く働きやすい環境が整っていくと良いのではと思う。高山には観光に携わるスペシャリストがみえるので、例えばホテルの社長、女将、板前、仲居、観光を企画する方など様々な方が先生となり、高校生や中学生に観光で働くことを教える機会をつくるのも良いと思う。高校に観光科を設け、高校を卒業したらそのまま高山で働けるような仕組みがあると良い。</p>
<p>・若者減少の一番の原因は、飛騨地域に教育環境が整っていないことが考えられる。同級生のほとんどは名古屋、東京などの都市圏に移住している。高山の地でもっと様々な分野について学ぶことができ、定員を増やして大規模校にすれば、県外からも若者が集まってくると思う。加えて、労働環境を良くすることにより、若者の増加、地域経済の活性化につながると思う。このままでは若</p>

<p>者がいなくなるといっても過言ではない。観光だけではなく教育や労働の面にも力を入れてほしい。</p>
<p>・若者に魅力のある職種が多くあれば県外に流出しない。</p>
<p>・若者が働ける場を増やしてほしい。大学などへ進学しても将来は帰ってきて働ける環境の整備、賃金水準の改善など高山から若者が減ってしまわないような環境づくりを進めてほしい。</p>
<p>・高山市は観光客、外国人によって賑わっていたと思うが、新型コロナにより状況は一変したように感じる。観光による経済の活性化も必要だが、若者が高山で働ける場所の確保、企業誘致が必要と考える。</p>
<p>・若者の雇用の場を作って流出を防止してほしい。</p>
<p>・大企業など若者がIターンUターンできる雇用の場がない。</p>
<p>・高校卒業後、進学等で市外に出た若者をUターン・Iターン・Jターンさせる方法を考えてほしい。</p>
<p>・子どもの将来のため、専門学校を作ってほしい。</p>
<p>・若者はまちづくり等について関心がなく、特に何も考えていないため、少しでも興味が持てるようにしたほうが良いと思った。高山市は自然が豊かで住みやすく良いまちとは思いますが、県外へ行く時は高速バスしか手段がなく、遊戯施設や映画館もない。せっかく新しい施設ができたとしても、人口減少のため売り上げがなく閉店せざるを得ない状況がある。最近話題になっていたが、四年制大学の設立や外国人を対象とした日本語学校の誘致等も良いと思う。まずは、人口を増やすべきと思う。</p>
<p>・若者が安心して働き、結婚して子育てしていけるまちづくりが全ての基本になると思う。そうでなければ、ますます少子化は進み、将来を支えていく世代が減り、高山市は寂しい町になってしまうと思う。今回の新型コロナの影響で、観光はこんなにも脆いものかと思知らされたため、引き続き観光に力を入れるのは、この先とても不安である。これを機に考え直しても良いと思う。新型コロナの影響を受けている方々には申し訳ないと思うが、観光客の少ない市内はとても通リやすく、商店街にも安心して行けるように感じている。他国との交流も良いと思うが、以前暮らしていた高山も良かった。若者が都会へ行かなくてもすむ大学や大企業を誘致してはどうか。他県の県立大学は田舎にあることも少なくないため、高山にも魅力あるキャンパスを作ってほしい。大胆で思い切った改革に期待している。</p>
<p>・市内に看護師・介護士・保育士を目指せる大学を作ってほしい。</p>
<p>・若者が暮らしやすいまちづくりを望む。高校卒業から20代前半までの若者の居場所や住む場所が少ないと感じている。大学や専門学校を設立するほか、5万円位で借りることのできるアパートが、市街地の近くに数多くあると良いと思う。高山に残るための選択肢が増えると、若者も残りやすいと思う。</p>

<p>その他</p>
<p>・教育、医療、福祉の更なる充実をお願いしたい。</p>
<p>・観光も良いが、市民の暮らしやすさや福祉・子育てについてももう少し耳をかたむけてほしい。</p>
<p>・高齢者・子ども・障がい者などに優しさが感じ取れるまちにしてほしい。</p>
<p>・自給自足できるまちづくりという点で、医療や自然エネルギー(電力)の充実を図ることも大切と思う。</p>
<p>・子育て世代からの意見だが、雨の日には行く所がない。文化・商業施設など、年代別(幼児、小学生、中学生向き)の施設があると良い。</p>

- ・私の住んでいる岩滝地区は水も自然も美しい所である。残念なことに子どもが小学校全員で 10 名。老人が多く、産業も無く、仕事は市街地に行っている。若者は学校卒業と同時に都会へと行ってしまう。車の免許も年とともに返納しているが、交通の便が悪く、朝 7 時と夕方 6 時のバスのみでとても困っている。地形が悪いため、車の運転ができない人が歩いて集まることはとても困難である。冬の除雪も幹線道路は早いですが、市道は正午頃でない来てくれないため通勤時には間に合わない。この土地に生まれ育った私はこれからのことがとても心配で、不安な日々を送っているが、この場所を離れることはできない。何か良い方法をお願いしたい。
- ・買い物に行くにも、日用品以外はほとんど何も無く、市外に出ていくしかない。新型コロナによって観光がストップしたとき、我が家はあまり影響なかったが、まちなかで働く方々の気持ちを考えると、もう少し外に向かう力を市民の方に向けてもらいたいと思っている。子どもが進学しようと思うと市外に出ざるを得ず、家計を圧迫することもある。就職で帰ってこようと思える企業も少ない現状から、最終的には一家で出ていくしかないとも考えることもある。人口を増やそうと思うなら、小さい時の子育て支援に留まらず、小、中、高の子どもたちとそれを取りまく大人が楽しめる空間をもっと考えてもらいたい。
- ・比較的、住みやすいまちだと思う。自然と文化のバランスがとれている点が大いと思う。
- ・今後を考えた場合、少子化と高齢化の二つを同時に解決できる方法を模索してほしい。子ども食堂を設置し高齢者に食事を用意してもらうことや放課後に子どもたちの集まる場を設け高齢者に勉強をみてもらうなど、子どもの育成と高齢者の社会参加や生きがいづくりが同時に解決できることが重要だと思う。観光に頼りすぎている欠点ですが、今回の新型コロナではっきりわかったと思う。地域産業の活性化とインターネットの活用を考え、観光だけに依存しないまちにしていくべきと思う。
- ・子育て世代に手厚いという話はよく聞きますが、うんざりと感じることも多々ある。納税額が多いのは、子どもの居ないフルタイムの共働き家庭にも関わらず、その家庭は放置されている。それに知らないふりをして市に定住、移住は難しい。子どもが育てば戻ってくるから大切にするという考え方だろうが、実際には出ていくだけが現実だ。子育てが終わった夫婦、子あり、子なし家庭も、差別・区別が最近ひどく感じるの、どの世代も公平に大切にしてほしい。納めている税金を公平に使ってほしい。未来ある子どもが大切なのは分かるが、そればかり提言されてもうんざりで、それしかないのかと感じてしまう。もう少し柔軟な考えで、これからの市政運営やまちづくりをお願いする。高山市は「良いまち」だが、「優しいまち」ではないと思う。いつか出て行かなければ、高山での老後生活の困難にぶち当たりそうである。
- ・高山は美しい山、美しい川、美しい街並み、美しい人の心など「美しさ」がまちの大切なことのひとつです。高山市民憲章にも「私たちは山も水も美しい飛騨高山の市民です」とある。高山の都市像には「美しい」もぜひ加えてほしい。現在の高山市の都市像には「やさしさのあるまち」とある。しかし、まちの玄関として重要な高山駅舎は便利になったが、外観は殺風景で冷たくて「暖かみ」がない建築物のため残念である。高山の表玄関にはふさわしくない建築物だと私は思っている。特に高齢者は私のような思いの人が多。なぜ駅舎建設に多額の補助金を与えた JR にこのような建築物を造らせたのか。まちのイメージダウンにつながり残念である。最近、観光に特化した 3 台のバスが運行され、良いことと思っているが、デザインが良くない。絵が美しさに欠け、シンプルではなく、どこかの遊園地のバスのようなものである。高山の町中を走るバスのデザインコンセプトは「やさしさと美しさ」だと思う。せめてシンプルなデザインにしてほしかった。
- ・地域の特性を活かすため、高山地域・支所地域のように旧市町村単位でまちづくりを計画するのが良い。合併したことにより広範囲となり、以前より市政に対する関心度が減少した。

<p>・どうして「まちづくり」を行う必要があるのか、市民に分かるように説明していかないと、重要なことと理解してもらえず、「まちづくり」が進んでいかないと思う。</p>
<p>・観光産業中心のまちなみは、地元の人が出かけたくなるような魅力が薄いと感じる。まちづくりには地元労働者や将来を担う若者の意見を聞く必要があると思う。</p>
<p>・人口減少への対応が全くなされていない。将来もこのままでは先細りで、このような状態では、まちづくりができなくなると思う。今後のことを真剣に思うのであれば、人口を増やすことの対応策が全てで、まちづくりに関しては今のままで良いのではないか。</p>
<p>・結婚しない男女から解決しなければ、まちや里が繁栄しない。</p>
<p>・右を向いても左を向いても山ばかりである。沢山良い場所がある。</p>
<p>・日頃何も考えずに毎日を過ごしていると改めて気付かされた。快適な暮らしは様々な方に支えていただいていると実感し、感謝している。</p>
<p>・先日夜、高山市役所庁舎がブルーにライトアップされているのを見たが、暗い市内の夜景にひと際美しく浮かびあがっていて思わず立ち止まってしまった。新型コロナも一段落して、以前のように自由に外に出掛けることができるようになれば、楽しい催し物も計画してほしい。</p>
<p>・今回の伝染病のパンデミックにより、市内の観光振興も海外戦略も今まで以上に大切になるが、普段から市民をもっと大切にすることも重要である。この事態に対し、市内の宿泊施設を助けたくても、お土産品の安売りを買うこと位しかできないことがない。高山の町は観光で潤っているから良いと思っていた。自分の衣服を買うのにも名古屋や富山へ行ったりしており、高山で買いたいと思っても駐車場がないなど、他の人からも外部で買う方が多いと聞く。先日ホテルの前を通っても、お客の車が一台も停まっておらず悲しくなった。やはり高山が好きな人間である。行政も大変だろうが、住民にとっても住みやすいまちづくりをお願いしたい。</p>
<p>・飛驒は1つの高山市になってほしい。</p>
<p>・支所地域における壊れた空家は、地域の美観を著しく損ねている。</p>
<p>・高山も観光ランキングのみではなく、住みやすい街ランキング上位の取り組み(特に近隣の野々市市や白山市)を参考に上位になるよう努力してほしい。</p>
<p>・現在、新型コロナウイルスの感染拡大の中でのアンケートであり、平時であれば自分の思いがもう少し違っていたのかもしれない。</p>
<p>・結婚しない者、別居によりつながりの低下した親子、子どもの居ない家庭などが人口減少の理由と思う。</p>
<p>・他県から転勤でみえた方は、「高山は自然が多いため貯蓄ができると思ったら、物価が高く、全然できない」と話してみえた。</p>
<p>・生きる中、日々、免疫力の向上につながる生活をするのが大切だ。</p>
<p>・子どもが少なく、結婚しない人の多い寂しい世の中になったと思う。住み良い高山と思っているが、何とかして一人でも多くの人たちの力で明るく元気なまちになるよう祈っている。</p>
<p>・コロナ禍の影響で何をすることも大変だと思う。感染症対策を行いながら活動を進めてほしい。</p>
<p>・観光振興(海外を含む)への取り組みが目立つが、支所地域は少子高齢化が進み、農地、山林の衰退が進んでいる。農場の保全、高齢者支援の充実を図っていただきたい。</p>
<p>・美術館等に行くための移動手段を増やしていただきたい駅から少し距離があるため行きづらく、近辺へのバス停の設置もお願いしたい。映画館を整備していただきたい。自然エネルギーを利用し、VR・ARなど最新技術を活用した高山市の情報をアピールできる施設を作っていただきたい。</p>

<p>・観光客の誘致など、観光面の充実は大変なことだと思うが、それ以前に子育てしやすい環境整備に向けた公園の充実、若者の地元離れを防ぐための雇用の充実など、高山市に住む人のための活動に力を入れてもらいたい。</p>
<p>・今は旧高山市ばかり潤っており、周辺部は過疎化が進み、街まで出ないと買い物もできなくなっている。周辺部の使われていない土地に、他県からも遊びに来たくなるような自然を活かした大きな公園を整備すれば、再び周辺に店が開かれ、まちの活性化にもつながるのではないか。使わない土地に税金を払っている人も居るため、市で譲り受けて公園にすれば良いと思う。ハイキングコースやバーベキューなどできる所、夏は浅めの水場のある所、冬はソリ遊びのできる所、スポーツができるような所があり、周りにはカフェや出店が並んでいれば子ども連れも行きやすいと思う。夏にはその場所から花火大会が見られ、ヒマワリ園、コスモス園、夜にはイルミネーションなどがあれば、他県からも人を呼べると思う。土日はどうしても県外へ行こうとする人が多いため、駐車場も広くとれるメリットを活かして、周辺部が活性化するよう手を差し伸べてもらいたい。</p>
<p>・まちなかばかりにお金をかけるのではなく、支所地域への財政支援や活動拠点の整備などを行っていただきたい。観光以外への第三次産業や、第一次、第二次産業など地域内産業の強化・充実を図ってほしい。子どもや高齢者だけではなく、若い世代が活躍できるような取り組みを行っていただかないと、支所地域はいつか潰れてしまうと考える。</p>
<p>・長く高山に住んでおり、出かけることが楽しみである。四季折々の煮物や梅をたくさん漬けて友達にあげている。空気の良い高山、飛騨人で最高。</p>
<p>・まちなかに休めるベンチがほしい。高齢者に優しくない。</p>
<p>・県をまたぐ移動も解除された。新型コロナへの感染の心配を乗り越えて、活力とやさしさのあるまちづくりに取り組んでいただきたいと思う。</p>
<p>・私の子どもや孫が、この先ずっと幸せに生活ができることを望んでいる。</p>
<p>・地域ごとの特色を内外にアピールすることにより、地域活性化につながってほしい。</p>
<p>・全国的に若い世代を中心に自発的な意識改革が進んでいると聞く。様々なことがあろうかと思うが、良い機会と捉えて、市民が納得できるまちになってほしい。</p>
<p>・家で一人本を読んだり、手仕事や掃除、庭の手入れ(小さい庭です)、縫物をしたり、好きなことをして静かに暮らしていることに感謝している。月一度の寺参りができるのを楽しみにしている。</p>
<p>・今は新型コロナウイルスにより、隣人との会話が無くなり寂しい限りである。外出も控え、人とのつながりが無くなり悲しい。皆同じだが早い収束を願う。</p>
<p>・飛騨の匠ブランド強化への提言。飛騨の匠の歴史は、飛騨の郷土史という範疇を超えて稀有で偉大な日本史そのものであり、日本の歴史と伝統文化の誇りとして認識されている。幸いにも平成28年に「飛騨の匠の技・こころ一木とともに、今に引き継ぐ1300年」が日本遺産に認定されたことにより全国的に注目されたが、地域ブランド化のための地域活性化と地方創生の促進を目的とした持続性が担保されたとは言えない日本遺産認定制度であって、この機会に飛騨の匠ブランドの強化のため高山市の地域ブランド化への一番の近道であるとして活動を継続することが重要である。地域ブランド化とは、「製品と地域に対する消費者からの評価と期待」を高めるため地域のイメージアップを目指す活動である。地域ブランド化・強化に向け行政をはじめ民間諸団体など官民学に一本の横串を刺したブランドアライアンスの構築により新たなプロジェクトチームを編成し多彩な人材を得て効果的なブランド戦略を策定して真のブランド化を目指すべきである。ブランドとはなにか、なぜブランド化しなければならないか。古代から営々と築かれてきた飛騨の匠の歴史と伝統の貴重な事跡や財産のアピールポイントは何か、どの時代どのストーリーに注目し、実在した匠や</p>

伝説の匠の誰をクローズアップするのか、そしてその業績や技術の詳細はどういうことだったなど、その素晴らしい事跡や財産のイメージを具体化し、国内更には全世界に広く発信し、強力にアピールすることを徹底的に継続し、永続的な活動とすることがブランド化のキーポイントだと考える。ブランド化への歩みを進める上で、高山市、飛騨市、下呂市、白川郷と岐阜県も交えた各地域行政と各産業の業界の垣根を超えた連携と結束による活動を基本に、外部の著名な専門家を招へいし、連携の組織づくり、人選、専門職の人材育成、方向性、企画、運営などその指導を基に盤石な組織体制を確保する。すでに「飛騨の匠ミュージアム(飛騨センター内)」「まちの博物館」の存在を始めとして、新たに若者の活動拠点「村半」が7月1日オープンするなど、市民にとっても納得のいく施設の開館と存在は今後のブランド化の運営の拠点となる。人づくり、ものづくり、まちづくり、そしてブランドづくり、ブランドづくりは一夜にしてならず。しかし、評価と期待を裏切ったら一夜にして崩壊する。

・高山は住みやすい所である。近い所に役所・銀行・商店などが揃っている。

・若者のみならず、中高年のマナーについて考えていかなければならないと思う。

・市内のコロナ感染者第1号にはなりたくないとおちこちから聞こえてくる。高山(飛騨)を守りたい、周りの人たちに感染させたくないからと思う。接客業のため誰が守ってくれるのだろうと考え、心身ともに不調になった。コロナ関係のテレビを消し、趣味に集中し、お客様にも助けられるなど、人とのつながりに感謝した。高山市長、飛騨市長、白川村長が共同で会見された時は安心しました。大人も子どもも全ての人が笑って暮らせる高山であってほしい。

・高山の自然環境、歴史、伝統は魅力的である。生活している人もその魅力を感じられたら良いまちになると思う。

・高山市のことについて、改めて振り返る機会となった。子どもたちのために、安心して暮らし続ける高山市にしてほしい。観光都市として有名になったとしても、市民が幸せではないと意味がない。最近、観光ばかりに力が入っているのではと感じることがある。福祉、教育、医療、経済全てにおいてバランスよく考えてほしい。